滿洲日報
一月二日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武祭
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

印刷一般 滿日社印刷所

南京政府、義勇軍に對日開戰を嚴命
聯盟における對日策戰上
各軍をも平津に集結

【南京卅一日發】國民政府は張學良を通じ熱河の東北義勇軍に對し聯盟に於ける日本の立場を窮地に陷らしむる策戰上一月十六日前に日本軍と戰端を開く可しとの嚴命を發した、確報に依れば國府は更に各地駐屯軍に對し平津集結密命を發し日本と全面的戰鬪を開始すべく諸般の準備を整へて居る、右は蔣介石も熱河を失ふは滿洲擾亂の根據を失ふを恐れた結果である

【北平一日發】山海關警備隊長たる第九師長何柱國は三十一日附を以て學良に對し辭表を提出した、併してその理由は過般の山海關事件に關し上長の命を奉ぜずして勝手に日本軍に陳謝したるにあるが學良は彼を免職すべきや否やに就き考慮中であると

國家的の大事業は成るべく早く掛る
堤拓務次官來滿語る

拓務政務次官堤康次郎氏は拓務省次官室勤務毛利茂氏、高橋書記官池田屬と共に八年新春元旦入港はいかる丸で來連したが堤次官は船中所感として大要次の如く記者團に語る

我が生命線滿蒙の地に其の第一步を印した今日、幸にして昭和八年の新な佳節に當り在滿官民各位と共に謹みて聖壽の萬歲を祝し奉り日滿兩國の將來を壽ぐとを得たのを欣快とする、我が**帝國と**滿蒙の地とが脣齒輔車の密接不離なる關係に在ることは敢へて架說を要せぬ所であるが嘗つて我が忠勇なる將士十萬の心靈を犧牲にして每度その危急を救ひたる史實を思ひ一昨秋の事變發生以來軍部當局の熱誠と果斷と在滿各位の奮鬪と相まつて遂に舊東北政治を潰滅せしめ以つて王道滿洲國の成立を見るに至つたこの赫々たる事蹟を顧みると心氣一轉の緊張を覺え我忠勇なる將士並に在滿同胞に對し感激の念切なるものがある、東亞平和を確保すべき神意によつて出現したる滿洲國が將來の隆榮を約束せられてゐることは敢て多言を要せざることであるが一國の創生の過程においては幾多の波瀾曲折に遭遇すべきことは古來史實の**證する**處であるに鑑み建國創草の際何萬難到るべきを想ひ在滿各位の勞苦を多とすると共に我々の責任の一層重大なるを痛感する、本日我が在滿の官民各位と相見え親しくその抱負を承り堂々各位と相協戮し內外一體砕礪事に當り日滿共存共榮の本義に則り政治に國勢に經營に文化にその康慶を共にし以つて有彩の美を納められたしとの信念を一層と深めた次第である

尙次官一行に對しては拓務省書記官小河正儀氏、櫻內五品理事長等沖まで出迎へにいかる丸岸壁着と共に八田滿鐵副總裁、十河、山西理事をはじめ多數の出迎へあり自動車をつらねてヤマトホテルに少憩八田副總裁、十河、山西理事等と會談の後再び**記者團**に對し左の如き縱橫談を述べる

今度來たのは全く單純な視察である、二日旅順に行き、三日北上、奉天、新京と廻りハルピンから飛行機でチャムスの拓務省の武裝移民狀況を視察、朝鮮經由廿日迄に東京に歸任する、移民に對してはあと五百名を武裝移民として試驗的に試して見る氣だ、之に對しては大藏省も贊成してゐる、農業移民に對しては色々の說をなすものがあるが成功させねばならぬ問題であるが移民の武裝について云々する者もあるが今の場合又やむを得ないと確信する、滿洲の農業移民は太陽の直射の量から見ても決して悲觀しなくても好いと信じてゐる、だから成功するだらうと云ふも眞理だが不成功だらうと云ふも眞理だ、しかし成功させねばならぬ、北海道にかつて屯田兵式移民をやつた**歷史を**見ると好いと思ふ、滿鐵に對しては大いに仕事をして貰ひたい、今滿洲で本當に仕事の出來るのは滿鐵しかない、人において資本において手取早く云つて滿鐵に仕事をして貰はねばならぬ、それに人物も揃つてゐる、八田副總裁、十河理事その他、白木屋や三越等にそうザラにある品物でないと同時に特價品だ、從つて滿鐵の增資問題になるがこれは休會明議會に出されるかどうか時日の問題ははッキリしないが政府としても增資しなくてはなるまいとは考へてゐる、この件についてはまだ具體的にお話するまでになつてゐない、その具體的折衝はこれからだ、拓務省としても滿鐵に大いに仕事をして欲しい、確安の十八萬トン製產を支持したのは拓務省だ、監督官廳として珍らしい出方だがすべて國家**本位に**考へて仕事をすれば好い、監督官廳が小姑の樣ではいけないと思ふ、とにかく將來は滿鐵で大いに仕事をしてもらつて淸いサッパリした明らかな氣持でやらればウソだ、その意味で鐵、石炭、肥料等の產業の基礎になるもの卽ち國民生活に必要なものは大切にすべきだ、昭和製鋼所の認可に對して拓務省がグズ／＼云つたと云ふのは嘘だ、むしろ顧客のヒナ形を敎へた位だ、しかしまだ正式に願書は出てゐない、とにかくかゝる國家的の仕事はなるべく早くしなくてはならぬ、滿洲で犧牲を拂つた皇軍の將士の努力に對しても飽くことなく何かもたらさせねば駄目だと思ふ、今度の事變のみに對し既に五億二千萬圓を計上してゐるがこの償ひをどうつけるかゞ問題だ、とにかく大いに飽くことなくやらせねば駄目だと思ふ

かくて星の家の滿鐵招宴に向つた

我國の對滿政策は後世史家も認めん
內田外相の年頭所感

茲に昭和八年の新春を迎ふるに當り謹んで聖壽無窮を仰ぎ奉ると共に一言所感を述べたいと存じます

顧みれば一昨秋滿洲事變勃發以來滿洲にある我忠勇なる將卒と在留官民とは寒暑窮乏を厭はず我國防の安全と權益の擁護に盡しつゝあるのでありましてその日夜不斷の努力は全國民の厚く感謝する所であります、滿蒙に於ける我權益は國防上將又國民生存上所謂生命線を構成するものなるは我舉國一致の信條でありまして滿蒙自然の寶庫を開發し滿蒙をして內外人安住の地たらしむることは二十世紀を通し帝國の外交政策を一貫せる指導精神であります

◇

幸ひにして昨年三月彼の地に成立せる新興滿洲國は三千萬民衆の熱烈なる希望に生れ王道樂土の新天地開發を理想とするものでありましてこれが健全なる發達は東亞全局の事態を安定し永遠の平和を確保する唯一の道であると確信致すのであります、帝國はこの確信を以て敢然滿洲國を承認しこれと善隣の誼を厚うすると共にこれが發達を助長して居るのでありまして今やこの方針は實に我國に上下一致の意思として動かすべからざる既定方針を爲してゐるのであります、而してこの我政策が東亞の平和を保全するため眞に唯一のものであることは遠からずして世界各國民により諒解せらるゝと共に後世史家の是認する處となるべきは我國民の深く信じて疑はざる處であります。

◇

最近數年間に亘る經濟的不況と財政的逼迫及之に伴ふ人心の不安動搖は昨年に於て正にその極に達したかの觀がありますが今や官民心を一にして國家の大事に當らんとするの機運愈々濃厚なるものあるのは寔に慶賀に堪へぬ所であります、今や滿洲國の發達と共に東亞の事態漸く安定せんとするの兆候を認むるに至りましたが、帝國內外の關係は前途尙多事多端と申さねばなりません、私は我國民が更に一層の努力を以て產業に貿易にその他各自の分擔する業務を勵み一致團結益々國力の充實を圖り我國策の遂行に當らんことを切に希ふものであります、聊か所感を述べて年頭の辭と致します。

關東廳を訪問

來滿した堤拓務次官は二日午前十時五分自動車にて大連發遼甲龍王塘水源地を視察十一時過ぎ旅順着直に白玉山納骨祠に參拜正午からは長官々邸に於て關東廳兩局長各課長列席の午餐會に臨み午後二時過ぎ離旅したが大連に一泊の上三日午前北行の豫定であると（寫眞は堤次官）

日本製の電球 米國が輸入禁止
特許權を犯した廉で

【サンフランシスコ一日發】米國關稅裁判所はゼネラル・エレクトリック社の提訴により今日州內當業者に對し日本製電球類の輸入禁止の命令を發した、右は日本品が同社の特許權を犯し類似商標を附したといふにある

總べてに留意した新京都市計畫
解氷を俟つて着工

【新京特電】新京の都市計畫は客冬二十八日滿洲國々都建設局より發表されこの發表は解氷を俟つて建設されるまでは幾らか小變更を免れないだらうけれどもこれはその細部に亙るもので嚴然たる大方針には何等影響を招來するものではない、この都市計畫の最も特長とするところは丘陵から**丘陵**に介在する凹地に土を入れて埋立てを行ふことは建設工事上多額の經費を要するので當局者はこの凹地をそのまゝ公園地として堤を作り水を湛へ樹木を配し市民の散策享樂地としたことである、從つてこの種水塘公園が市內隨所に設立されるがこれは國防上の見地から首都空襲に際しても一つの避難所となり、又瓦斯等の沈澱作用地にも利用されるの計畫である、次ぎに新京は一年を通じて西南の風が多い關係上所謂工業地區を東北方卽ち吉長線以東の低地に設定して**市民**を煙霧から救つたことゝ商業地の一ケ所集合は都市發展上頗る暗黑形成結果を招來する恐れあるので出來るだけ商業地區を全市にあんばいしてその發達を圖つたこと、六里比に新設される停車場によつて鐵道兩側の町は往々にして連絡を失ひ別個の市を形成して發達を非常に阻害するものであるが、その點を考慮して鐵道線路上をオーバーした道路を計畫し鐵道線路による交通遮斷を除去したことは新しい試みで世界に誇り得るものとされてゐる、本年四月からはこの最も斬新な都市建設のため一日一萬人の**苦力**を入れて道路工事に着手し第一年度としては滿洲國官廳完成を始めとして一萬個以上の堂々たる新家屋が甍を並べ見るであらうと期待されてゐる、尙この明かな首都建設のため國都建設局では二三百人の各專門的新人物を採用陣容を整へてこの第一步を踏み出すことゝなつたが土地拂下げの出願者は日本一流の資本家を始め各方面から殺到して正月早々から輪手古舞とはあくまでも惠まれた滿洲國の新春情景である

旅順初市會

旅順市長選擧に關する初市會は七日午後二時より招集することゝなつた

地方費の調達は順調に進捗
門司にて 西山財務部局長談

【門司特電二日發】あめりか丸で歸滿の途にある西山關東廳財務局長は語る

四十日あまり上京中の重要任務たる地方費五六百萬圓調達の件は順調に運んでゐる、今一息の所で本月中旬再び上京して成功する見込みだ大體明年度豫算は本年度の二千五百八十萬圓と大差なく無論この中には事件費を含んで居る、武藤大使が新京にあつて關東長官を兼ねて居られることについては實際問題として貴族院議員の長官が東京に居られるよりも遙かに好都合である私は着旅早々新京に行く豫定だ

あめりか丸船客

【門司特電二日發】四日大連入港豫定のあめりか丸主なる船客諸氏
關東廳財務局長西山左內、滿鐵理事伍堂卓雄、立教大學教授田口力知郎、滿洲航空會社專務兒玉常雄、陸軍大佐後宮淳、滿洲國郵總理秘事太田外世雄、ソウエート大連領事ミハイロフ

關東廳の警察課 連絡員決まる

關東廳警務局では、さきに拓務省內に新設された警務課には連絡員を派遣すべく人選中であつたが、三十一日警務課福間警部、吉岡警部補の二名と決定した、兩氏は四日出發の筈

人事

▲堤康次郎氏（拓務政務次官）一日入港はいかる丸にて來連
▲高橋敏雄氏（同事務官）同上
▲毛利茂氏（同次官室勤務）同上
▲池田政治氏（拓務屬）同上
▲竹內鉎之助氏（山下汽船業若松支店長）同上
▲森静子孃（映畫俳優）同上
▲筑紫熊七氏（滿洲國參議）二日朝八時大連着列車で來連
▲張燕卿氏（滿洲國實業部總長）同上
▲川島芳子氏（肅親王令嬢）同上
▲堀幸藏氏（國防義會理事長）二日出港のうすりい丸にて內地へ歸還

王道と滿洲國
滿洲國國務總理 鄭孝胥

當世列國用ひて以て國民の思想を造成する所のもの、皆愛國を曰はざらんや、用ひて以て國民の能事を養成する所のもの、皆軍事教育を曰はざらんや、各國その國民を練習する所以のもの、たゞ人後に落んことを恐る、豈に知らんや、愛國の宗旨は卽ち仇外の對象たり、軍國民の資格は卽ち戰備の先聲たることを、これ皆戰を建て禍を圖るの策にして、世界の戰禍旣に習慣の中に釀成され、因を種いて果を得、治安を破壞し人類を戕滅するに至らざれば已まず、且つ電力火器の技日進未だ已まず、軍機の精鍊費の鉅嘗往日に百千倍す、戰爭未だ發せず、而して人民の死亡財用の耗竭已に立ところに現はる矣。

王道は乃ち今日起死回生の良藥、世界の戰禍を消して之を安居樂業の途に致すものなり、果して王道を行はんとせば、必ず先づ愛國の思想を蕩滌し、而して博愛を以て主となし、必ず先づ軍國の教育を革除し、而して禮讓を以て先となす。

君子は位あるもの、稱、己を修めるに敬を以てするは、所謂修己、邪辟の氣、四體に設けざる也、己を修めて以て人を安んずるは所謂老者之を安んじ、朋友之を信じ、少者之を懷くるなり、己を修めて百姓を安んずるは、所謂天下溺るゝ者あればなほ己之を溺らすが如くなるを思ひ、天下飢る者あれば、なほ己之を飢やす如くなるを思ふなり、堯舜天下の任を以て己を責む、故に禹稷と同意。

子貢曰く如し博く民に施し而して能く衆を濟ふあらば何如、仁と謂ふべき乎、子曰く何ぞ仁を事とせん必ずや聖乎、堯舜すらそれなほ諸を病めり、それ仁者は己立たんと欲して而して人を立て、己達せんと欲して而して人を達す、能く近く譬を取る、仁の方と謂ふべきなるのみ

博く施し衆を濟ふ、其功成り難し、之を人に求めば終に止境なし、返つて而して己に求むるに如かず己立たんと欲して人を立て、達せんと欲して人を達すれば、卽ち小よりして大、近きよりして遠きに及ぶまで步々足を踏み功成るを待たず、而して聖德の效一日千里、此卽ち王道の實地なり。

大舜は焉より大なるあり、善人と同ふす、己を捨てゝ人に從ひ人に取て以て善を爲すを樂しむ耕稼陶漁より以て帝となるに至るまで人に取るにあらざるものなし、諸を人に取て以て善をなす、是人と善をなすもの也、故に君子人と善をなすより大なるはなし

堯庶人を以て天子となり、己を舍て人に從ふを以て行となす、故に天下之に服す、諸を人に取て以て善をなすに至りては賜ち盡く人己の見を除く矣。

孟子曰く、人を愛して親しまずんばその仁に反れ、人を治めて治まらずんばその智に反れ、人に禮して答へられずんばその敬に反れ、行ふて得ざるものあれば、皆反つて諸を己に求むその身正ふして天下之に歸す

之を人に求む、これ天下の常に亂るゝ所以、王道の行はれざる所以なり、諸を己に反求すれば賜ち親しまず治まらず答へられざるの故、

なり、王道行はれ易き端に信ずべし矣。

以上皆王道の要旨人己の間に在るを證明す、大學一篇は王道の具體の學たり、宋の眞德秀著大學衍義の一書參考に備ふべし。

王道の學は之を內聖外王の學といふ、王道は至つて大なり、而して之を大に求むる能はず、王道は至つて遠し而して之を遠きに求むる能はず、然らば賜ち王道安くに在る乎、今一言を以て之を蔽へば曰く人己の間に在るのみ、內聖なるものは王道の己に應するものなり、外王なるものは王道の人に應するものなり、更に孔孟の書を引て以て之を證す。

顏淵仁を問ふ、子曰く己に克て禮を復むを仁となす、一日己に克て禮を復めば天下仁に歸す、仁をなす己に由らんや

天下仁に歸するは乃ち王道の樞紐なり、そのこれを致す所以のもの乃ち克己復禮に在り、

捷、蓋し必ず之を事實に驗し、而して後人に求むるもの徒らに勞して而して益なきを知る、發動の力固より此に在りて彼に在らざる也

子路君子を問ふ、子曰く己を修むるに敬を以てす。曰く斯の如きのみか、曰く己を修めて以て人を安んず。曰く斯の如きのみか、曰く己を修めて以て百姓を安んず、堯舜すら其れ猶ほ諸を病めり

孝胥王道己を修むるの學を編し、分つて四課となさんと欲す。曰く敬義。曰く敎讓。曰く戒傲。曰く戒貪。書なほ未だ成らず。

王道或問

或人曰く、當世各國愛國の思想を造成し、並に軍國民の資格を養成するに汲々たらざるはなし今乃ち獨り王道學說を倡へ、博愛を以て資本となし、禮義を以て器械となし戰具を製せず武力を蓄へず列國をして忌で而して之を陵がしめば、卽ち將に其爲す所に聽せて而して抵禦を施さゞらんとする乎。曰く然らず、これ兼併の時代に在ては自ら保つの武力なければ、卽ち誠に以て自ら存するに足らず、ナポレオン及ウヰリアム二世旣に呑併を以て失敗す。今日各小國の獨立するに足るもの、その甚なく且つ害を爲す能はざるを以てなり故に各大國も亦相視て動くことなし、蓋し均勢の局將に呑併を以て壞ぜんとす、然らば卽ち小國の安危は卽ち大國の安危なり彼のローザンヌ及びジュネーヴの議場、皆瑞西に設けらるゝを觀るに、豈其衆忌を招かず、反つて世界の華胥たるを以てに非ず耶、若し王道の國にして亞洲に興らば則ち當世の列强固より利あつて而して害なし。戰具を製せず武力を蓄へずと雖も、而して舉世の戰具武力、啻に我に代て抵禦を施すのみならず、忌て而して之を陵き以て其無理の行爲を肆にせんと欲するも、恐らく發端に難し、而して天下の不諱を冒す矣。比年以來舉世已に厭兵の時代に入る、王道果して行はるれば舉世の思想必ず將に收變して、軍縮弭兵の進步に意外の速化あらんとす、慮る所のものは唯共產政策なり、彼の持して世界を顚覆せんとするの計畫は、將に我を以て思想の勁敵となさんとす、其勢必ず兩全なる能はざるもの也

蛇角

◇ 乾坤一擲、萬象更新、蛇角子の禿筆また茲に新なり。
◇ まづ不景氣はさるの年、幸運はとり年、と揃いで濟く。
◇ 支那側頻に妄動、阿片氣分に屠蘇氣分が手傳つて。
◇ いづれ、夢が醒めたらベソを搔くそうな。
◇ 日滿匪自軍、かつ顚か。
◇ 一波、一波が旭をのせて來る冬の海……風が吹けば荒れもせう。

滿蒙の戰慄 (187)
直木三十五作　淺枝次朗畫
大陸晴る（五の四）

マダムは座ると、麗の顏を、正面から、ぢつと見つめて
「本當にお綺麗ね、貴女のやうな人、來てくれると有難いわ」
麗はうつむいてゐた。
「そして、どんな要求?——要求つて、可笑いけど、要求でせう」
「えゝ、別に、そんな——」
「大した事ぢや無いつて云ふの」
「えゝ」
「云つてごらん」
麗は、快活なマダムに（この人なら、何を云つても、笑つて聞いてゐてくれそうな）と、感じたので
「妾——夫がございますの」
「あらつ——まあ、早いのね、餘んまり、早く夫をもつと、碌なの來やしないよ」
麗は、笑つた。マダムも笑ひながら
「貴女のが、碌でなしつてんぢやないけど——貴女なんか、いくらだつていゝ人を、撰り好みしてさ御金持ちの、譯のわかつた、やさしいのやかね——何んな人だつてこれから先、見つかるわよ——そして、その人と一緒?」
「いゝえ」
「ぢや、その人、內地?」
「えゝ」
「東京?」
「えゝ」
「若い人」
「えゝ」
「えゝ々つて、云つてごらん——まあそんな事は、後でもいゝけどそれで?」
「それで、嫌だけは——」
「はいゝゝ、その心算」

マダムは、大きい聲を出して
「いやな人、この人は」
そう云つた時、下から、白いコツクが
「マダム、こゝへ（置きます）」
と、紅茶を出した。
「あいよ」
麗が、皿へ手を延すと
「有難う」
と、云つて
「そりやあれ。身體でも賣らなければ、收入の無いつて人は、この——」
と、顏をさして
「レッテルの駄目な人が、さうするのよ。貴女なんか——そりや、くる奴、くる奴、皆そのつもりでくるけど、そりや、貴女の心持ち一つよ。貴女さへしつかりしてりや、そりや大丈夫よ。その顏を見にくる人だけで、押すな、押すなだわ——贅澤したいとか、御金をうんとためたいとか、そんなのは別よ。普通に、食べて、着るだけなら、何んでもないわ」
「えゝ——それに——妾の父が——」
「お父さんもゐらつしやるの」
「えゝ」
「こゝに?」
「えゝ、父にいくらか——」
「いゝわよ。大丈夫、妾、引き受けるわ」
「えゝ」
「來てくれる?——來て見たら何う?來て見て、嫌だつたら、又考へ直す事にしてさ、とにかく、來てみたら?こゝの二階に、妾と二人でなればいゝぢやないの」
「有難うございます」
麗はそう云つて（來る事にしよう）と、思つた。

賀正
大連著名商店

伊藤呉服店
舊年中は特別の御引立を蒙り難有厚く御禮申上げます、尙本年も不相變御愛顧の程を偏に御願ひ申上げます
大連市浪速町三丁目
電話代表六一〇七番

新春を迎へ御芽出度ふ御座います、昨年中は格別の御愛顧賜り有難厚く御禮申ます、本年も倍舊の御引立を御願致します
中山婦人服店
大連市連鎖街銀座
電話二二二四九番

昨年中は格別の御引立に預り厚く御禮申上げます、尙本年も不相變一層御愛顧の程御願申上げます
御菓子司 みふと屋
大連市常盤橋
電話（三）二六〇八 六六五番

絹洋服地 絹織物 富士絹 ワイシヤツ
NS 瑞豊
日華蠶絲株式会社出張所
大連山縣通一七一
電話長八七一四

滿日、大每、內地各地新聞販賣
辻山洋行新聞部
大連市山縣通六四
電話（三）七〇四（五）〇〇六番

昨年中は多大の御引立に預り難有く御禮申上げます、尙本年も不相變一層の御愛顧の程伏して御願申上げます
山内履物店
大連市浪速町三丁目
電話五七一八番

大連市浪速町三丁目
奥田時計店
電話六七三一番

大連著名商店

新春の天地朗らかに 神々しき大內山
四方拜御儀と歲旦祭

【東京一日發】歲旦祭に引續き兩陛下拜賀式——昭和聖代第八春の元旦、宮中では新春の大地おほらかに明けそめる午前四時半若水にて御淨身黃櫨染の御袍を召された天皇陛下には同五時半といふに綾綺殿から賢所神嘉殿に出御御笏を正させ給ふて伊勢神宮をはじめ四方の神祇、畝傍、桃山多摩の各山陵、並に熱田神宮以下の數社を御遙拜、重大事局に直面してゐる國家の安寧諸民の多幸を御祈念、續いて歲旦祭に移らせ庭燎ほのぼのと燃え御神樂とゞろく\/と響き渡るうち賢所、皇靈殿、神殿に御ぬかづき給ふ、神々しき御鈴の打ち振ふ音、元旦の大內山神域のほとりは太古のしゞまに似て御拜は天明ほのぼのく同六時御終了、陛下入御遊ばされる、皇后、皇太后兩陛下は此間御內儀で御遙拜の御由である、かくて新春の陽光照り輝く午前十時、天皇陛下には皇后陛下御同列にて鳳凰の間に出御、靑寄一二の間より御儀の間に御參進の秩父宮高松宮殿下はじめ奉り各皇族殿下と御對面、年の初めの御慶びを受けさせ續いて正殿に西溜間より參進の各大勳位て齋藤首相以下各國務大臣、倉富樞府議長以下各顧問官、親任官各有爵者等夫人同伴の文武顯官に對し鄭度に亘り拜賀を受けさせ給ふた、この朝陛下には輝かしい大勳位菊花章其他數多の勳章御佩用の御もかしこき大元帥の御正裝、皇后陛下にはマント・ド・クールのトレーンを若き公達に捧持せしめられた楚々たる御洋裝にておはした、拜賀の諸官は兩陛下の御健勝の御姿を拜して竹の園生の彌榮えを喜び壽ぎ奉つたのであつた

忠靈塔下に參つて 昭和第八春を壽ぐ
大連市民新年祝賀式

大連市民の新年祝賀式は元旦午前十一時三十分より中央公園忠靈塔前で擧行された、この日天氣明朗萬象一新の春を迎へて瑞氣は天地に漲り渡る、永井民政署長、森本地方法院長、高柳中將、岩井少將八田滿鐵副總裁、十河、山西、山崎各同理事、石井大連警察署長岡野市助役、大內市會議長を始め市會議員、區長、在鄉軍人、修養團員その他約二千名參集、定刻「氣を付け」のラッパで開式、國旗を掲揚し樂隊奏樂裡に一同「君が代」を二唱、更に一同遙か東方宮城に向つて國運の隆盛と皇室の彌榮を祈り最敬禮をなし終つて岡野助役はマイクロホンの前に立ち祝賀の辭を述べ最後に永井民政署長の發聲により「大日本帝國萬歲」を三唱し閉式したが頗る盛會であつた

日滿親善の 新京第一春
全市に漲る歡喜の聲

【新京電話】滿洲國獨立最初の目出度い新春を迎へた新京の元旦は日滿官廳の拜賀祝賀式を始め正午より新京商業學校における日滿聯合の新年互禮會が賑々しく嘗て見ない盛かさで祝盃があげられた、一般市內は街頭における日滿人の握手等想像だに許さなかつた感激の情景まで見せ零下二十數度、ほんとうの正月らしい寒さの中にも禮者頗る多く正月氣分百パーセントで各戸からは酒の香と日滿親善の聲とが豐に溢れ長春を奪て、新京を迎へた第一年の新春味が全市に漲つてゐた

各官衙祝賀式

民政署では元旦午前十時より拜賀式を擧行署長以下御眞影を奉拜し終つて祝宴場に集合一同祝盃を擧げ永井署長の發聲で「天皇陛下萬歲」を三唱閉式、市役所では午前十時三十分より市會議場に於て祝賀會を擧行、岡野會長代理、大內市會議長以下市吏員、市會議員、區長參集岡野市長代理の挨拶に次ぎ酒を酌み大內市會議長の發聲で「天皇陛下萬歲」を三唱閉式、遞信局では午前十時より祝賀式を擧行し奏任以上參集最高古參者の拜賀の辭あり別室に於て祝盃を擧げ「天皇陛下萬歲」を三唱し閉式した

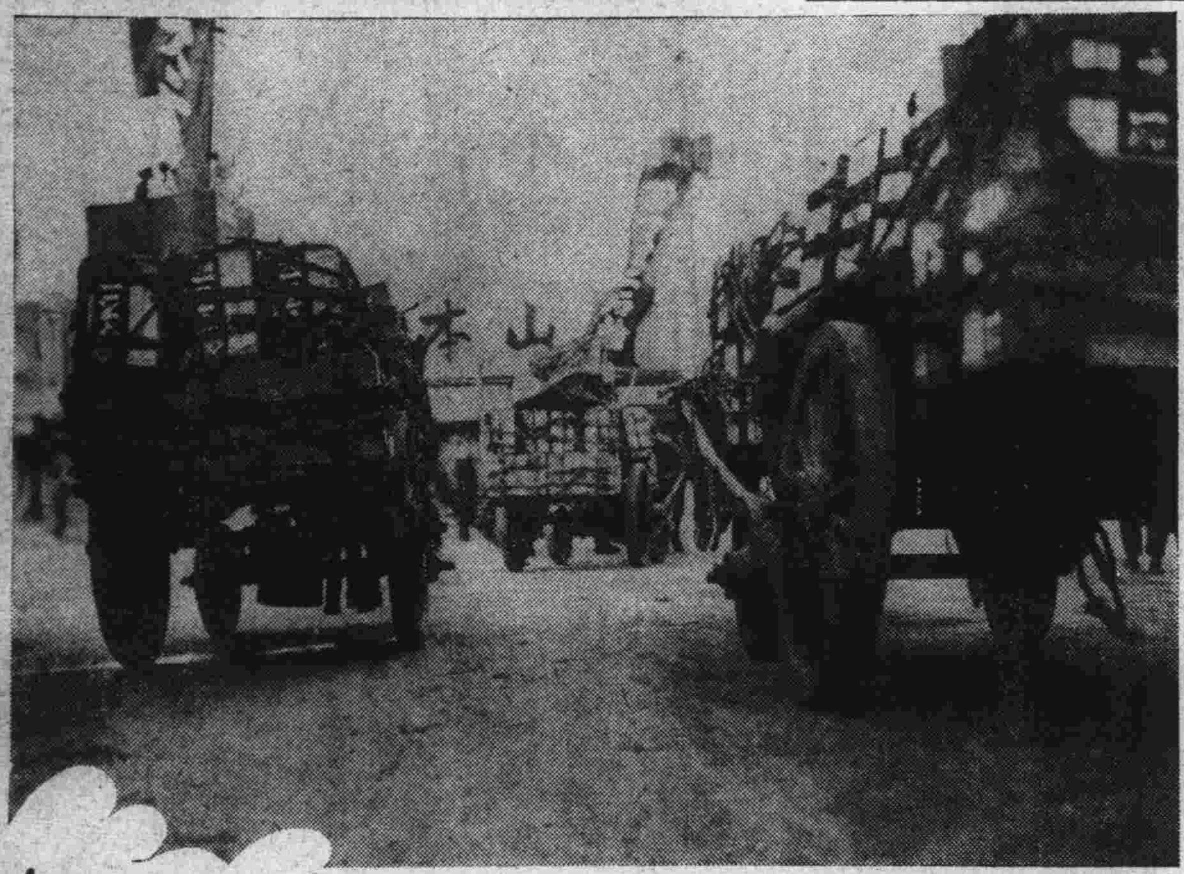
滿鐵の祝賀式

滿鐵の新年祝賀式は元旦午前十時から社員倶樂部大食堂において開かれた、定刻前すでに堂に溢れて廊下まではみ出す盛況、式は林總務課長の開會の辭について一同君ケ代を奉唱、林、八田正副總裁の式辭に次で山崎理事(重役代表)藤根關東軍特務部顧問(社友會代表)土肥人事課長(社員代表)工務課長(社員會幹事長)竹森氏(社員會代表)吉井氏(青年會代表)三滿鐵鐵課長(婦人部代表)の發聲にて萬歲を唱和し十時五十分散會した

また林、八田正副總裁、十河、山西河本、山崎の各在連重役及び山內顧問は午前十一時半より滿洲館に於て社員および市中各方面の年賀客を迎へて交歡した

明治神宮參拜者 元旦に六十萬人

【東京一日發】初春の暖かい絕好の日和に惠まれた元旦の明治神宮參拜者は除夜の鐘を相圖に四方八方より押し寄せた人波で靑山參道は非常な雜沓を呈した、殊に本年は引續く滿洲の戰時氣分とインフレ景氣のため參詣者增加し在鄉軍人團、少年團の團體參拜者が多く午前零時より正午迄四十萬に達し早くも昨年元旦の夕刻迄の數に達し一日中の參拜者數は六十萬人に上り近年稀なる大賑ひである



大連市民新年祝賀式と初荷

開城記念の祝賀會
旅順の元旦

昭和八癸酉旅順の元旦は朝來の快晴寒氣稍強きも萬象一新人心亦明朗の瑞氣漲り午前十時各學校では御眞影の奉拜より順次新年の式を開始、關東廳では午前十一時より會議室大廣間に於て林、日下兩局長以下參集賀詞祝盃を擧げ同十一時十分には昭和園に於て官民合同の互禮會並に旅順開城第二十七回祝賀會が擧行された、陸山市長代理の祝詞、安藤要塞司令官發聲にて兩陛下の萬歲を三唱祝盃を擧げ更に在鄉軍人旅順分會では正午から偕行社に於て勅諭を捧讀祝宴の盃を擧げた

大連神社賑ふ

元旦大連神社では午前十時から氏子役員等參列の上歲旦祭を執行、式後神樂殿奏樂の儀が行はれ一般參列者には神酒供物を頒興したが折からの嚴しい寒さも冒して未明から市民の參拜者續々として絕えず社頭は非常の賑ひを呈した

事變以來甫めて 正月氣分を滿喫
ハルビンの在留邦人

【ハルビン特電一日發】在哈〇〇司令部では一日朝七時から廣瀨中將以下各部隊長冷濟と雖當者に新年を祝し遙か東に向つて遙拜式を擧げたが元旦の屠蘇に正月氣分を味はふと間もなく朝八時遙拜式の式場から武裝姿いかめしく東部線方面に向け出動した、また總領事館では朝九時から官邸に於いて御眞影に對し遙拜し午後一時からは民會に於いて一般の互禮會を擧行したが在哈居留民は事變以來初めての正月氣分を滿喫した

愈よ來る四日から 奉天大連空の旅
伸び行く滿洲航空路

【新京電話】關東軍特務部顧問藤根壽吉氏談、滿洲國政府滿鐵及び住友等の日滿官民合辦を以て設立された滿洲航空會社は社長に鄉垂氏を推し、去年十一月三日滿洲航空史上特筆すべき一般商業航空の營業を開始し、業績は順調の經過を辿りつゝある、尙來る四日より愈ゝ奉天、大連間の航空線を開く筈で從つて新京、大連間の旅客には非常に便利を與へることゝなる、現在の主なる航空路左の通りである

▲奉天、新京、ハルビン間
毎日一往復、片道所要時間約三時間半
▲ハルビン、チチハル間
毎日一往復、所要時間片道約二時間
▲奉天、新義州間
日曜を除き毎日一往復、所要時間片道約一時間
▲新京、吉林、敦化、龍井村間
毎週月、水、金一往復、所要時間片道約三時間半

一、奉天、新義州間は新義州において日本航空、朝鮮、內地線に連絡す
二、奉天、大連線は一月四日營業を開始す
毎日一往復、所要時間片道約二時間半

本會社の使用機は世界的優秀の定評あるフォッカー式、スーパー・ユニバーサル旅客機更に優秀なる操縱士等により運行せられ所有機は陸軍機を利用して天候氣象の調査を行ひ航空の安全百パーセントをモットーとしてゐるので、特に航空氣象に對して天惠的好條件を有し滿洲航空旅行の愉快は又格別である、これがため全線とも毎日滿員の盛況である、尙本年は一般旅客の外航空郵便、貨物の取扱ひも實施してゐるが、各地同會社本店、支所、出張所又ツーリスト・ビューローに申込めば詳細なる營業案內を送る筈である

四歲の幼女が 郵貯拂戾し
笑へぬナンセンス

市內大和町二六の一四五石原興吉方では三十一日午前十時頃妻女が病氣のため四歲になる長女のサツキに二百五十圓記入の郵便貯金通帳を持たせ、十五圓を引出すため大和町郵便局に赴かせたところ、何時まで待つてもサツキが歸つて來ないので郵便局に訪ひ合せると「そんな子供は來ない」と云ふ返事にさてこそ誘拐されたと兩親は眞ッ靑になり早速大和町派出所に搜查方を願ひ出て大騷ぎを演じたが、そのさとさく騷ぎの眞最中午後零時半頃に當のサツキちやんは郵便貯金帳をしつかり持つて、何處を何う步いて來たものか平氣な顏で飄然と歸つて來て、幸ひ年末のナンセンス騷ぎに終つたが、僅か四歲の幼女に現金を扱ふ使ひをさせたのは如何になんでもチト大膽すぎる話

荒木大尉の遺骨着奉

【奉天電話】興安嶺で名譽の戰死を遂げた荒木大尉以下十六體の遺骨は二日午後五時十分奉天着、多數市民の出迎へを受け西本願寺に安置され三日午前七時十五分離奉大連經由送還されると

代田氏を收容

【奉天電話】岫巖において隈崎部隊と共に奮戰重傷を受けた宣撫員代田和吉氏は曩に井上司令官が飛行機にて岫巖に赴きたる際座席の關係で一名のみ收容し來り代田氏は殘されてゐたので二日朝七時十分東飛行場より岡村特別工作員飛行機にてこれが收容のため出發した

ファン待望の 森靜子來演
初入港船で華やかに

森の靜ちやんが元旦入港ばいかる丸で來連した、永い間のおなじみのファンに舞臺で御目見得すると云ふのであのハニカミ屋の靜ちやんは船の疲ひも何處へやらはしやぎ切つてゐる、船室にお母さんと只二人のところを訪れるとつゝましげに語る

滿洲は初めてゞすわ、寬壽郎さんが滿洲へ行つた入江たか子さんが行つた、さて大江美智子さんが行つたなんて聞いてもう矢もたてもたまらなく是非一度はと思つてゐましたのに幸ひ來られました、こんなうれしい事はありませんわ、少し寒い位我慢します、皆樣の前でゆつくり樂しませて頂きます、今度は旅大だけで六日の船で歸ります、フイルムは私の一番新しく撮つた「夢の花嫁」です

いつまで經つても若く美しい森の靜ちやんは古い時代から今日迄新しいファン多數に出迎へられて上陸した【寫眞はばいかる丸甲板上の森靜子】

坂谷父子遺骨

【奉天電話】岫巖で匪賊の爲め殺された坂谷松江さんの父と兄の遺骨は我軍に手厚く護られ奉天の運

賣上げ八十三萬圓 驚異的大成功
特等三千圓の景品が煽つた
建國記念大賣出し

一九三二年から一九三三年にかけての三千圓の幸運兒は誰?年頭早々から話題の中心となつてゐる建國記念日滿合同大賣出しは豫定賣上高を超過すること實に三十餘萬圓、八十三萬餘圓と驚異的大成功裡に宿願三十一日を以て締切つたが大賣出し事務所では、これに伴ひ景品もそれ\/增額することゝし旣にその筋の許可を得た

特等三千圓を二本、兩袖もこれに伴ひ四本(各百五十圓)一等一千圓一本、二等五百圓三本、三等二百圓七本、四等五十圓二十五本、五等十圓五十本、六等五圓二千二十本、七等二圓四百二十二本と夫々大增額、總額五千百五十圓といふ當初の豫定より二百二十八本、金額二萬五千六百五十圓增しとなり一萬五百餘人の幸運者數に於てざつと一萬圓の大膨脹振りもこれは八十三萬圓に對する景品でまだ\/大いに殖えるが八十萬圓超過額はその割合に應じてそれ\/七等二圓に增數の筈

このため賣出事務所では大枚百五十圓を投じて抽籤機を購入、堅く鍵を閉ざして八日の抽籤日を待つてゐる、この玉手箱の開かれる八日は午前十時、警官、新聞記者、立會嚴重な監視の中に先づ三千圓の幸運者、次いで一千圓、五百圓と順次七等二圓迄總數五千二百餘終るのは三時過ぎる豫定で一般の觀覽を歡迎すると

尙ほ景品券五枚と抽籤券一枚との引換は來る四日より七日まで引續き各引換所で行はれるが、これが發表は十日の各新聞紙上で行はれる、大連放送局でもその抽籤の結果を放送する筈

聞き給へ 驚き給へ 買ひ給へ
ポリドールレコード
POLYDOR
世界無比 ポリドアー式電氣吹込

堀羊藏氏歸國

昨年中前後四回に亘り來滿の各地に駐屯する我忠勇なる將士を慰問し、國民國防の智識普及について各方面の打合せ實情の視察を終つた國防義會理事長堀羊藏氏は二日大連出帆のうすりい丸にて內地へ歸つたが更に二月中渡滿各軍隊の慰問を行ふ豫定であると

馬車夫斬らる

鞍山北四番町客馬車夫龍寶春(三七)は元旦午後七時半著列車より下車した一滿洲人を乘せ八壽溝入口守備隊附近に於て突然乘客より銳利なる支那刀にて頭部を深さ三寸の傷害を受けた急報により鞍山署では直に元旦早々非常召集を行ひ犯人搜査に努めたが屆出で遲延のため遂に取逃した

若狹町初火事

一日午後六時五十分ごろ市內若狹町五九番地古物商殷殿鉞方から出火し同家を半燒七時二十分鎭火した、原因はストーヴの不始末から損害約二百圓の見込み

大連會館は五日に開場

ダンス・ホールとして更生準備中であつた大連會館ではいよ\/來る五日正式開場する運びとなつた

天氣豫報 三日
西の風(晴)
各地溫度 二日午前十一時
大連零下七 奉天零下一二
旅順同四 新京同一四
營口同一一

返品返金自由
御挨拶
舊年末大賣出は賑はしく御來店下され御蔭を以て例年に見ざる人氣を示し御愛顧の程難有御禮申上げます何分混雜中とて不行屆勝にて御滿足を得ざりし點も多々有之し事と謹んで御わびを申上げ猶將來の努力を契ふ次第でありますこゝに舊年末賣出しの御禮を兼ね御挨拶まで
旅順・金州・無賃配達
大連市浪速町 船塚 電話四三九七番

伊勢參拜團
申込締切三日限
團費金八十八圓
出發一月四日ばいかる丸
お正月休を御利用致しませう
主催 崇敬會 大連市吉野町七一 電話七九七四番

果然滿員 物凄い人氣!偉い評判です!
名花森靜子孃の御挨拶と實演
新舞踊美しい舞姿の「祇園小唄」
映畫は・阪妻の「情熱地獄」
森靜子主演 祇園夜話「夢の花嫁」

新春先づ凱歌上る・滿員御禮
皆樣お揃ひでお越しを
映樂館

謹賀新年
各位御得意樣には芽出度御迎春愈々御多祥御起居被遊奉慶賀候、降而弊館事邦人唯一の經營であり珍味の中心人氣の焦點として特別の御聲援と御引立を蒙り居候段厚く\/御禮申上候、今年は尙一層皆々樣の御期待に添度一流腕利料理人を加へ其他使用人の上にも一大改革を斷行致し內容外觀共に晴々敷新春の氣分を以て大に努力、名實兩全を期し度候間此上共舊倍の御引立に預り度奉懇願候 敬具
珍味之中心 人氣焦點 北京料理 扶桑仙館
大連連鎖街銀座通
電話(日人專用)二三一一〇番 (華人專用)二二一〇九番 (二階)三三六四番

謹賀新年
建築設計監督 野村建築事務所
大連市西公園町四五 電二三一一番
新京南廣場越香春旅莊七號室 電二四二九番

旅行中に付年賀缺禮仕候
佐志雅雄

御壽司の御用は さくら鮓
電話(三三六八)(七五)番

田端百藏儀 病氣療養中の處醫藥効なく一月一日逝去致し候就ては途中葬列を廢し一月三日午後一時沙河口西本願寺に於て葬儀執行仕り候間此段御通知申上候
一月二日
男 田端彌市
親戚總代 一ノ瀨代八 吉井彌平
友人總代 金森常吉 山下吉郎

銘酒 白龍正宗
旦房店昌隆街 白龍酒造場 電話一一一番

元旦ヨリ三日マデ上映
加賀騷動 河合オールスターキャスト
春は來れり 鈴木傳明・筑葉雪子主演
大東京の屋根の下 中野英治・河合喜美子主演
三國一刀流 嵐寬壽郎・原駒子主演
料金大人三十錢
四日ヨリ六日マデ上映
彼奈々子の裁判 河合オールスターキャスト
嘆きの孔雀 栗島すみ子・奈良眞養主演
勢力富五郎 葉山純之輔・五味國枝主演
スットントン 新井淳・飯田蝶子主演
たから館

支那近代土匪物語

領域が廣く人口が多い點において世界に餘り類を見ない支那のやうな國に於ては社會的にも自ら特異性を帶ぶ。名物土匪も其現はれの一つである。支那の社會は少數の大地主大商人を除けば大多數の貧民から成立つ、隨つて無職者遊び人乃至は浮浪人乞食など危險な分子が非常に多い。一朝食へない事になれば土匪にでもなるより他に途はないのである。飢饉が續き天災が頻發する時は忽ちにして多數の浮浪人を作る、又貪慾な官吏橫暴な軍隊に虐げられて無一物となるものも亦多い。加ふるに敗殘兵の匪走兵が臨時隨所に生れる此等は相率ゐ滔々として匪賊の世界に流れ込むのである。太平の時でさへも跡を絶たない土匪は近年の支那の右の如き狀態から益々猖える一方の經路を辿つて居る、而も彼等の亂源となつて新なる匪賊の製造に重大な役目を演じて居るのである。

土匪の數と產地

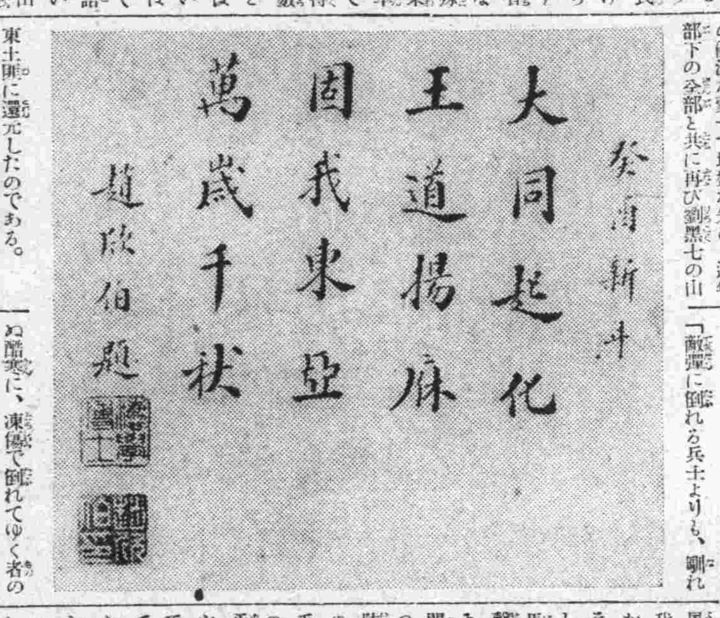
支那及び滿洲國を通じ土匪の總數が幾何に上るか、その算出は困難である。曾ては百萬乃至二百萬と推定した人もあるがそれさへ廣義に解釋すると狹義に解釋するとによつて非常な差が生ずる。卽ち專門の匪賊以外に平常の所謂良民にして機會ある毎に全部落を擧げて匪賊團に變ずるものがあるからで、此の意味から全省皆匪と稱する言葉さへもある位だ。廣東省の如き海波盜を見て海賊に變じない部落がないとさへ云はれる、殊に現在滿洲國に於ては事變の結果として異常に多數の所謂義勇軍なる兵匪が發生し又中南支に於ては共產黨匪が益々猖獗する如き特殊現象を呈して居るので土匪の數も空前の巨數に達して居るものと推定される、土匪の產地としては全支那到る處產地でない所がない唯地勢や風習に從つて滿蒙では騎兵を使用する故に馬賊、南支では海上で活躍するが故に海賊の語が起るが匪賊たる事に變りはない土匪跋扈の主なる地方としては山東滿洲を筆頭とし河南湖北陝西長江上流の四川南支の廣東、廣西等である。

土匪の種類

土匪の小なるものは何處でも見られる強盜竊盜と選ぶ所がないから之は別とするが本來の特色は團體行動を爲す事に存する、彼等は團體を組み村落部落を襲つて掠奪を爲し或は人質を攫つて身代金を取る、大團體に至つてはその數數萬に達するものもあり堂々と政府の討伐軍を破つたりする、信仰趣味を加へた秘密團體は土匪中でも殊に根強い樣だ、山東の拳匪（團匪）河南の白狼匪、滿洲の大刀會匪、紅槍會匪などがそれである拳匪は三十餘年前排外暴動を起して空前の國際大問題を起し、白狼匪は數年間に亘り政府の討伐軍を散々に惱まし、大刀會、紅槍會は舊には張作霖に手古摺らせ今亦我が軍に盾突いて居る事は人の知る通りである。

匪賊出身の傑物

匪賊の本場と云はれる滿洲及び山東では特に集團土匪が多い、中に傑出した人物が出れば周圍の群小を糾合へて次第に自己の大を圖り、遂には一地方或は一省を領有して封建の大名の如くになるに至る、此の時には既に名實共に土匪の域を脫して政府の大官になり濟まし、却て土匪を討伐したりなどして眞面目を裝ふのも滑稽である山東滿洲出身の土匪頭目中には後に名を爲したものが甚だ多い、張作霖を筆頭に張作相、吳俊陞、張宗昌等がそれで何れも一省若くは數省の主となつた、殊に張作霖の如きは大元帥と稱して大中華民國政府の元首となつた事は實に異數の出世で近代にその比を見ない所だ、然らば現在の北支那の主人張學良及びその一派は之等馬賊の餘裔を擁してゐるものだと云つてよい譯である。最近兵匪の大頭目として名を謳はれた馬占山もその出身は馬賊だと傳へられる、馬の例にも見る如く一度出世した馬賊でも志を失へば再び昔戀しやの馬賊に還るものもある。之について手近に面白い實例がある。山東に劉黑七なる土匪大頭目あり一九二八年濟南事件に際し支那のために活躍した功により國軍に取立てられ、部下の土匪は師に自分は師長に任ぜられ第何師長劉桂堂と銘打つて押しも押されもせぬ支那一流の武將となつた、然るにその後南北政爭の餘波を蒙つて地盤を失ひ、近年部下の全部と共に再び劉黑七の山東土匪に還元したのである。



土匪と國際問題

土匪が掠奪を行ひ人質を攫ふに當り財物を目的とする故に相手の內外人たるを問はず顧慮する處なく實行する、否寧ろ外人人質の價値高きを評價する、故に屢々國際問題を惹起する。支那の內地奧深く入込んでゐる外人宣敎師が屢々その犧牲となる。先年我が日清汽船の一船長が長江上流で人質となり四川、雲南、貴州を漂浪する土匪の手から救出する迄に一年の歲月と多額の身代金を要した事もあつた。最近では營口郊外で拉致された若いポーレー夫人とコークラン氏の二英人は六週間土匪に監禁されたが我が軍の骨折で救出された事は尙世人の記憶に新なる所である、然し國際關係の土匪事件中最もセンセーションを起させた實例は有名な臨城事件である。

臨城事件

一九二三年五月津浦線の北行急行列車が山東臨城附近に差かゝるや突如土匪の爲めに襲擊された、列車內には三十五名の外國人が乘合せて居たが內一名は射殺され婦人を含む二十五名は拉致されて山寨に監禁となつた、賊は之を人質に多額の身代金を要求し容易に解放しやうとしないので在支外人は勿論世界的に大問題視される事に至つたのである、此の事件を惹起したのは孫美瑤と稱する白面年少の一頭目に過ぎなかつたが、斯うなると思ふ壺にはまつたと云はぬ許りに人質を押へて思ふ存分の身代金を取つた外部下は旅に、自分はその旅長として政府軍に編入される事に迄成功した、併し此の爲に支那政府が外國側から巨額の賠償金を取られた事は云ふ迄もない、一方孫美瑤は更に野心を延ばさんと機を窺ふ間に僅かの隙に乘ぜられ政府軍の爲めに騙し討にされその罪業は報いられ、事件は大團圓となつた。

共產黨及び黨軍

共產黨及び共產軍を匪と見做す事の當否は此處に論じない、併し支那の現支配者は之を共匪と呼び最も恐るべき敵として取扱つて居るから暫く之に從ふ事にする、共產黨の創立は一九二〇年だから今日迄僅に十二年の歲月を經たに過ぎない、一時現政權の把持者國民黨と提攜した事もあるが大概は兩立せざる敵として苦鬪を續けて來たものとすれば今日の發達は正に驚嘆すべきものである。現在共產黨は十數萬の黨員と二十萬乃至三十萬の軍隊を擁し數百萬乃至數千萬の貧農勞働者を味方として居ると自稱して居る。蔣介石はこの恐るべき敵の絕滅を期し前四回に亘り數十萬の軍隊を動員して討伐に從ひその都度大成功を詐稱したが依然として所謂共匪の衰へざるを見れば討伐は結局失敗に終つたのである、共產黨は江西の瑞金に首都を定めソウエート區域は江西、福建、廣東、湖南、湖北、河南、安徽の各省に亘つて居る、在來の匪賊と異る特色は極めて組織立つて居り中心人物の指導がなくとも組織そのものゝ威力により着々擴大强化しつゝある事である。蔣介石が認めて大敵となすは眞に理由のある事である、支那の所謂共匪の將來こそは最も注目に値する問題であらう。

戰場で奇拔な八つの挿話

「酷寒」に斃れる兵士よりも、馴れぬ酷寒に、凍傷で斃れてゆく者の方がはるかに多かつたものだ……」日露戰役に思出も深い老將軍の夜話に聞く、あの滿洲のきびしい空氣が、匪賊討伐に輛轅暇なき皇軍の陣野に再び襲ひかゝつて、圓らかな勇士の夢も兎角破られ勝ちだ。

零下二十度！卅度！それは「酷寒」と云ふだけでは餘りにもはげしい、恐ろしい寒さだ。

梟勇馬占山を討ち留めた輝く田中大隊の討伐手記にも記憶新な、泥濘膝を沒する覺の沼澤地、それも興安嶺からサツと吹き降ろす木枯とともに、砲彈に斃れた軍馬の亡骸もそのまゝ凍り切つてしまふ十一月の聲を聞くともう北滿は冬の世界に入る。匪賊に惱まされる勇士に又無慚な北滿の自然は兇暴な振ひ始める。陣營の苦心多いエピソード、それは當然に生れ出て來るものであらう。

これらのエピソードを通じて、我々は銃後から、生命線死守の我等の勇士に感謝の暖かい同胞愛を捧げようではないか……

第一話　腦味噌が凍る

山なく樹なく、見渡す限り、はてしなく打續く曠野、聞ゆるは猛獸のうなりに似た、吹きまくる朔風と氷原を踏む愛馬のひづめの音我が騎兵第○中隊はチチハルを遙か北に匪賊を追擊中だつた。

その日は夜明け前から北滿にも珍しい程の寒氣が襲來してゐた。騎馬の先頭に起つ中隊長は幾分か大聲を發しては續く部下を激勵してゐた。實際中隊長自身にも何時の間にか恐ろしい睡魔が蔽ひかぶさつて來るのだ。寒氣から來る睡魔と云ふ。防寒帽を通して喰ひ入る寒さに頭の血の循環が惡くなつて來るのだ手足ならば摩さつも出來よう。頭の中が冷え切る。これには流石豪勇に鳴る中隊長も手の施しやうがなかつた。痛みさへ感ずる頭の中で中隊長は考へた。睡魔に誘はれて凍死する……大事な部下をこんな事で殺してはならない。ともすれば行軍の馬上で睡魔に陥り勝ちの兵に大聲を浴びせかけては士氣を振ひ起させたのだ「あの時ばかりは腦味噌が凍つてゆく——と眞劍に考へた……」と中隊長は述懷してゐた。腦味噌が凍る寒さ！

第二話　一俵の木炭匪賊を走らす

これはさる激戰に參加した重砲大隊がわずか一俵の木炭に救はれた採暖苦心談だ。

出動を命ぜられた當大隊には觀測班用として僅かに一臺の支那馬車が支給されたのみだつた。後から大行李が來るであらう、と云ふ安心から足手まとひの荷物は一切殘して、たゞ一俵の木炭がその支那馬車に積込まれただけであつた十一月下旬の朝だつた。敵匪はいよ〳〵我が射擊線に現れ出た。だが、こゝに測らざる障害が指揮官を極度に狼狽せしめた。双眼鏡も砲隊鏡も、觀度を合さうにも油脂が凍りついて動かないのだ。それに友隊との連絡電話機がハタと不通に陥つてゐる。乾電池も、炭素棒も何んと凍つてゐるではないか！この時指揮官の頭には、出發の時の支那馬車の隅の木炭がチラッとひらめいた。貴重な木炭が間もなく眞赤におこされて、冴え渡る銃砲一下砲口は火をはいて鳴り響いたのは勿論のことだつた。而も數時間續いた本射擊の間に射手の手足を凍傷から護つてくれたのもこの一俵の木炭だつた。

春秋の筆法をもつてすれば「一俵の木炭、遂に匪賊を走らす」であつた。

第三話　O・K地下天國

滿洲の野を明け暮れの住まゐとして育つた支那兵——匪賊は確に耐寒力は我が軍の兵士よりもはるかに上であるのは止むを得まい。彼等は滿足な防寒具もなしで凍え切つた夜氣にたゝかれながらも平氣で一晩中淺い散兵壕に籠つてゐる。廣い北滿の事だ。兵を進めてゆくうちには宿るに一軒の民家さへ影を見せぬ茫漠たる曠野に幾度となく遭遇する。ある小隊もとうとうこんな場所で夜を迎へて終つた野宿！それは餘りにも自然にさからひ過ぎる。暴虎の勇だ。天幕——然しそれは敵襲の的だ。で一策を考へ出したのが土窟生活の昔に還ることだつた。苦心の末漸く三間に三間の大穴が掘り擴げられた眞夜の雨、雪を防ぐために樹皮と高粱で天蓋がさし渡された。而もその上には掘り上げた土が五十サンチの厚さ程積み上げられて、見事にも砲彈よけが築かれた。一ケ小隊の兵士の全部收容O・Kだつた。內では急造のオンドルさへ器用に作られて、思はぬ安らかな暖かい夢がその夜は兵士を包んでくれたのだつた。

第四話　寒さが眼に見えた話し

寒さが眼に見えた話——にこんなのがある。

厚い防寒服の下に脂と汗と、蝨と十數日の野營の轉戰苦を語る兵士達にも今日の野營には暖かい風呂の御馳走が振舞はれると云ふ快報が隊內の空氣をひどく賑かな氣分に湧き立たせてゐた。風呂——と云つてもそれは大甕應用の如何にも北滿の陣らしい甕風呂なのだ。兵士のはしやぎ方そのまゝに甕の下ではパチ〳〵と威勢よく薪が火花を吹きあげて燃え上つてゐた。だのに內の水は一向にわいて來ないそれでゐて底部は手が觸れられない程に熱してゐる。だが甕の緣は……何んと汲み入れる時の水が凍つてそのまゝだ。然しそれもまだいゝ。いざ湯に浸つて見て驚いた甕から湧き上がる湯氣が、三尺も立昇るか昇らぬ內に、暖か味がうせるどころか、もう實に白い霜となつて湯面に陥然となつて浮き出てゐる頭に降りかゝつて來るではないか。霜を浴びつゝ湯を樂しむこの風流は北滿で始めて知る寒い風流であらう。

第五話　爆彈で開けた氷河の井戸

物皆凍る戰陣で一番苦しむのは何と云つても飲食物の始末だ。特に飲料水！これにはホト〳〵苦心する。河と云ふ河は砲車の往來にビクともせぬまでに厚い厚い氷が張りつめる。井戸には手の出しようもない厚氷の蓋が蔽ばれる水のない世界……全くそれは想像を遙かに越えたわびしい世界に相違ない。で止むなく敵陣に投げ込まるべき爆藥が無暫にも張りつめた河面へたゝきつけられる。ボッカリとあいた氷原の口からはるか下に湛へた川水が汲み上げられて始めて乾き切つた兵士の咽喉をうるほすのだ。水筒につめて持つて行つたら……それはたゞ水筒の中で氷を作るまでの話しで、役に立たうわけがない。だが追擊戰には匪賊とは云へ人間である以上水の必要なのに變りがない。矢張り河面を爆破しては給水を行ひ行ひ逃げてゆく。それを追ふ皇軍はこよなき道知るべと而も手を下さずに水を汲む簡便さに惠まれて追擊を急げるのだ「敵に鹽を送つた」と我が軍史にあるが水を惠む武士の情？これは匪賊の戰略らしい……。

第六話　痛ましき鐵路の露

水！と云へば、そう〳〵一滴の水をめぐつてこんなわびしい話しが傳へられてゐる……。

つめて來た水筒の水も飲み果して今第○大隊は窓外にはてしも無く續く荒涼たる北滿の冬景色の中を軍用列車を急がせてゐるのだ。車內では毛皮の防寒服がうるさい程にスチームが通つてゐた。

ガラスに雫がたまる。兵士の眼は窓外の景色よりも無數の雫に釘付けされてゐた。汽車が停つた。各車內から數名の兵が、バラ〳〵と飛降りた。皆水筒をもつて車の下へ入つた。

そこには、絕え〳〵の雨だれの如く、スチームの雫が管のはしから、捧げる兵士の水筒の中にはかない音をたてゝ滴はつてゐるのだ。それでゐて兵士の顏は皆眞面目だつた、K二等兵もその一人だつたわびしい雫の音より耳に入らなかつた彼、發車の汽笛は一滴の雫の前に彼の耳を素通りした。斃るゝならば敵彈の前に……と國の老父の手紙をまつまでもなく固く心に決めてゐた彼が、測らざる鐵路の露と散つた。だが戰友も、隊長も彼を笑へなかつた。いや皆聲をしのんで男泣きに泣かされて終つた

第七話　機關銃の凍傷

水——小便、これは少し連想が惡い、が陣中では小便も武器だ、おろそかには使へない。カチカチに凍りついた凍土に、いざ塹壕と云ふ場合却々どうしてシャベルなんかは齒が立たない、でソレッと例の一齊射擊を浴びせて置いてとけかゝつた土から間髮入れずシャベルをさし込み、エッサラ、エッサラ掘り上げるのだ。

機關銃の油が凍つて、困り果てた奇策の隊長がヤオラ小便をひつかけて成功した笑へぬ陣中談も傳へられてゐる。だが陣中の「兵士心得」に曰く「風速五メートル以上の場合風上に向つて小便すべからず……」それは鋼鐵製ならぬ大事な機關銃が、凍傷を起すからだ。

第八話　陣中の元旦

殺風景な陣中にも流石に元旦の朝は賑かだ。はためく日の丸の下で恒例の新年の野宴が催される。久し振りの酒をかちり合つて、隠し藝も飛出して來る、滿洲事變第一年の陣中「初日の出獻立」はこんな獻榜だつた。

かゞみ餅、高粱雜煮、鮮鮭煮、田作照煮、數の子、菊花なます、尾頭鯛、みかん、かちぐり、國旗糖、日本酒（これは大概がだ）だが、この獻立にありつける部隊は幸福だ。とてもとゞかぬ程の奧地に、元旦の朝もなく戰鬪する兵の多い事が、忘れられない（完）

賀正

極東の理想鄉

大連

新興滿洲國

御料理　湖月
大連市美濃町一
電話八一七番

御料理　淡月
大連市浪速町一七四
電話{四五八〇／四六三六}番

御料理　扇芳亭
大連市美濃町
電話{五七八七／七〇八二}番

御料理　一方亭
大連市老虎灘
電話{七八七八／七五五二}番

大連酒商組合（イロハ順）
白鹿　發賣元　合資會社白鹿商店
白鶴　發賣元　嘉納合名會社大連支店
澤龜　發賣元　宅合名會社大連支店
大關　加茂鶴　發賣元　黑岩大連支店
忠勇　發賣元　增屋
櫻正宗　發賣元　扶桑號高見商店
富久娘　發賣元　富久洋行
都菊　發賣元　合名會社肥塚商店大連支店
菊正宗　發賣元　鐵谷商店
東洋一　發賣元　柴谷洋行出張所
白雪　發賣元　鈴鹿商店

大連飲食店同業組合聯合會
大連市伊勢町四四　電話三八四五番

割烹　金華
大連市連鎖街本町通　電話二二一六六番

割烹　鳴戶
大連市吉野町八七　電話{二一三四〇／二二二〇〇}番

お目出度う存じます
本年も相變らず御愛顧の程偏に願ひ致します
富久家
大連市連鎖街　電話二二一三七番

中部大連カフェー・バー組合員一同（次第不同）
サロン日輪　電話七〇二九、四七三二番
カフェートリオ　電話五九五三番
カフェードン　電話二一九四五番
カフェールナ　電話二三五二番
カフェーワカナ　電話三五四三、六六九七番
バーヨネ　電話二二〇四九番
カフェー養老　電話二二一六六番
カフェータイガー　電話三九〇一番
バータマミ　電話六四九九番
ミス・ダイレン　電話六〇二九番
ラッキーバー　電話二二二七〇番
カフェー赤玉　電話七五九四番
カフェー京極　電話二二三五六番
東ラッキー　電話二二一〇五、二一九四三番
カフェーユニオン　電話二二二五七番
カフェー連鎖會館　電話二二二一五番
カフェー新興　電話二二二一二番
カフェー日光　電話二二一六一番
サロンミチル　電話四四六一番
カフェー小蝶　電話七四九〇番

中央映畫館　大連市西廣場
映樂館　大連市西廣場
日活館　大連市盤城町
寶館　大連市岩代町三七
帝國館　大連市信濃町三三

逢坂町遊廓組合

邦人の國際結婚と二つの條件

長谷川如是閑

一

日本人と西洋人との結婚問題は昨今の話ではない。明治時代の所謂歐化主義の時代に、さうした問題を提起されたこともあつた。日本統計學者の元祖である杉亨二氏が、その問題に就いて、悲觀的な意見を發表されたことがあつた。併しその頃の問題は所謂内地雜居を機として、大量的に雜婚が起ると云ふ心配であつたが、それは殆ど杞憂に過ぎなかつた。

今日の問題は寧ろ個人的な又道徳的なそれで、特別の事情から破綻を來す場合のそれであるが、併し在外日本人等が、永住の場合に止まつて居ると云ふ事も、又一つの問題である。昔のユダヤ人のやうに、經濟的の理由から社會生活を隔離されて、從つて民族的、宗教的に孤立して、異種族との結婚が行はれないと云ふやうになつたら、日本人の世界的發展の上に大いなる障害となる。

二

或る國民が外國人との結婚に困難を感ずると云ふのは、人種の問題ではなく經濟の問題である。體質の相違とか、風俗、性格の相違といふやうなことは、或る點まで調節又考慮されることで、國際結婚の上の根本問題ではない。在米日本人が外人との結婚に於て、最も障害となるものは、日本人の全體としての經濟的水準の違ふことである。それは結婚當事者の經濟の問題もあるが、それよりは在米日本人の全體の經濟的地位である日本人がアメリカに同化するといふのが困難であるといふのも、皮膚の色や、骨格の問題でなく、全體としての日本人社會の生活の標準、組織、態度と云ふやうなものが、個人的でなしにアメリカのそれと一致しない、と云ふことで支那人、朝鮮人なども又其の點から外國社會との調和が困難である。

然らば日本人は、外國人との結婚はなるべく自制することが必要であるか、個人的にはさう云ふ意見を持つて居るものが多いと思はれるが、併し海外に出て外國人の間で生活する人々が、その地に安住して發達しようとする場合に、その國人との結婚を開始すると云ふやうなことは、意味を成さないのみならず有害の態度である。その上に生活の接觸は自ら男女の愛を導き出すものであるから、自然結婚のことが行はれるのが順序であり、正しい道である。

三

併しそれがためには、どうしても日本人の生活が、國際的に一定の水準に達せなければならない。それには二つの條件がある。第一は上層のそれで、日本の産業組織が國際的に資本主義的共同關係を發展させることで、これはブルジョア生活の國際主義である。今一つは日本の勞働状態が、それに應じて世界的の勞働階級の水準に達することである。これはプロレタリアの國際主義である。この二つの方面に於ける國際主義が成立すれば、國際結婚は問題でもなくなる。ブルジョア側の國際結婚は、今日でも最早經濟的には障害が大部分排除されてゐる。從つて圓滿に進行してゐるのが多いやうである。さう云ふ場合には障害は、この自然の國際關係を未濟的の道徳の秩序、習慣、道徳と云ふやうなや因襲で妨げることである。家庭のものが、日本は特に西洋一般と異なつて封建的である。この封建的な習慣や道徳は、家族主義がある程度まで保存されてゐる日本では尚或る力を持つてゐるに相違なく不必要にそれを破ると云ふことも無益のことだが、併し最早若い男女の間にはそれから解放されてゐるものが多い。主として親達と別居する主義が行はれて居るのもその故である。況んや外國人と結婚する點に就て極度に自由主義的でなければならぬ。往々家族主義と衝突して國際結婚が破綻すると云ふことがあるが、これらの多くは男の側に罪がある（それは外國婦人を娶つた場合）日本流の家族制度に從つて順たらしめやうとするならば、初めから國際結婚は避けなければならない。例へば夫の旅行の場合などに、妻が極めて自由な行動をとると云ふやうなことは西洋には有勝ちなことで、さうした態度を問題にすると云ふやうなことは夫が日本流に還元したもので、結婚當初の精神を裏つたとも解せられる。

四

妻の忠實と云ふやうなことも、多くの外國では日本のそれとは全く意味が違ふ奴隷的服從とは理解してゐないのであるから、日本の家庭に入つて直に日本流に振舞ふやうなことは不可能である。

プロレタリアの國際結婚は、その點に於て故障の少ない筈だが、これは旺んに行はれてゐるかどうか、統計的に詳らかでないが、ブルジョアのそれほど比率が高くないと思はれる。それは西洋人が東洋人と結婚する場合は、經濟並びに身分と云ふやうなもの、高いことをもつて、人種の低いこと、相殺するやうな、無意識の計算をなするものが多いからでもある。日本に來る外國夫人の多くは、日本人の經濟的水準を知らないので、留學生などが比較的豐な生活を西洋で行つてゐるのを見て、日本の生活を推定するので、日本の家庭に入つて見ると始めて現實を知つて失望する。その結果、その不足を何かで補はうとして破綻の原因を作るのである。プロレタリア側に國際結婚の少ないのは、初めからさうした計算が成立たないからであらう。これは計算と云つても無論意識的になする譯ではない。生活の標準を考慮する譯であるから、西洋人としても決して非難すべき態度ではない。從つてそこに不足がある時に破綻の原因を作るやうになつても、強ち非難は出來ない。

五

結婚は多くは理性的判斷を無視した情操から起るので、同國人間のやうにさうした社會的の生活や經濟の問題が、互に理解されてゐるところでは、そんなことは考へないでもよささうだが、それでも生活の標準の問題は結婚する人々の忘れてならないものである「急いで結婚し、靜かに後悔する」と云ふ言葉があるが、それは強ち氣風や、性格ばかりの問題ではない。國際結婚の場合は、特に社會的、經濟的事情を念頭におく必要がある。

六

併し我々は出來るだけ國際結婚が行はれ、男女がお互に勵まし合つて、その社會的、經濟的困難を克服し、圓滿な關係を發展さして行くことを希はねばならぬ。それは日本人同志の間でも、生活の標準の違ふものはどし／＼結婚して上層、下層の經濟の相違、風俗習慣の差別などを克服し、圓滿な結婚生活を遂げることの望ましいのと同じである。

七

優生學上雜婚の利害は色々に説かれてゐるが、我々は純粹種の保存のために雜婚を抑制するなどといふ、出來ない相談を問題としない。事實上、人間は盛んに雜種を作つて行くもので、生物學上どうあらうとも、世界は人種の混合をもつて發展して來たのである。益々盛んに國際結婚の行はれるところにだけ進歩がある（完）

景運方啓
獻歲發春
王道立國
其命維新
滿洲建國第二年
謝介石

滿洲日報元旦特刊

醒時之鐘

省長臧式毅

革故鼎新

滿洲國司法總長馮涵清

酉年生れの名士

◇…今年はとり年だ、酉は鳥に通じ飛躍的な景氣のいゝ年だ、この景氣のいゝとり年生れの人は若いところで大正十年生れの十三歳明治時代にいつて四十二年生れの二十五歳、三十年生れの三十七歳十八年生れの四十九歳、六年生れの六十一歳、お年寄りでは文久元年の七十三歳、嘉永二年生れの八十五歳といつたところだ

◇…さて、このあたり年の名士を各方面から拾つてみるとまづ眼につくのは大正昭和政變の大立物西園寺公望公がある、公は嘉永二年生れだから今年八十五歳の老齡だ、公は國家の元老ではあるが、一世に傑出した英雄でもなくまた偉人でもない、たゞ尊敬すべき人格者である、誰かゞ公を評して「徹人」だと云つてゐるが、まつたく穿ち得た妙評である「徹人」は哲人に通ずる如く公はあらゆる方面に透徹した批評眼を持つてゐるまたあらゆる方面に趣味をもつてゐる人物だ

◇…その趣味を見ても公が偉大なる政治家であることがうなづける、公の生涯で最高潮だつたのは明治の晩年から大正の初頭にかけた政友會總裁時代であつたらう、當時公が長州軍閥の寵兒、非政黨主義の嫡流桂太郎と堂々旗鼓の間に見えて華々しい一戰を交へたことは今なほ政界における有名な話柄だ

◇…公の政治家としての功勞は第一次桂内閣の後をうけて總理大臣となり、社會主義對策を高揚し前内閣の閥引政治を排撃して「日本社會黨」の結成を認め、彼等をして實際政治の運轉に參加せしめたことであらう

◇…近くは齋藤内閣出現に際し當時の國際政局と社會状勢を察知し、よく元老としての責任を負うした功績はあまりにも生々しい事實だ、公は老來益々かくしやく日本の立場愈々多難なる折柄公の自愛を切望して熄まない

◇…文久元年の七十三歳に内大臣牧野伸顯伯がある、伯はかの大久保甲東の二男に生れた名家の出だ、第一次西園寺内閣に文相、第二次桂内閣に農相、第一次山本内閣に外相として三度廟議に列したしかし伯の大臣としての手腕は文相たりし時代、東北、九州帝國大を創設した以外何ものもない、大正六年波多野子の後をうけて宮相となりその後内大臣の重責についた、内外の時局多難なる折柄公とゝもに伯の壯健を祈る

◇…明治六年生れの六十一歳のとり年は多士濟々だ、まづ筆水と號して俳句をよくする商工大臣中島久萬吉男がある、實業界にその人ありと知られる富士ガス、横濱生糸、横濱正金の各重役森村市左衛門男もこの年だ

◇…この外華族界には宮内省の本多正復子、海軍少將で貴族院議員の花房太郎子、同じく貴族院議員伊井直方子、同じく貴族院議員の渡邊七郎、與松友光、三室戸敬光の各子、伊藤安吉、小畑大太郎前島彌、伊藤文吉の各男がある

◇…代議士中にもまた相當の人とり年生れがあり、かのゴマ塩頭に四角な顏、剛腹で有名な鈴木寅彦もとり年だ

◇…堺利彦があんな偏屈な男は珍しいといつたほど、どこかに不遜のところがあるが、政治家としての將來は例のガス疑獄に累されてはゐるものゝ大いに伸びる素質を持つてゐる

◇…この外政友會所屬代議士中には佐賀の石川又八、農村問題の研究家の新潟の加藤知正、當選五回の古強者兒玉右二、美術家の北海道の佐々木平次郎、長崎の森肇志波安一郎などがある

◇…民政黨所屬代議士には例の長髯にいろ／＼なエピソードをもつてゐる元農林次官で栃木の高田耘平があるまたかつて文部次官たりし富山の野村嘉六も六十一のとり年だ

◇…一廻り若い明治十八年生れの四十九歳もまた恰好な年だけに各方面に知名な人物が多い、まづ非常時日本を背負つて立つ軍部を眺めると用兵作戰の本陣參謀本部第三部長小畑敏四郎少將が眼につく、同少將は眞崎參謀次長系の人物として永田鐵山少將と並稱される俊英、未來の大臣として囑目される

◇…またさきに滿洲建國に活躍して國際關問となり再び奉天特務機關長に返り咲いた板垣征四郎少將もとり年だ、この外參謀本部勤務の俊髦前田利爲少將があり、海軍には前侍從武官で現馬公要港部司令官の山内豐中少將、軍令部參謀で明治神宮々司有馬良橘大將の長子有馬寬少將がある

◇…「いゝ政治家となるには賣れつ子の藝妓を見習ふがいゝ」と喝破した研究會の領袖小笠原長幹伯もとり年、この外代議士中には滋賀の服部岩吉、兵庫の濱野徹太郎、山口の西村茂生、愛知の小笠原三九郎、島根の沖島鎌三、沖縄の竹下文隆、靜岡の永田善三郎、大分の野依秀一、現に遞信政務次官たる岐阜の牧野良三、與僥學の政治顧問たりし岡山の小谷節夫、衆議院切つての柔道の大家七段福岡の宮川一貫、日本農民組合の育ての親で社會大衆黨の一の代議士大阪の杉山元治郎、靜岡の岸衞、大阪の青田勝晴などがある

◇…明治三十年生れの三十七歳には、畏多くも博恭王殿下の第一子におわす伏見宮博義王殿下が居らせられ、また朝鮮王族の昌德宮李王垠殿下もまた同年の御生れのとり年であらせられる

◇…衆議院切つての大男で二人前の座席を必要とする東京選出の坂本一角も同年生れだ、同明治四十二年生れの二十五歳には、畏くも恒久王殿下の第一子におわす竹田宮恒徳王殿下が居らせられる、とり年生れの人々に榮光あれ

賀正

哈爾濱・旅順

哈爾濱

哈爾濱事務所 所長 宇佐美寬爾 / 庶務課長 押川一郎 / 運輸課長 高畑誠一

石炭商組合

哈爾濱電政管理局長 兼吉黑郵政管理局長 岐部與平

北滿電氣株式會社 專務取締役 高橋貫一

國際運輸株式會社 剛崎虎雄

哈爾濱醫師會

飲食店組合

吉村洋行

哈爾濱日本商工會議所 會頭 加藤明

宗像金吾

朝鮮銀行哈爾濱支店 箱崎文爾

正隆銀行哈爾濱支店 森惣兵衛

哈爾濱日本居留民會 理事 山口順平

哈爾濱輸入組合 理事 横田提壽

勝家正勝

哈爾濱土地建物株式會社

滿洲文化協會 哈爾濱俱樂部

松浦洋行

前田時計店 前田利男

熊澤洋行

ジャパンツーリスト ビューロー

萩原紙店

大塚日進堂藥房

原田藥店

中島化粧品雜貨店

村田呉服店

大島電氣

ハルビン埠頭區 井上商務旅館

ハルビン埠頭區 ハルビンホテル

ハルビン埠頭區 花屋ホテル

ハルビン埠頭區 北滿ホテル

ハルビン埠頭區 北興ホテル

ハルビン埠頭區 東洋ホテル

ハルビン埠頭區 鶴屋旅館

ハルビン埠頭區 名古屋ホテル

ハルビン埠頭區 ナショナルホテル

ハルビン埠頭區 大和旅館

ハルビン埠頭區 滿洲ホテル

ハルビン埠頭區 二葉旅館

ハルビン埠頭區 紅葉旅館

ハルビン埠頭區 朝日旅館

ハルビン新市街 佐賀ホテル

ハルビンモストワヤ街 トモエ洋服店

旅順

旅順市敦賀町 支那料理 德興樓 電話四三七番

淨宴會、御歡送會は是非…… つぼみ 電話二八一番

旅順市敦賀町 電話三〇五番 和洋御料理 仕出 食道樂きむら

旅順市乃木町 電話六一三番 きむら肉類部

旅順市敦賀町 スパローカフエー 電話三〇九番

旅順市乃木町 カフエー ミス・ヨシノ 電話四七八番

旅順市乃木町 カフエー ミハラシ 電話三六四番

旅順市乃木町（滿電前） 旅順タクシー 電話五六〇番

旅順市敦賀町（婦人病院前） 滿洲タクシー 電話二六二番

旅順飲食店組合（いろは順）
伊勢屋　富の家　ごもゑ　千代乃家　千歳クラブ　料理部　大阪屋　大迫屋　太樂　つぼみ　奴壽し　松屋　文化亭　きむら　有美堂　新更科　スヾラン

旅順料理屋組合（いろは順）
一力　蛤亭　濱屋館　東洋軒　吉田屋　旅島屋　松葉　滿月樓　京城樓　榮福樓　吾妻樓　堺樓　遊樂　新世界　新萬歳　笑福樓　春海館　昭和樓

旅順五花會（いろは順）
彌生　青葉　君の家　新花月　瓢亭

青葉町街燈維持會（いろは順）
池田洋行　御菓子 泉屋　原田時計店　早瀬商店　新見時計店　岡女庵　大阪屋號書店　吉野洋品店　谷疊店　高治洋行　釘島商店　山口商店　やまこ軒　山本商店　中野日界堂　松崎紙店　文英堂書店　コンパル食堂　瑞章堂印房　喫茶店 スヾラン

敦賀町共榮會
井上玩具店　カフエー松金　玉屋モスリン店　熊井洋行　安永商店　ヤマ一履物店　小森運動具店　食道樂きむら　三笠堂　昭和クラブ　久富商店

（イロハ順）
乃木町 御履物 栗田商店 電話三四一番
敦賀町 御履物 ヤマ一號 電話五〇二番
乃木町 みやこ履物店 電話六五九番
乃木町 村瀬履物店

滿蒙は招く　賀正　旅順　無限の宝庫

關東廳高等官食堂

關東廳財務局長 西山左內

旅順民政署長 米內山震作 外署員一同

旅順警察署長 關東廳警視 青木昇

關東廳旅順療病院 院長 大津尚

關東廳旅順醫院長 醫學博士 渡邊信吉

關東州海軍駐在武官 佐世保鎭守府附參謀 海軍大佐 久保田久晴

旅順衛戍病院長 陸軍一等軍醫正 矢澤弘水

旅順高等公學校長 横佩章吉
旅順第一中學校長 今井順吉
旅順高等女學校長 平田芳亮

旅順市會議員一同

旅順市鯖江町五一 米岡法律事務所 米岡規雄 電話二六〇番

旅順市役所 助役 蔭山榮太郎

旅順郵便局長 尾立米喜
新旅順郵便局長 片桐壽八

千藏俱樂部

旅順工科大學談話會

關東廳內 關東州水產會 電話四七番
旅順市嚴島町 關東州水產會旅順魚市場 電話六二九番・六五番

日本赤十字社 滿洲委員本部

旅順刑務所長 典獄 永田正之助

（いろは順）
鮫島町 稲富藥店 電話五八七番
乃木町 田中藥舖 電話三三六番
青葉町 萬代號藥房 電話四二八番
青葉町 宮竹藥店 電話一七〇番

小野田セメント一手販賣店 鋼材、金物、電氣、礦油 村上信二商店 旅順市乃木町電話一二〇番

旅順市乃木町二丁目 陸海軍御用達 大西商會 大西重次郎電話二五三番
朝日町市場內 食料雜貨 大西商會食料部 電話六三一番

朝鮮銀行旅順支店
正隆銀行旅順支店
旅順無盡會社
旅順輸入組合
キンユウクミアイ
旅順金融俱樂部

大日本優等清酒 銘酒 神代 清酒 鶴齢 熱酎並味淋 備後屋 神田商店 旅順市乃木町 電話三二三番

旅順市新市街旭川町 鎌倉保育園旅順支部 電話五五四番
大連市老虎灘 鎌倉保育園 電話六九九三番 旅順支部 大連分園

旅順市乃木町三 海陸運送 大六運送店 電話四六七番

旅順市鯖江町 旅順競馬俱樂部 電話一九三番

旅順市乃木町三丁目 醬油味噌釀造 吉村商會 吉村勝一 電話一三二番

旅順市末廣町 旅順活版所 小島龜太郎電話一五六番

旅順市乃木町 新鮮第一 渡邊果物店 電話四三二番

旅順市嚴島町 水產業 木野村間太郎 電話四九五番

旅順市青葉町 電氣器具 參宮ラジオ商會 河合朝雄電話四一八番

旅順市鯖江町 代書 福永新七事務所 電話三九〇番

旅順市乃木町 中山洋服店 電話三二九番

旅順市敦賀町 島村洋服店 電話一七九番

旅順驛前 鷄卵 りんご 月見農園賣店 電話六二〇番・振替大連二七四一番

旅順市明治町 銘酒醬油 醸造販賣 北川酒店 北川鶴之助電話四四七番

旅順新市街中村町 內外圖書 諸雜誌 文房具 多以良商會出張所 野中義雄電話六六九番

旅順市敦賀町 新古和洋 海渡衣服店 電話五四四番

旅順市鯖江町（警察署隣） 代書 吉安克道事務所 電話四〇四番

旅順市八島町二 艀船運送 造船 望月春吉 電話六三四番

旅順市末廣町三五 和洋家具 裝飾製造 村田家具店 電話二六番

旅順市新市街松村町 御菓子 花園 電話五八三番

旅順市乃木町三 宮地疊店 電話一九四番

旅順市鮫島町一 寫眞出版 印刷出版 玉井寫眞工藝所 玉井榮水電話三九九番

旅順市敦賀町 日本煙草 官煙販賣 佐藤組 甲斐和太郎電話三一五番

旅順市乃木町 本田組 本田與市電話四一一番

御旅館 寶來館 乃木町電話五六番
御旅館 防長館 青葉町電話二八三番
御旅館 旅順ホテル 青葉町電話三六七番

旅順質屋組合

旅順市富士町 滿洲蠶絲株式會社 電話五六七番

旅順市乃木町三丁目 本田商會 本田治三郎 電話四二七番・振替大連一五四九番

旅順市忠海町 土木建築 請負業 磯谷拾吉 電話六〇六番

書畫骨董、貴金屬 寶石、毛皮、家具類 後藤勇太郎 末廣町一二電話四三九番

各種銘茶 茶器類一式 丸山茶舖 乃木町二丁目電話一六八番

諸官衙御用 山田活版所 山田李次 乃木町電話五四番

土木建築請負業 久野順吉 鮫島町一ノ七電話一五三番

土木建築 請負業 築島組 築島米藏 旅順市乃木町二丁目電話三九七番

旅順市乃木町三丁目 製靴 トロンコ 澤豊太郎商店 電話五二〇番

◉マルミヤ舞樂部創立 樂器 蓄音器 和洋雜貨 マルミヤ商店 ◉旅順五景滿洲商品元 旅順市乃木町三丁目電話六六六番

和洋雜貨 藤井洋品店 新市街松村町電話五七番

迅速叮嚀 齋藤寫眞館 中村町八番地電話六六三番

諸官衙御用達 久野商店 久野儀一 敦賀町電話一四九番

銘酒 菊正宗 櫻正宗 金水商會 乃木町電話一〇六番

旅順新市街松村町二ノ三 オカノ歯科醫院 院長 岡野忠藏 電話五一三番

旅順新市街鎭遠町 成田醫院 成田彦次郎 電話一〇九番

滿洲記念品 支那土產品商 東京堂 本店 旅順市乃木町三丁目 電話六一番 振替口座大連一六六七番 支店 大連市 電話二二九五番 振替大連四〇五番

旅順市八島町 竹森病院 院長 竹森哲三郎 電話一四二番

土木建築 請負業 石井組 石井本一 旅順市名古屋町一九電話一一三番

滿鐵撫順石炭特約店 本溪湖煤礦公司代理店 千代田生命保險株式會社代理店 朝鮮火災海上保險株式會社代理店 日本麥酒礦泉株式會社特約店 海軍軍需品御用達 一般食料品 倉庫業 矢幡商會 旅順市八島町（電三一一番） 旅順倉庫經營 倉庫所在地 朝日町一丁目 石炭出張所 滿鐵旅順炭場構內 電話三〇六番

石炭商 滿昌洋行 旅順八島町電話一四七番 貯炭場電話一六六番

旅順市嚴島町 製鹽業 矢原商會 矢原重吉 電話八一・四四六番

建築請負 左官材料販賣 大谷守 旅順市名古屋町八番地電話七五二番

旅順市大津町一ノ八 宮澤疊店 宮澤猛雄 電話四九二番

旅順市乃木町 麻雀 玉突 園碁 寶來俱樂部 電話六四番

旅順市乃木町 自動車部分品 販賣及修理 德永商店 電話四七五番

旅順市新市街（鎭遠町） 小梨歯科醫院 電話六五一番

旅順市金比羅町 トラスト製造元 タイハンストーブ販賣 石井榮一 電話三七番

旅順市大津町 土木建築 請負 木下豊一 電話二二五番

旅順市乃木町 ガクブチ アルバム 文房具 マルゼン商店 電話六〇九番

旅順市敦賀町 塚澤歯科醫院 電話三四二番

旅順市乃木町 自轉車 附屬品其他 田村商會支店 電話五一〇番

旅順市鯖江町五十番地 酒 王 富久娘 入江商會 電話一九〇番

宏記 吳服 精米工場 電話三一八番 六六一番

旅順市八島町 井上釣具店 電話六〇四番

旅順市乃木町 蓄音器 櫻井時計店 電話一九五番

明治製菓株式會社 京阪菓子株式會社 新高製菓商會 特約店 卸問屋 山岸洋行 旅順市乃木町三丁目 電話四五四番

旅順市乃木町三ノ二〇 齋藤洋服店 電話六五六番

旅順市乃木町 和洋諸雜貨 小間物毛糸類 友田商店 電話四一六番

旅順市乃木町 陸海軍御用達 精肉 金太屋 電話二七五番

滿電驛前タクシー 電話五二三番

ヒグチスタヂオ 大連連鎖街常盤町電話二二三〇番 寫眞機械 材料販賣 樋口寫眞館 旅順市青葉町四二 電話四一七番

陸海軍各官衙御用達、船具、金物 機械、綿糸布、タオル其他諸納入品一式 センターストーブ 特約販賣店 岳南公司 旅順市乃木町三ノ六六 電話三八二番

諸官衙御用達食料品雜貨 齋藤商店 電話一七六番

旅順市乃木町二丁目 土木建築 請負 和田武吉 電話五八八番

和洋雜貨 ふたば屋 旅順市乃木町 電話六一一番

土木建築請負業 森谷吉五郎 旅順市乃木町三ノ二八 電話四八三番

裝飾煉瓦及煉瓦土管製造 小林治作 金比羅町八 電話五二五番

疊製造 輿石商店 輿石久作 大津町一六 電話三六〇番

土木建築請負 山村組 大津町 電話五八九番

歐米諸雜貨、內地各新聞取次 外山洋行 旅順市青葉町 電話二四一番

土木建築請負業 川谷竹次郎 伊知地町三 電話四七三番

食料雜貨 山口屋 山口清輔 市場內 電話五四一番

深川歯科醫院 青葉町 電話四七六番

近江屋吳服店 乃木町三丁目 電話七九番

旅順市朝日町 柏木鐵工所 柏木正三郎 電話一八三番

旅順市乃木町（郵便局前） 電氣器具販賣 修理釣具 金澤屋 涌波初三郎 電話五〇八番

旅順菓子信用組合

材木、建築材料 西野商行 旅順市乃木町 電話六八番

土木建築請負業 前西熊市 大津町四一 電話三四三番

井町商店 朝日町魚市場 電話三三番

旅順市西町三九 山下鐵工所 山下好太郎 電話五〇九番

寫眞器機、材料藥品、寫眞撮影 南滿公司 旅順寫眞館 乃木町三丁目交番隣 電話四七二番 振替大連一八二九番

表具商 原榮年堂 旅順市敦賀町 電話五三三番

旅順櫻泉社 サクラ印サイダー、シトロン製造所 那須梅吉 電話二一八番

乃木町三丁目 ゑびす居吳服店 電話一三〇番

圓橋商會 西田泰助 乃木町二ノ一九 電話一四〇番

旅順市新市街松村町二二 成松寫眞館 電話二五九番

土木建築請負業 清住泰一 鯖江町一一 電話五三四番

土木建築材料 廣垣治助 忠海町 電話三〇七番

賀正

大連

大連火曜會々員

（イロハ順）

市川健吉
入江正太郎
藤本實
林博太郎
八田嘉明
原田光次郎
長谷川吉次
濱田周洞
羽田公司
西一雄
十河信二
小川順之助
小倉鐸二
岡本誠
奥田千之
和田敬三
永井四郎
神成季吉
貝瀬謹吾
河本大作
高柳保太郎
高見三吉
谷川善次郎
高田友吉
田所耕耘
田村羊三
武部治右衛門
竹中政一
土屋信民
築島信司

根橋禎二
中澤正治
中村謙介
村田懿麿
村井啓太郎
村井啓次郎
村上義一
瓜谷長造
日下辰太
山西恒郎
山崎元幹
山口・啓三
增田義男
古澤丈作
福本順三郎
小林和介
藤田臣直
藤根壽吉
古田廉三郎
伍堂卓雄
寺田虎次郎
阿部重兵衛
楊井勇三
相生由太郎
佐藤應次郎
佐藤至誠
佐藤俊久
櫻井學
斯波忠三郎
杉野耕三郎

奉天省警備司令官 上將 于芷山

關東廳遞信局 高等官一同

大連市内中等學校長一同

旅順要塞司令官 陸軍中將 安藤紀三郎

榊谷仙次郎

大連市乃木町 入江琴次 電話六八八六番

井上輝夫

[illegible]

[illegible]

林田寛道

石井[illegible]三郎

田中知平

織田正吉

日本生命保險株式會社 大連市大山通五八 段塚保居

土田寛一 大連市大廣場三十四番地 土田寫眞館 電話（四〇三三）（四二四六）番

[illegible]

岡常次郎

堀尾成章

守中清

日滿通信社長 津上善七

高岡又一郎

松内龜太郎

宅昌一

向陽社主 首藤俊雄 大連市春日町 電話七二六九番

坂本泰通

長谷川甚雄

臼井侃治

大連市役所課長一同

大連醫院分院 同壽醫院一同

橋本戊子郎 滿鐵經理課

三澤重義

前川郁夫

大馬春三

荒川泰 大連市大山通四二

日下卓四郎 大連市三河町二 電話三三六七番

本谷藤七支店 大連市浪速町三丁目 電話七〇四一番

大連市會議員（イロハ順）
一宮章
西田猪之輔
千種峰藏
直塚芳夫
山口十助
松浦開地良
古泉光男
志村德造
菅原恒男

日本賣藥株式會社 大連支店 大連市浪速町一四七 電話六一三九番

建築材料 藤川商店 大連市入船町二 電話四六三九番

畑中商店 大連市吉野町四十一番地 電話七六三 二二九 七一四 七九五番

露西亞毛皮貿易商會 大連市大山通り三十六番地（林洋行隣） 電話二一八一八番

直輸入貿易 滿德洋行 大連市信濃町六一 電話二一九一九番

合資會社 大連洋行 大連市連鎖街廣小路 電話二二五三 六〇二三番

鮮魚、蒲鉾 羽月商店 本店 大連市西通電話四五四三番 賣場 信濃町市場電話七二九六番

榮商會蓄音器店 大連市伊勢町五二 電話八三九〇 大連市連鎖街心齋橋通電二二〇七

大連市會議員一同（次第不同）
志村德造
西田猪之輔
松浦開地良
森川莊吉
菅原恒男
一宮章
直塚芳夫
五十崎正大
千種峰藏
恩田明
石川良三郎
大内成美
三田芳之助
立石保福
龜澤福禎
相川米太郎
有馬邊
古泉光男
芦刈末喜
高塚源一
山口十助
高橋猪兎喜
今村貫一
矢野靜哉
熊谷直治
上原進
小野實雄
田中宇一郎
若月太郎
桑野彌一郎
蔦井新助
笠原博
張本政
麗睦堂
邵愼亭
劉仙洲
許億年
黃信之
周子揚
市會書記 野口一二

CURIOUS Shop

國難日本刀（10）

高桑義生作　京極佳夕畫

仇敵邂逅（三）

血なまぐさい殺人沙汰は、江戸と京都のはやり物だつた。文吉が鬼龍と呼ばれた藤州の田中親兵衛に斬られて、三條河原にさらし首になつたのは、去年の秋の事。だが、その首がにせ首であつたとは――とまれ、かうして眼の前に、執拗な眼を光らし、辛辣な言葉を吐いてゐる男、間違ひもない文吉なのだ。

彼は薄い唇に、異樣な笑ひを見せて、お千の方に寄つて來た。お千は、警戒して一足引いた。

「お千さん……」

「何だといふのさ。用があるならさツさとお言ひな」

「何も、そんなに木で鼻くゝるやうにいはなくてもよからうぢやねえか」

「おほゝゝ、お前は御用聞、あたしや女白浪――と、まあいはれてゐる。犬と猿より仲が惡いのは、あたしやいつまでもお前のやうな者を相手に、しやべつてゐるのは御免だよ。ぼつ〳〵出かけるから、御用といふなら、今のうちだよ」

お千は懷中に秘めた短銃を握つた。そして身がまへながら、踵をめぐらさうとする。

「おツと待つた。お千さん、おらあ本氣で用がある」

「だから……」

「お前には、わかられえのか」

文吉は彼らしくもないため息をついた。

お千は涼しい顏で

「そりやあ幕府の犬の氣持なんか……」

何處までも挑戰的である。

「なんだと？」

「お前とあたしとは、先の世からの仇同士、生涯憎み合つてゐるのが本當なんだよ。だのに、なまじ人間らしい量見なんか出さうとするから、親方の腕も鈍るといふものさ」

「ちえツ、それぢやあどうでも……」

「知れた事さ。お千にまさもな口がきたいなら、生れ變つて來るがいゝ。あたしやこの世の中で、お前くらゐ嫌ひなものはありやあしないよ」

「…………」

文吉は熱鐵を飲むやうな思ひがした。

「天地がさかさまになつたところで……お氣の毒さまだれえ」

お千は凄艶な笑ひを見せて、十手の際獄をさげた。

若葉が、闇に生々しく薫つてゐる。

あたり前だよ」

「そりやあさうだが、お前もおれもおなじ人間だ。人情がれえわけでもあるめえ。これでも、おいらはずゐぶんお前に親切をつくしたつもりだぜ」

「おや、お前の口から、人情なんて言葉を聞くのは、泥棒に三分の理よりも、もつと不思議に聞えるよ。それに、何だか知らないが、ありがたくもない親切呼ばはり、あたしにはわからないよ」

「これまでお前を放つて置いた――文吉の情とは思はれえのか」

「御冗談でせう。臍茶ものだよ。遠慮なしにやつておくれよ」

「やつぱり女だな」

文吉は寂しげにいつた。

「まあ、さう思ふのは仕方がねえとして……お千さん、いくら口で贅澤つても、お前は女だ。いつまで文吉に縄をつけると思つてゐるのか。おいらが本氣でかゝつたら、疾うにお前はお手當ものだ。それを斯うして無事でゐるのは……」

「おいとくれ。聞きたくもない」

お千は、相手のしれくれとくどい言葉に、腹が立つて來た。

「親方、ちやうどお前と二人きり、誰も邪魔する者はないのだから、その衣裳で……」

初夜に「鳴く雉」

檢閲を通過

正月の新人雛壇を一齊に賑はしてゐる……

を取扱つた各社唯一の際物映畫となつた久保文憲監督松浪繁及川靜江主演の寶塚キネマ作品であり而も內地では檢閲保留になつて更に好奇心を煽つてゐる（五日から映樂館）

タ　ー　ザ　ン
メトロ超特作品
日活館封切

名篇「トレイダホーン」を製作したヴアンダイク監督が再び放つた物凄いクリーンヒツトだ、各階級を通じて大衆ファンを樂します娛樂映畫として恐ろしい程の吸引力を持つた映畫である。

……◇……

その獵奇的なストオリに寸分の隙もないコンチユニテイを以てヴアンダイクは手馴れた手法を縱橫無盡に使驅して素晴らしいスリルの連續でファンをノックアウトしてゐる。

……◇……

例へばライオンとターザンの組打ち、鰐との息詰るやうな競泳、象群の來襲等々ジヤングル映畫の威力である、凡ゆる猛獸を活躍せしめ、そして美しい實寫とセツトとトリツクの巧な融合を以てたゞ驚嘆の聲を發せしめる手腕は敬服の外はない。而もエロ味を充分に盛つてゐる點は更に申分のない狙ひ處である。

……◇……

それにこのトリツクの勝利ともいふべきジヤングル映畫に世界水泳界の巨人ワイズミユラーが主演して猿の如く俊敏にジヤングルに活躍してゐるのが全篇に鮮やかな生彩を加へてゐることが特筆される。

……◇……

この一篇トリツクと實寫とヴアンダイクとワイズミユラーが融然協力して獲得した娛樂映畫の傑作品として躊躇するところなく凡ゆるフアンに推薦し得る映畫である

酒井雲二日目讀物

元旦初日で大連劇場に開演した文藝浪曲酒井雲一行は大入滿員の盛況を呈してゐるが二日目讀み物左の如し

名馬の嘶れ莨葉▲桑の平内雲丸▲不動萬吉雲一▲吃又鯉昇▲乃木將軍金時▲水戸黃門菊水▲人間光秀、戰線に笑ふ酒井雲

森靜子、沙河口へ

目下映樂館に出演、舞臺挨拶と舞踊でファンに御目見得中の新興キネマ女優森靜子は本日から晝夜二回沙河口大日活にも出演し西崗大連ファンに御目見得する、なほ二日及び四日の兩夜九時頃から檢番ホールの歡迎舞踏會に出席する

うわさ話

あけましておめでたう、と年始廻りの客が殺到して元旦興行は夜間に入つて俄然各館とも大入滿員▲而も實館を除いて各館申し合せたやうに木戸が同じで一九三三年は幸先よしと大喜び、景氣は興行界から▲映樂館は森靜子の來演が人氣を呼び夜間のイレコミにお客が一時に押しよせ入口のガラスを破られる騷ぎ▲日活館は初詣でを狙つて大連神社の社頭で宣傳のおみくじを配布したところお賽錢をおく人があるので堀田宣傳部長、これには弱りましたと初放送。

本社特選　新棋戰（其六）

先四段△中村熊治
平手　四段▲建部和歌夫

【圖は一三香迄の局面】中村氏持駒香歩四ツ

▲八四飛　△五六角●
▲二五銀　△二八飛
▲五五銀　△五三步
▲同　金　△五四步
▲同●飛　△六五角

【土居八段講評】中村君は形に於て五六角と引くべきが至當なるも、斯う指しては敵に次第にその角を驅迫されつゝ攻められる懼れあれば、目下駒德を賴みに九六角と退く方が好い、建部君は敵の五四步打に對し若し同金と指しては八六香と打たるゝ懼れあるを以て本譜の同飛は已むを得ない策であらう。

【萩原六段解說】建部氏の八四飛は敵に五六角と引かしてこの角を攻擊目標として五五銀の進出を含むものである、續いて五五銀は豫定の行動で敵角を攻めつゝ八四飛の中段飛車の活用を十分にする意味である、中村氏の五三步は敵の陣形を亂す意味であるが、二三成香では敵に五六銀と取られ三二成香、同玉、五七步、六八金、二七步と打たれて面白くないから五三步と打つたのである、建部氏の五四同飛は同金では八六香と打たれ八五步、同香、同飛、七四角、と出られて惡いので同飛と取つたのである。

大連　JQAK

一月三日午後一時

▲謡曲喜多流藤子「西王母」謡白井靖敏、笛菅原金藏、小鼓菅原蒼枝、大鼓板橋素好、太鼓白井光子

▲筑前琵琶勅題「朝海」法曉山橋手旭曜

▲義太夫「吉例曾我對面」淨瑠璃竹本佐太夫、三味線同旭勝、囃子杵屋連中

▲午後六時二十分ニユース（以下內地中繼六時三十分）

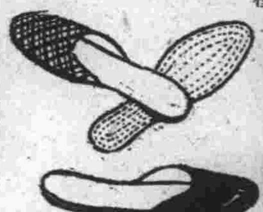
▲浪花節

▲人形淨瑠璃（七時）「假名手本忠臣藏一刀茶屋の段」（大阪文樂座より）春日亭清吉、由良之助竹本津太夫、力彌同さの太夫、重太郎同文字太夫、喜多八豐竹和泉太夫、彌五郎竹本相生太夫、仲居豐竹綾太夫、おかる竹本土佐太夫、仲居同濱花太夫、同同播路太夫、亭主同長尾太夫、九太夫同鐵太夫、伴內同大隅太夫、平右衞門豐竹古靱太夫三味線野澤吉兵衞、同鶴澤鋼造

（以下大連放送局より八時三十一分）

▲氣象通報

大連市三河町二番地
日下齒科醫院
電話三三六七番



移轉記念景品附大賣出し　抽籤番號發表

特等一本	二五三
一等一本	一四九
二等二本	五二、〇八一
三等三本	三四五、七五、一四八、五
四等四本	五二三、一、二五二、四二〇、四六

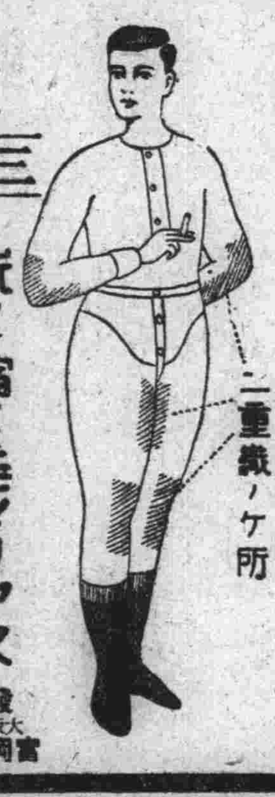
大連市彌生町（女學校隣）
友輪舍
電話（六七五九七二八〇番）

各種　スリツパ　靴中敷　防寒用　貿易用
製造卸
名古屋市西區伊倉町一　ナゴヤ草履製造發賣元
信華商會
電話本四二五九番

RYOTO HOTEL

二・三日（午後三時より）新年舞踏會
四・五日（午後三時より）新年假裝舞踏會
各日共御食事付會費二圓お年玉も差上げます
遼東ホテル

最高滋養糖
コメツト
養糖
●乳兒と病者への至寶●
●消化不要、滋養滿点●
●牛乳と養糖の混用は●
●天下最上の榮養法●
大阪今橋　東京本町三
株式會社黑田藥品商會



專賣特許
洗ツテ縮マヌバースモメリヤス
三大特長
1 洗ツテ縮マヌ毛メリヤス
2 傷ム個所ハ二重織
3 色ハ特別堅イ染
二重織ノケ所
發賣元　大阪市東區安土町　富岡要藏商店
大連代賣店
大連市浪速町　野崎洋品店
同　東　遼東百貨店洋品部
同　伊勢町　大連百貨店十番洋品部
土井商店
其他滿洲各地洋品店にあり

鳳凰城

稻本農場 名物蜂蜜羊羹	稻本德松
驛長	原口吉次
	太田瑞穗
杭木組合長	大道益夫
保線區	岡口德松
南大街川口醫院	川口伸治
郵便局長	柾一男
福岡洋行	福岡丈助
南滿黃煙組合理事	篠田直次郎
平井大藥房	平井眞一郎
鳳凰城々內	中川逸男
	海老澤清
鳳城縣々長	康濟
財務局長	郭彥碩
教育局長	何泮林
實業局長	鄂復華
警務局長	楊開明
商會長	白玉衡
商會常務委員	李玉昌　趙治顯　趙蓮璧　韓鳳岐
稅捐局長	商鳴勳
農會副會長	佟熙綱
電燈公司經理	王銘玉
郵政局長	王宗武

鷄冠山

	運送組合
滿鐵公醫	尾崎平吉
滿電派出所	小笠原幸一
生葡萄酒釀造本舖	若松回春堂
	米村運藏
	松永平一
	小杉輝男
驛構內賣店 御料理仕出し	小春
農會長	秦嶺
清酒義正宗釀造	定光號
鷄冠山驛	木村鉄次郎
御料理	菊水
御料理	夢乃家
郵便局長	江馬正壽
地方委員會 副議長	吉竹爲次郎
委員	小山音次郎
	中山善七
	謝粹忱
	姚寶臣

洮南

洮昂鐵路工程局

齊克鐵路工程局

洮遼警備司令官　張海鵬

奉天省實業廳　洮南電燈廠

洮南縣公署
縣長　中振先
警務局長　許越衡
實業局長　孫嫡輝
教育局長　于香九
參事　永井正
副參事　眞崎六郎
副參事　岩尾精一

奉天省實業廳洮南牧場
場長　范傳蔭
技士　濱田庄二

洮南商務會主席　張遇春

奉來縣縣長　李師泌

洮安商務會

洮遼軍騎兵第一支隊第一團　宋殿才

洮南　福豊恒

洮安　福豊達

御旅館　南滿旅館　洮南康樂街

食道樂　高砂亭　洮南康樂街

朝鮮御料理　蓬萊亭　洮南康樂街

賀正

錦州・貔子窩

錦州

憲兵隊本部

憲兵隊本部 隊長 谷本邦夫

錦州領事館 領事代理 中根良介

遼西警備司令部

西義一

錦州憲兵分隊

錦州憲兵分隊 分隊長 富田直澄

錦縣公署 縣長 谷金聲

錦縣公署 參事官 上杉益喜 副參事 阿部虎男

錦縣警務局 局長 宮文超

錦縣實業局 局長 蘇廣綸

興城縣公署

黑山縣公署 縣長 李銘三 參事官 村上輝文

錦州領事館警察署 署長 宇井寧

佐佐木彦七郎

錦縣電氣股份有限公司

奉山鐵路車務段 錦縣段長 孫有慶

錦州大馬路 雜貨食料 穀物精酒 栗原洋行 電話一六九番

錦州金家屯 金錄外一同

錦州城內北街 株式會社 滿蒙毛織百貨店 錦州出張所 電話二五番

關東軍錦州酒保 笹岡米四郎 電話一六二番

錦州汽車公司 矢津田之英 舊名 一人 電話一二九番

錦州城內南街 錦州ホテル 池田知賀良 電話六番

錦州城內東街 錦州貿易館 大信利

錦州日本人居留民會 副會長 白石龍二

カフエーカチドキ

義縣 宋德謙

藤井公雄

錦州料理店組合

錦州飲食店組合

德野耕二

錦州野戰郵便局 局長 松山榮吉

錦州電報局

錦州電話局

錦州大馬路 カフエーミカド

錦州驛前 赤玉カフエー

錦州大馬路 カフエーパリジヤン

錦州驛前 日の丸食堂

錦州城內南街 會席御料理 金龍 電話一五一番

錦州大馬路 會席御料理 錦州丸古支店 電話三番

錦州大馬路 白米 紀州みかん 卸商 城島洋行

錦州大馬路 小兒科 內科一般 富永醫院

錦州北大營 陸軍御用達 大西傳助

錦州新聞記者團

滿洲日報社錦州支局 山代丈二

貔子窩

貔子窩警察署 一同

窩子窩民政署員一同

貔子窩市場株式會社 電話二八四番

御料理仕出し 一力食堂 電話二二七番

食料品諸雜貨 織方商店 電話二三〇番

代書業 梶原貞一 電話二七三番

建築請負業 竹原三郎 電話二五九番

和洋御菓子 玉木屋商店 電話二九六番

食料品諸雜貨 武藏屋 電話二二九番

介辨業 桑原弘莊 電話二六一番

食料品諸雜貨 黑田商店 電話二七五番

御料理仕出し 小梅 電話二四二番

介辨業 清原守彥 電話二六二番

食料品諸雜貨 共益購買會 電話二六六番

會席御料理 喜樂 電話二〇六番

貔子窩旅館 電話二一三番

小川鶴吉

貔子窩金融組合 理事 松井廣治 電話二四三番

貔子窩病院 鷹井春龜 電話二九三番

貔子窩興業公會 代表社員 理事長 尹瑞璋 電話二一七番

滿洲日報取次店 佐藤生々堂 電話二三一番

會席御料理 富貴與世 有田ツヤ 電話二三九話

牛乳搾取 疊[illegible]製造販賣 驛構內賣店 貔子窩牧場 久永仁次郎 板元寅畝 電話三四〇番

貔子窩郵便局長 富浦吉五郎

貔子窩會長 郝家澄

貔子窩公議會 電話二三二番

貔子窩運輸公司 電話二七一番

城子疃病院 堀澤德壽 電話四〇番

城子疃市街 會席御料理 松乃家 電話二八番

城子疃郵便局長 新豊彌兵衛

城子疃市街 初音旅館 電話一六番

莊河縣 縣長 張崑

參事官 喜多章一

屬官 松崎秀憲

同 佐藤久吉

警務局長 苗建發

警察大隊長 劉慶春

莊河商務會長 王錫球

莊河農業公會長 梁德昌

滿洲日報
一月二日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本善代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

印刷一般 滿日社印刷所 電話四〇四八・四〇四九番

南京政府、義勇軍に對日開戰を嚴命
聯盟における對日策戰上 各軍をも平津に集結

【南京卅一日發】國民政府は張學良を通じ熱河の東北義勇軍に對し聯盟に於ける日本の立場を窮地に陥らしむる策戰上一月十六日前に日本軍と戰端を開く可しとの嚴命を發した、確報に依れば國府は更に各地駐屯軍に對し平津集結密命を發し日本と全面的戰鬪を開始すべく諸般の準備を整へて居る、右は蔣介石も熱河を失ふは滿洲擾亂の根據を失ふを恐れた結果である

【北平一日發】山海關警備隊長たる第九師長何柱國は三十一日附を以つて學良に對し辭表を提出した、併してその理由は過般の山海關事件に關し上長の命を奉ぜずして勝手に日本軍に陳謝したるにあるが學良は彼を免職すべきや否やに就き考慮中であると

國家的の大事業は成るべく早く掛る
堤拓務次官來滿語る

拓務次官堤康次郎氏は拓務省大官室勤務毛利茂氏、高橋書記官池田氏と共に八年新春元旦入港にいかる丸で來連したが堤次官は船中所懷として大要次の如く記者團に語る

我が生命線滿蒙の地に其の第一歩を印した今日、幸にして昭和八年の新な佳節に當り在滿官民各位と共に謹みて聖壽の萬歳を祝し奉り日滿兩國の將來を壽ぐことを得たのを欣快とする、我が帝國と滿蒙の地とが唇齒輔車の密接不離なる關係に在ることは敢へて絮説を要せぬ所であるが嘗つて我が忠勇なる將士十萬の心靈を犧牲にして毎度その危急を救ひたるの史實を思ひ一昨秋の事變發生以來軍部當局の熱誠と果斷と在滿各位の監觀とが相まつて遂に積年北支治を潰滅せしめ以つて王道滿洲國の成立を見るに至つたこの赫々たる事蹟を顧みると心氣一轉の緊張を覺え我忠勇なる將士並に在滿同胞に對し感激の念切なるものがある、東亞平和を確保すべき神意によつて出現したる滿洲國が將來の隆榮を約束せられてゐることは敢て多言を要せざることであるが一國の創生の過程においては幾多の波瀾曲折に遭遇すべきことは古來史實の證する處であるに鑑み建國創草の際尙萬難到るべきを想ひ在滿各位の勞苦を多とすると共に我々の責任の一層重大なるを痛感する、本日我が在滿の官民各位と相見え親しくその抱負を承り堂々各位と相協戮し内外一體碎礪事に當り日滿共存共榮の本義に則り政治に國勢に經濟に文化にその康慶を共にし以つて有終の美を納められたしとの信念を一層と深めた次第である

何次官一行に對しては拓務省記官小河正儀氏、槻内五品理事長等沖まで出迎へはいかる丸に來着と共に八田滿鐵副總裁、十河、山西理事をはじめ多數の出迎へあり自動車をつらねてヤマトホテルに少憩八田副總裁、十河、山西理事等と會談の後再び記者團に對し左の如き談話を述べる

今度來たのは全く單純な視察である、三日旅順に行き、三日北上、奉天、新京と廻りハルピンから飛行機でチャムスの拓務省の武裝移民狀況を視察、朝鮮經由廿日迄に東京に歸任する、移民に對してはあと五百名を武裝移民として試驗的に試して見ることは確信する、本日我が在滿の官民

歴史を見ると好いと思ふ、屯田兵式移民をやったのは色々の議をなすものがあるが成功させねばならぬ問題である、移民の武裝については云々する者もあるが今の場合又やむを得ないと確信する、滿洲の農業移民は太陽の直射の量から見ても決して悲觀しなくても好いと信じてゐる、だから成功するだらうと云ふも眞理だが不成功だらうと云ふのも眞理だ、しかし成功させればならぬ、北海道にかつて屯田兵式移民をやつた

滿鐵に對しては大いに仕事をして貰ひたい、今滿洲で本當に仕事の出來るのは滿鐵しかない、人において資本において手取早く云つて滿鐵に仕事をして貰はねばならぬ、それに人物も揃つてゐる、八田副總裁、十河理事その他、白木屋や三越等にそうザラにある品物でなくたしかに特價品だ、從つて滿鐵の増資問題になるがこれは休會明議會に出されるかどうか時日の問題はハツキリしないが政府としても増資しなくてはなるまいとは考へてゐる、この件についてはまだ具體的にお話するまでになつてゐない、その具體的折衝はこれからだ、拓務省としても滿鐵に大いに仕事をして欲しい、就かくて星の家の滿鐵將宴に向つた

氣だ、之に對しては大藏省も贊成してゐる、農業移民に對しては色々の議をなすものがあるが

安の十八萬トン製産を支持したのは拓務省だ、監督官廳として珍らしい出方だがすべて國家

本位に

考へて仕事をすれば好い、監督官廳が小姑の樣ではいけないと思ふ、とにかく將來は滿鐵で大いに仕事をしてもらつて清いサッパリした明らかな氣持でやらればウソだ、その意味で鐵、石炭、肥料等の產業の基礎になるもの卽ち國民生活に必要なものは大切にすべきだ、昭和製鋼所の認可に對して拓務省がグズ〳〵云つたと云ふのは嘘だ、むしろ願書のヒナ形を敎へた位だ、しかしまだ正式に願書は出てゐない、とにかく、かゝる國家的の仕事はなるべく早くしなくてはならぬ、滿洲で犧牲を拂つた皇軍の將士の努力に對しても繩くことなく何かもたらさせれば駄目だと思ふ、今度の事變のみに對し既に五億二千萬圓を計上してゐるがこの償ひをどうつけるかゞ問題だ、とにかく大いに働くことなくやらせれば駄目だと思ふ

王道と滿洲國
滿洲國國務總理 鄭孝胥

王道は乃ち今日起死回生の良藥、世界の戰禍を消して之を安居樂業の途に致すものなり、果して王道を行はんとせば、必ず先づ愛國の思想を灌漑し、而して博愛を以て主となし、必ず先づ軍國の敎育を革除し、而して慈善を以て先となす。

嘗て世界列强用ひて以て國民の思想を造成する所のもの、曰く愛國を曰ばざらんや、用ひて以て國民の能事を養成する所のもの、曰く軍事敎育を日ばざらんや、各國その國民を練習する所以のもの、たゞ人後に落んことを恐る、豈知らんや、愛國の宗旨は卽ち仇外の對象たり、軍國民の資格は卽ち戰備の先驅たることを、これ皆戰を建て禍を釀るの策にして、世界の戰禍既に習慣の中に釀成され、國を種いて果を得、治安を破壞し人類を殺滅するに至らざれば已まず。且つ電力火器の技日に進み未だ已まず、軍機の糜費の鉅背往日に百千倍す、戰爭未だ決せず、而して人民の死亡財用の損傷巳に至るところに現はる矣

君子は位あるもの、稱、己を修めるに敬を以てするは、所謂修慢、四體に設けざるも、己を修めて以て人を安んずるは所謂老者之を安んじ、朋友之を信じ、少者之を懷くるなり、己を修めて百姓を安んずるは、所謂禹天下を者あればなほ己之を溺らすが如くなるを思ひ、稷天下飢うる者あれば、なほ己之を飢やすが如くなるを思ふなり、堯舜天下の任を以て己を責む、故に萬物を同愛、仁して博く民に施し而して能く衆を濟ふあらば何如、仁と謂ふべき乎、子曰く何ぞ仁を事とせん必ずや聖乎、堯舜すらそれなほ諸を病めり、それ仁者は己立たんと欲して而して人を立て、己達せんと欲して人を達す、能く近く譬を取る、仁の方と謂ふべきなるのみ

博く施し衆を濟ふ、其功成り難し、之を人に求めば終に止境なし、返つて而して己に求むるに如かず、己立たんと欲して人を立て、達せんと欲して人を達すれば、卽ち小よりして大、近きよりして遠きに及ぶまで步々實を踏み功成るを待たず、而して效驗の如、一日千里の此卽ち王道の實地、感應の神速、なり。

大舜は焉より大なるあり、善人と同ふす、己を捨て、人に從ひ人に取て以て善を爲すを樂しむ耕稼陶漁より以て帝となるに至るまで人に取るにあらざるものなし、諸を人に取て以て善をなす、是人と善をなすもの也、故に君子人と善をなすより大なるはなし

舜庶人を以て天子となり、己を舍て、人に從ふを以て行となす、故に天下之に服す、諸を人に取て以て善をなすに至りては卽ち衆く人己の見を除く矣。

孟子曰く、人を愛して親しまずんばその仁に反れ、人を治めて治まらずんばその智に反れ、人を禮して答へられずんばその敬に反れ、行ふて得ざるものがあれば、皆反つて諸を己に求むその身正ふして天下之に歸すと行ふを得ざるものあり、而して之を人に求む、これ天下の常に亂るゝ所以、王道の行はれざる所以なり、諸を己に反求すれば卽ち親ます治まらず答へられざるの故、卽ち寢饋の得る所より捷かなり、王道行はれ易き端に信ずべし矣。

以上皆王道の要術人己の間に在るを證明す、大學一篇王道の學たり、宋の眞德秀著大學衍義の一書參考に備ふべし。

王道の學は之を內聖外王の學といふ、王道は至つて大なり、而して之を大に求むる能はず、王道は至つて邇し而して之を邇きに求むる能はず、然らば卽ち王道安くに在る乎、今一言を以て之を蔽へば曰く人己の間に在るのみ、內聖なるものは王道の己に施するものなり、外王なるものは王道の人に施するものなり、更に孔孟の書を引て以て之を證す。

顏淵仁を問ふ、子曰く己に克て禮を復むを仁となす、一日己に克て禮を復めば天下仁に歸す、仁をなす己に由らんや、天下仁に歸するは乃ち王道の極致なり、その之を致す所以のものの乃ち克己復禮に在り、人己の際、卽ち寢饋の得る所より、以て至誠、誠に以て至

王道或問

或人曰く、富世各國愛國の思想を造成し、並に軍國民の資格を養成するに汲々たらざるはなし今乃ち獨り王道學說を倡へ、博愛を以て資本となし、禮義を以て器械となし、戰具を製せず武力を蓄へず列國をして忌で而して之を陵がしめは、卽ち將に其爲す所に聽せて而して抵禦を施さざらんとする乎、曰く、然らず。これ兼併の時代に在ては自ら保つの武力なければ、卽ち誠に以て自ら存するに足らず、ナポレオン及ウヰリアム二世實に呑併を以て失敗す。今日各小國の獨立するに足るもの、その耆なく且つ害を爲す能はざるを以てなり故に各大國も亦相視て動くことなし、蓋し均勢の局將に吞併を以て戒めとなさんとす、然らば卽ち小國の安危は卽ち大國の安危なり彼のローザンヌ及びジユネーヴの議場、皆端西に設けらるゝを觀るに、豈其忌を招かず、反つて世界の華嘗たるを以てに非ず耶、若し王道の國にして亞洲に興らば則ち當世の列强固より利あつて而して害なし。戰具を製せず武力を蓄へずと雖も、而して舉世の戰具武力、皆我に代て而して抵禦を施すのみなり。是れ天下を陵ぎ而して其無理の行爲を肆にせんと欲するも、恐らく擧端に難く、而して天下の不諱を冒す矣。比年以來擧世已に戰兵の時代に入る、王道果して行はるれば擧世の思想必ず將に改變し、軍縮撤兵の進歩に意外の速化あらんとす、慮る所のものは唯共産鉄政策なり、彼の持して世界を顚覆せんとするの計畫は、將に我を以て黑想の動敵となさんとす、其勢必ず兩全なる能はざるの也

我國の對滿政策は後世史家も認めん
內田外相の年頭所感

茲に昭和八年の新春を迎ふるに當り謹んで聖壽無窮を仰ぎ奉ると共に一言所感を述べたいと存じます顧みれば一昨秋滿洲事變勃發以來滿洲にある我忠勇なる將卒と在留官民とは寒暑霜雪乏しきも厭はず我國防の安全と權益の擁護に盡瘁しつゝあるのでありましてその日夜不斷の努力は全國民の厚く感謝する所であります、滿蒙に於ける我權益は國防上將又國民生存上所謂生命線を構成するものなるは我國一致の信條でありまして滿蒙自然の豐庫を開發し滿蒙をして內外人安住の地たらしむることは二十世紀に適し帝國の外交政策を一貫せる指導精神であります

◇

幸ひにして昨年三月彼の地に成立せる新興滿洲國は三千萬民衆の熱烈なる希望に生れ王道樂土の新天地開發を理想とするものでありましてこれが健全なる發達は東亞全局の事態を安定し永遠の平和を確保する唯一の道であると確信致すのであります、帝國は之の確信を以て敢然滿洲國を承認しこれと善隣の誼を厚うすると共にこれが發達を助長して居るのでありまして今やこの方針は斷じて我國に上下一致の意思として動かすべからざる既定方針を爲してゐるのでありますが、而してこの我政策が東亞の平和を保全するため眞に唯一のものであることは遠からずして世界各國民により諒解せらるゝと共に後世史家の是認する處となるべきは我國民の深く信じて疑はざる處であります。

◇

最近數年間に亘る經濟的不況と財政的逼迫及之に伴ふ人心の不安動搖は昨年に於て正にその極に達したかの觀がありますが今や官民心を一にして國家の大事に當らんとするの機運愈々濃厚なるものあるのは寔に慶賀に堪へぬ所であります、今や滿洲國の發達と共に東亞の事態漸く安定せんとするの兆候を認むるに至りましたが、帝國內外の關係は前途尙多事多難と申さればなりません、私は我國民が更に一層の努力を以て產業に官易にその他各自の分擔する業務を勵み一致團結益々國力の充實を圖り我國策の遂行に當らんことを切に祈るものであります、聊か所感を述べて年頭の辭と致します。

關東廳を訪問

が大連に一泊の上三日午前北行の豫定であると（寫眞は堤次官）

來滿した堤拓務次官は二日午前十時五分自動車にて大連發途中龍王塘水源地を視察十一時過ぎ旅順着直に白玉山納骨祠に參拜正午から長官々邸に於て關東廳兩局長各課長列席の午餐會に臨み午後二時過ぎ離旅した

總べてに留意した新京都市計畫
解氷を俟つて着工

【新京特電】新京の都市計畫は舊臘二十八日滿洲國々都建設局より發表されこの發表は解氷を待つて建設されるまでは幾らか小變更を免れないだらうけれどもこれはその細部に亘るもので嚴然たる大方針には何等影響を招來するものではない、この都市計畫の最も特長とするところは丘陵から

丘陵

に介在する凹地に土を入れて埋立てを行ふことは建設工事上多額の經費を要するので當局者はこの凹地をそのまゝ公園地として堤を作り水を湛へ樹木を配し市民の散策享樂地としたことである、從つてこの種水壕公園が市內隨所に設立されるがこれは國防上の見地から首都空襲に際しても一つの避難所となり、又瓦斯等の沈澱作用地にも利用されるの計畫である、次ぎに新京は一年を通じて西南の風が多い關係上所謂工業地區を東北方卽ち吉長線以東の低地に設定して

市民

を煙幕から救つたことと商業地の一ヶ所集合は都市發展上頗る畸形的結果を招來する恐れあるので出來るだけ商業地區を全市にあんばいしてその發達を圖つたこと、六里圧に新設される商埠地によつて鐵道兩側の町は往々にして連絡を失ひ別個の市を形成して發達を非常に阻害するものであつた

日本製の電球 米國が輸入禁止
特許權を犯した廉で

【サンフランシスコ一日發】州裁判所はゼネラル・エレクトリック社の提訴により今日州內當業者に對し日本製電球類の輸入禁止の命令を發した、右は日本品が同社の特許權を犯し類似商標を附したといふにある

地方費の調達は順調に進捗
門司にて 西山財務部局長談

【門司特電二日發】あめりか丸で歸任の途にある西山關東廳財務局長は語る

四十日あまり上京中の重要任務たる地方費五六百萬圓調達の件は順調に運んでゐる、今一息の所で本月中旬再び上京して成功する見込みだ大體明年度豫算は本年度の二千五百八十萬圓と大差なく無論この中には事件費を含んで居る、武藤大使が新京にあつて關東長官を兼ねて居られることについては實際問題として貴族院議員の長官が東京に居られるよりも遙かに好都合である私は着旅早々新京に行く豫定だ

旅順初市會

旅順市長選擧に關する初市會は七日午後二時より招集することゝなつた

關東廳の警察課連絡員決まる

關東廳警務局では、さきに拓務省內に新設された警務課には連絡員を派遣すべく人選中であつたが、三十日警務課福間警部、吉岡警部補の二名と決定した、兩氏は四日出發の筈

人事

▲堤康次郎氏（拓務政務次官）元日入港ばいかる丸にて來連
▲高橋敏雄氏（同書記官）▲毛利茂氏（同次官室勤務）同上▲池田政長氏（拓務省）同上▲竹內錦之助氏（山下汽船若松支店長）同上▲森緋子嬢（映畫俳優）同上▲筑紫熊七氏（滿洲國參議）二日朝八時大連着列車で來連▲張燕卿氏（滿洲國實業部總長）同上▲川島芳子氏（肅親王令嬢）同上歸連▲堀半藏氏（國防義會理事長）二日出港のうすりい丸にて內地へ

あめりか丸船客

【門司特電二日發】四日大連入港豫定のあめりか丸主なる船客諸氏　關東廳財務局長西山左內、滿鐵理事伍堂卓雄、滿洲航空會社專務兒玉常雄、立敎大學敎授田口方知郎、參謀本部大佐後宮淳、滿洲國總理秘書太田外世雄、ソウエート大連領事ミハイロフ

蛇角

◇乾坤一擲、萬象更新、蛇角子の禿筆また茲に新なり。
◇まづ不景氣はさるの年、幸運はとり年、と揃いで瀉く。
◇支那側頭に妄動、阿片氣分に屠蘇氣分が手傳つて。
◇いづれ、夢が醒めたらベソを掻くさうな。
◇日滿側自粛、かつ嚴か。
◇一波、一波が旭かのせて來る冬の海……風が吹けば荒れもせう。

滿蒙の戰慄（187）
直木三十五作　淺枝次朗畫

大陸晴る（五の四）

マダムは座ると、麗の顏を、正面から、ぢつと見つめて

「本當にお綺麗ね、貴女のやうな人、來てくれると有難いわ」

麗はうつむいてゐた。

「そして、どんな要求？——要求つて、可笑いけど、要求でせう」

「えゝ、別に、そんな——」

「大した事ちや無いつて云ふの」

「えゝ」

「云つてごらん」

麗は、快活なマダムに

「この人なら、何を云つても、笑つて聞いてゐてくれさうな」

と、感じたので

「妾——夫がございますの」

マダムは、大きい聲を出して

「いやな人、この人は」

そう云つた時、下から、白いコツクが

「マダム、こゝへ置きます」

と、紅茶を出した。

「あいよ」

麗が、皿へ手を延すと

「有難う」

と、云つて

「そりやあれ。身體でも賣らなけりやあ、收入の無いつて人は、この——」

と、顏をさして

「レッテルの駄目な人が、さうするのよ。貴女なんか——そりや、くる奴、くる奴、皆そのつもりでくるけど、そりや、貴女の心持ち

「あらつ——まあ、早いのね、餘んまり、早く夫をもつと、碌なのないよ」

麗は、笑つた。マダムも笑ひながら

「貴女のが、碌でなしつてんぢやないけど——貴女なんか、いくらだつていゝ人を、撰り好みしてさ御金持ちの、譯のわかつた、やきもちやかね——何んな人だつてこれから先、見つかるわよ——それで、その人と一緒？」

「いゝえ」

「ぢや、その人、內地？」

「えゝ」

「東京？」

「えゝ」

「若い人」

「えゝ」

「え、々々つて、云つてごらん——まあそんな事は、後でもいゝけどそれで？」

「それで、樂だけは——」

「はゝゝゝ、その心配」

一つれ。貴女さへしつかりしてりや、そりや大丈夫よ。その顏を見にくる人だけで、押すな、押すなだわ——贅澤したいとか、御金をうんとためたいとか、そんなのは別よ。普通に、食べて、着るだけなら、何んでもないわ」

「えゝ——それに——妾の父が——」

「お父さんもゐらつしやるの」

「えゝ」

「こゝに？」

「えゝ、父にいくらか」

「いゝわよ。大丈夫、妾、引き受ける」

「えゝ」

「來てくれる？——來て見たら何う？來て見て、嫌だつたら、又考へ直す事にしてさ、とにかく、來てみたら？こゝの二階に、妾と二人でなれば、いゝぢやないの」

「有難うございます」

麗はそう云つて

（來る事にしやう）

と、思つた。

賀正

大連著名商店

舊年中は特別の御引立を蒙り難有厚く御禮申上げます、尙本年も不相變御愛顧の程を偏に御願ひ申上げます
伊藤呉服店
大連市浪速町三丁目
電話代表六一〇七番

新春を迎へ御芽出度ふ御座います、昨年中は格別の御愛顧賜り有難厚く御禮申ます、本年も倍舊の御引立を御願致します
中山婦人服店
大連市連鎖街銀座
電話二二二四九番

昨年中は格別の御引立に預り厚く御禮申上げます、尙本年も不相變一層御愛顧の程御願申上げます
御菓子司 みふと屋
大連市常盤橋
電話（三）六〇八五・二六六六番

絹洋服地
富士絹織物
ワイシャツ
NS
日華蠶絲株式會社出張所
瑞豐
大連山縣通二七一
電話長八七一四

滿日、大每、內地各地新聞販賣
辻山洋行新聞部
大連市山縣通六四
電話（五）三〇七〇・〇四〇六番

昨年中は多大の御引立に預り難有く御禮申上げます、尙本年も不相變一層の御愛顧の程伏して御願申上げます
山内履物店
大連市浪速町三丁目
電話五七一八番

大連市浪速町三丁目
奥田時計店
電話六七三一番

大連著名商店

新春の天地朗らかに 神々しき大内山
四方拜御儀と歳旦祭

【東京一日發】歳旦祭に引續き兩陛下拜賀式――昭和聖代第八春の元旦、宮中では新春の大地おほらかに明けそめる午前四時半若水にて御淨身黄櫨染の御袍を召された天皇陛下には同五時半といふに綾綺殿から賢所神嘉殿に出御御笏を正させ給ふて伊勢神宮をはじめ四方の神祇、畝傍、桃山多摩の各山陵、並に熱田神宮以下の官國幣社を御遙拜、重大事局に直面してゐる國家の安穩諸民の多幸を御祈念、續いて歳旦祭に移らせ庭燎ほのぼのと燃え御神樂とゞろく/\と響き渡るうちに賢所、皇靈殿、神殿に御つき給ふ、神々しき御鈴の打ち振ふ音、元旦の大内山神域のほとりげ大古のしゞまに似て御拜は天明ほのぼのと同六時御終了、陛下入御遊ばされる、皇后、皇太后兩陛下には此間御内儀で御遙拜の御由である、かくて新春の陽光照り輝く午前十時、天皇陛下には皇后陛下御同列にて鳳凰の間に出御、御前一二の間より御儀の間に御參進の秩父宮、高松宮殿下はじめ奉り各皇族殿下と御對面、年の初めの御慶びを受けさせ給ひ續いて正殿にて西溜間より參進の各大勳位齋藤首相以下各國務大臣、倉富樞府議長以下各顧問官、親任官各有爵者等夫人同伴の文武顯官に對し數度に亘り拜賀を受けさせ給ふた、この朝陛下には輝かしい大勳位菊花章其他數多の勳章御佩用の仰ぐもかしこき大元帥の御正裝、皇后陛下にはマント・ド・クールのトレーンを若き公達に捧持せしめられた楚々たる御洋裝にておはした、拜賀の諸官は兩陛下の御健勝の御姿を拜して竹の園生の彌榮えた喜び壽ぎ奉つたのであつた

忠靈塔下に參つて 昭和第八春を壽ぐ
大連市民新年祝賀式

大連市民の新年祝賀式は元旦午前十一時三十分より中央公園忠靈塔前で擧行された、この日天氣明朗萬象一新の春を迎へて瑞氣は天地に漲り渡る、永井民政署長、森本地方法院長、高柳中將、岩井少將八田滿鐵副總裁、十河、山西、山崎各同理事、石井大連警察署長岡野市助役、大内市會議長を始め市會議員、區長、在鄕軍人、修養團員その他約二千名參集、定刻「氣を付け」のラッパで開式、國旗を掲揚し樂隊奏樂裡に一同「君が代」を二唱、更に一同遙か東方宮城に向つて國運の隆盛と皇室の彌榮を祈り最敬禮をなし終つて岡野助役はマイクロホンの前に立ち祝賀の辭を述べ最後に永井民政署長の發聲により「大日本帝國萬歳」を三唱し閉式したが頗る盛會であつた

日滿親善の 新京第一春
全市に漲る歡喜の聲

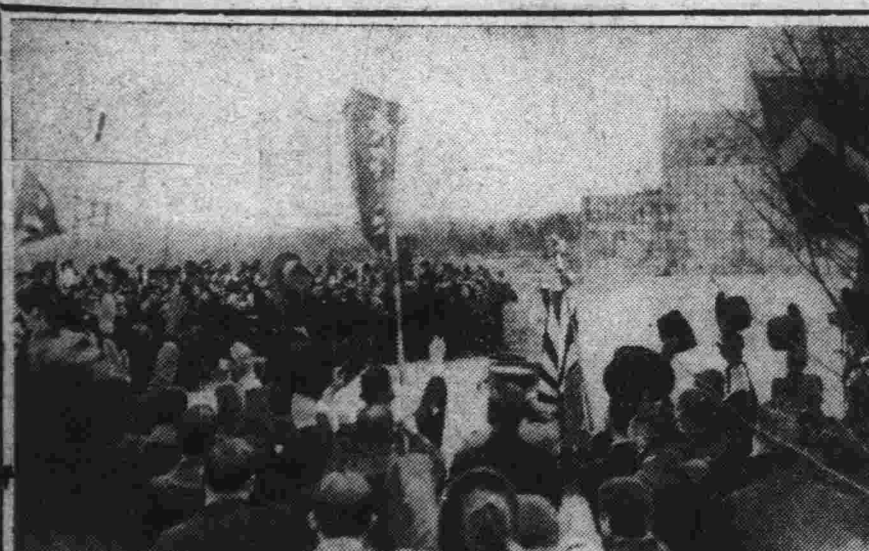
【新京電話】滿洲國獨立最初の目出度い新春を迎へた新京の元旦は日滿官廳の拜賀祝賀式を始め正午新京商業學校における日滿聯合の新年互禮會が賑々しく嘗て見ない賑かさで祝盃があげられた、一般市内は街頭における日滿人の握手等想像だに許さなかつた感激の情景まで見せ零下二十數度、ほんとうの正月らしい寒さの中にも醉者頗る多く正月氣分百パーセントで各戸からは酒の香と日滿親善の聲とが豐に洩れ長春を奪ひ新京を迎へた第一年の新春味が全市に漲つてゐた

各官衙祝賀式

民政署では元旦午前十時より拜賀式を擧行署長以下御眞影を奉拜し終つて祝宴場に集合一同祝盃を擧げ永井署長の發聲で「天皇陛下萬歳」を三唱閉式、市役所では午前十時三十分より市會議場に於て祝賀會を擧行、岡野會長代理、大内市會議長以下市吏員、市會議員、區長等參集岡野市長代理の挨拶に冷酒を酌み大内市會議長の發聲で「天皇陛下萬歳」を三唱閉式、遞信局では午前十時より祝賀式を擧行奏任以上參集最高古參者の拜賀の辭あり別室に於て祝盃を擧げ「天皇陛下萬歳」を三唱し閉式した

滿鐵の祝賀式

滿鐵の新年祝賀式は元旦午前十時から社員俱樂部大食堂において開かれた、定刻前すでに堂に溢れて廊下まではみ出す盛況、式は林總務課長の開會の辭について一同君ケ代を奉唱、林、八田正副總裁の式辭に次で山崎理事（軍役代表）藤根關東軍特務部顧問（社友會代表）土肥人事課長（社員代表）工務課長（社員會幹事長）竹森氏（都社員會代表）吉井氏（青年會代表）三瀦鉄鋤課長（婦人部代表）の發聲にて萬歳を唱和し十時五十分散會した



大連市民新年祝賀式と初荷

明治神宮參拜者 元旦に六十萬人

【東京一日發】初春の麗かい絶好の日和に惠まれた元旦の明治神宮參拜者は除夜の鐘を相圖に四方八方より押し寄せた人波で青山參道は非常な雜沓を呈した、殊に本年は引續く滿洲の戰時氣分とインフレ景氣のため參詣者增加し在鄕軍人團、少年團の團體參拜者が多く午前零時より正午迄四十萬に達し早くも昨年元旦の夕刻迄の數に達し一日中の參拜者數は六十萬人に上り近年稀なる大賑ひである

開城記念の 祝賀會
旅順の元旦

昭和八癸酉旅順の元旦は朝來の快晴寒氣稍強きも萬象一新人心亦明朗の瑞氣漲り午前十時各學校では御眞影の奉拜より順次新年の式を開始、關東廳では午前十一時より會議室大廣間に於て林、日下兩局長以下參集賀詞祝盃を擧げ同十一時十分には昭和園に於て官民合同の互禮會並に旅順開城第二十七回祝賀會が擧行された、陸山市長代理の祝詞、安藤要塞司令官發聲にて兩陛下の萬歳を三唱祝盃を擧げ更に在鄕軍人旅順分會では正午から偕行社に於て勅諭を捧讀祝宴の盃を擧げた

大連神社賑ふ

元旦大連神社では午前十時から氏子役員等參列の上歳旦祭を執行、式後神樂の奉奏の儀が行はれ一般參列者には神酒供物が頒與したが折からの麗らかな天氣に誘はれ未明から市民の參拜者續々として絶えず社頭は非常の賑ひを呈した

事變以來甫めて 正月氣分を滿喫
ハルビンの在留邦人

【ハルビン特電一日發】在哈○○司令部では一日朝七時から廣瀨中將以下各部隊長冷酒と雜煮に新年を祝し遙か東に向つて遙拜式を擧げたが元旦の居留民に正月氣分を味はふと間もなく朝八時遙拜式の式場から武裝いかめしく東部線方面に向け出動した、また總領事館では朝九時から官邸に於て御眞影に對し遙拜し午後一時からは民會に於いて一般の互禮會を擧行したが在哈居留民は事變以來初めての正月氣分を滿喫した

愈よ來る四日から 奉天大連空の旅
伸び行く滿洲航空路

【新京電話】關東軍特務部顧問藤根壽吉氏談、滿洲國政府滿鐵及び住友等の日滿官民合辦を以て設立された滿洲航空會社は社長に鄭垂氏を推し、去年十一月三日滿蒙航空史上特筆すべき一般商業航空の營業を開始し、業績は順調の經過を辿りつゝある、尚來る四日よりは奉天、大連間の航空線を開く等で從つて新京、大連間の旅客には非常に便利を與へることゝなる、現在の主なる航空路左の通りである

▲奉天、新京、ハルビン間　毎日一往復、片道所要時間約三時間半

▲ハルビン、チチハル間　毎日一往復、所要時間片道約二時間

▲奉天、新義州間　日曜を除き毎日一往復、所要時間片道約一時間

▲新京、吉林、敦化、龍井村間　毎週月、水、金一往復、所要時間片道約三時間半

一、奉天、新義州間は新義州において日本航空、朝鮮、內地線に連絡す

二、奉天、大連線は一月四日營業を開始す　毎日一往復、所要時間片道約二時間半

本會社の使用機は世界的優秀の定評あるフォッカー式、スーパー・ユニバーサル旅客機其に優秀なる操縱士等により運行せられ所有機は閑を利用して天候氣象の調査を行ひ航空の安全百パーセントをモツトーとしてゐるので、特に航空氣象に對して天惠的好條件を有し滿蒙航空旅行の愉快は又格別である、これがため空輸とも每日滿員の盛況である、尚本年は一般旅客の外航空郵便、貨物の取扱ひを實施してゐるが、各地同會社本店、支所、出張所又ツーリスト・ビューローに申込めば詳細なる營業案內を送る筈である

ファン待望の 森靜子來演
初入港船で華やかに

森の靜ちやんが元旦入港ばいかる丸で來連した、永い間のおなじみのファンに舞臺で御目見得するといふのであのハニカミ屋の靜ちやんは船の醉ひも何處へやらはしやぎ切つてゐる、船室にお母さんと只二人のところを訪れるとつゝましげに語る

滿洲は初めてですわ、寬壽郎さんが滿洲へ行つた入江たか子さんが行つた、さて大江美智子さんが行つたなんて聞いてもう矢もたてもたまらなく是非一度はと思つてゐましたのに幸ひ來られました、こんなうれしい事はありませんわ、少し寒い位我慢します、そして祇園小唄などやり、皆樣の前でゆつくり樂しませて頂きます、今度は旅大だけで六日の船で歸ります、フィルムは私の一番新しく撮つた「夢の花嫁」です

いつまで經つても若く美しい森の靜ちやんは古い時代から今日迄新しいファン多數に出迎へられて上陸した【寫眞はばいかる丸甲板上の森靜子】

四歲の幼女が 郵貯拂戾し
笑へぬナンセンス

市內大和町二六の一四五石原與吉方では三十一日午前十時頃妻女が病氣のため四歲になる長女のサツキに二百五十圓記入の郵便貯金通帳を持たせ、十五圓を引出すため大和町郵便局に赴かせたところ、同時まで待つてもサツキが歸つて來ないので郵便局に訪ひ合せると、そんな子供は來ないと云ふ返事にさてこそ誘拐されたと兩親は眞ッ青になり早速大和町派出所に搜査方を願ひ出で大騷ぎを演じたが、そのさなか騷ぎの眞最中午後零時半頃に當のサツキちやんは郵便貯金帳をしつかり持つて、何處をどう歩いて來たものか平氣な顔で飄然と歸つて來て、幸ひ年末のナンセンス騷ぎに終つたが、僅か四歲の幼女に現金を扱ふ使ひをさせたのは如何になんでもチト大膽すぎる話

ポリドールレコード
聞き給へ
驚き給へ
買ひ給へ
POLYDOR
世界無比
ポリドアー式電氣吹込

賣上げ八十三萬圓 驚異的大成功
特等三千圓の景品が煽つた 建國記念大賣出し

一九三二年から一九三三年にかけての三千圓の幸運兒は誰？年頭早々から話題の中心となつてゐる建國記念日滿合同大賣出しは豫定賣上高を超過すること實に三十餘萬圓、八十三萬餘圓と驚異的大成功裡に舊臘三十一日を以て締切つたが大賣出し事務所では、これに伴ひ景品もそれ/\增額すること、し既にその筋の許可を得た

特等三千圓を二本、兩袖もこれに伴ひ四本（各百五十圓）一等一千圓一本、二等五百圓三本、三等二百圓七本、四等五十圓二十五本、五等十圓五十本、六等五圓一千二十本、七等二圓四千一百本と夫々大增額、總數五千二百二十二本、金額二萬五千六百五十圓といふ當初の豫定より幸運者數に於て一千五百餘人、金額にても一萬圓の大膨脹而もこれは八十萬圓に對する景品でまだ/\大いに殖えるが八十萬圓超過額はその割合に應じてそれ/\七等二圓に增數の答

このため賣出事務所では大枚百五十圓を投じて抽籤機を購入、驗く鍵を閉ざして八日の抽籤日を待つてゐる、この玉手箱の開かれる八日は午前十時、警官、新聞記者、立會嚴重な監視の中に先づ三千圓の幸運者、次いで一千圓、五百圓と順次七等二圓迄數五千二百餘終るのは三時過ぎる豫定で一般の觀覽を歡迎すると

向ほ景品券五枚と抽籤券一枚との引換は來る四日より七日まで引續き各引換所で行はれるが、これが發表は十日の各新聞紙上で行はれる、大連放送局でもその抽籤の結果を放送す

坂谷父子遺骨

【奉天電話】帥賊で匪賊の爲慘殺された坂谷松江さんの父と兄の遺骨は我軍に手厚く護られ奉天の蓮華寺に送られて來たが、松江さん消息不明のため暫くそのまゝに置くことになつた

荒木大尉の 遺骨着奉

【奉天電話】興安嶺で名譽の戰死を遂げた荒木大尉以下十六體の遺骨は二日午後五時十分奉天着、多數市民の出迎へを受け西本願寺に安置され三日午前七時十五分離奉大連經由送還されると

代田氏を收容

【奉天電話】帥賊において匪賊部隊と共に勇敢戰鬪し重傷を受けた宣撫員代田和吉氏は曩に井上司令官が飛行機にて帥賊に赴きたる際座席の關係で一名のみ收容し來り代田氏は殘されてゐたので二日朝七時十分東飛行場より岡村特別工作員飛行機にてこれが收容のため出發した

堀羊藏氏歸國

昨年前後四回に亘り來滿の各地に駐屯する我忠烈なる將士を慰問し、國民國防の智識普及について各方面の打合せ實情の視察を終つた國防義會理事長堀羊藏氏は二日大連出帆のうすりい丸にて內地へ歸つたが更に二月中渡滿各軍隊の慰問を行ふ豫定であると

馬車夫斬らる

鞍山北四番町客馬車夫薦賢春(二七)は元旦午後七時半普列車より下車した一滿洲人を乘せ八言滿人口守備隊附近に於て突然乘客より鋭利なる支那刀にて頭部を深さ三寸の傷害を受けた急報により鞍山署では直に元旦早々非常召集を行ひ犯人搜査に努めたが屆出で遲延のため遂に取逃した

若狹町初火事

一日午後六時五十分ごろ市內若狹町五九番地古物商殷際鉞方から出火し同家を半燒七時二十分鎭火した、原因はストーヴの不始末から損害約二百圓の見込み

大連會館は 五日に開場

ダンス・ホールとして更生準備中であつた大連會館ではいよ/\來る五日正式開場する運びとなつた

天氣豫報

三日　西の風（晴）

各地溫度　二日午前十一時

大連零下七　奉天零下十二　旅順同四　新京同十四　營口同一

返品返金自由
御挨拶
舊年末大賣出しは賑はしく御來店下され御蔭を以つて例年に見ざる人氣を示し御愛顧の程難有御禮申上げます何分混雜中さて不行屆勝にて御滿足を得ざりし點も多々有之し事こ謹んで御わびを申上げ猶將來の努力を契ふ次第でありますこゝに舊年末賣出しの御禮を兼ね御挨拶まで
旅順・金州・無賃配達
大連市浪速町　船塚　電話四三九七番

伊勢參拜團
申込締切三日限
團費金八十八圓
出發一月四日ばいかる丸
お正月休を御利用致しませう
主催　崇敬會　大連市吉野町七一　電話七九七四番

果然滿員
名花森靜子孃の御挨拶と實演
新舞踊美しい舞姿の「祇園小唄」
映畫は・阪妻の「情熱地獄」
森靜子主演　祇園夜話「夢の花嫁」
物凄い人氣！偉い評判です！
新春先づ凱歌上る・滿員御禮
皆樣お揃ひてお越しを
映樂館

謹賀新年
各位御得意樣には芽出度御迎春愈々御多祥御起居被遊奉慶賀候、降而弊館事邦人唯一の經營であり珍味の中心人氣の焦點として特別の御聲援と御引立を蒙り居候段厚く/\御禮申上候、今年は尚一層皆々樣の御期待に添度一流腕利料理人を加へ其他使用人の上にも一大改革を斷行致し內容外觀共に晴々敷新春の氣分を以て大に努力、名實兩全を期し度候間此上共舊倍の御引立に預り度奉懇願候　敬具
珍味之中心　人氣焦點　北京料理　扶桑仙館
大連連鎖街銀座通　電話（日人專用二階）二二一〇九番（華人專用三階）二三〇六四番

旅行中に付年賀缺禮仕候
佐志雅雄

謹賀新年
建築設計監督　野村建築事務所
大連市西公園町四五　電二三一一番
新京南廣場越香春旅荘七號室　電二四二九番

御壽司の御用は　さくら鮓
電話（三）三六七八五番

田端百藏儀病氣療養中の處醫藥効なく一月一日逝去致し候就ては途中葬列を廢し一月三日午後一時沙河口西本願寺に於て葬儀執行仕り候間此段御通知申上候
一月二日
男　田端彌市
親戚總代　一ノ瀨八代　吉井彌八　金森常平
友人總代　山下吉鈷

銘酒白龍正宗　旦那店呂陸街　白龍酒造場　電話一一一番
元旦ヨリ三日マデ上映
加賀騷動　河合オールスターキャスト
春は來れり　鈴木傳明・筑葉雪子主演
大東京の屋根の下　中野英治・河合喜美子主演
三國一刀流　嵐寬壽郎・原駒子主演
料金大人三十錢
四日ヨリ六日マデ上映
嬢奈々子の裁判　河合オールスターキャスト
嘆きの孔雀　栗島すみ子・奈良眞養主演
勢力富五郎　葉山純之輔・五味國枝主演
スットントン　新井淳・飯田蝶子主演
たから館

支那近代土匪物語

領域が廣く人口が多い點においても世界に餘り類を見ない支那のやうな國に於ては社會的にも自ら特異性を帶ぶる。名物土匪も其現はれの一つである。支那の社會は少數の大地主大商人を除けば大多數の貧民から成立つ、隨つて無職者遊び人乃至は浮浪人乞食など危險な分子が非常に多い。一朝食へない事になれば土匪にでもなるより他に途はないのである。飢饉が續き天災が頻發する時は忽ちにして多數の浮浪人を作る、又貪慾な官吏横暴な軍隊に虐げられて無一物となるものも亦多い、加ふるに敗殘兵の所謂走兵が臨時避難所に至れる此等は相率ゐ滔々として匪賊の世界に流れ込むのである。太平の時でさへも跡を絶たない土匪は近年の支那の右の如き状態から益々殖える一方の經路を辿つて居る、而も彼等の亂暴となつて新なる匪賊の製造に重大な役目を演じて居るのである。

土匪の數と産地

支那及び滿洲國を通じ土匪の總數が幾何に上るか、その算出は困難である、曾ては百萬乃至二百萬と推定した人もあるがそれさへ廣義に解釋すると狹義に解釋するとによつて非常な差が生ずる、卽ち專門の匪賊以外に平常の所謂良民にして機會ある毎に全部落を擧げて匪賊團に變ずるものがあるから、此の意味から全省皆匪と稱する言葉さへもある位だ。廣東省の如き海波沿を見て海賊に變じない部落がないとさへ云はれる、殊に現在滿洲國に於ては事變の結果として異常に多數の所謂義勇軍なる兵匪が發生し又中南支に於ては共產匪が益々猖獗する如き特殊現象を呈して居るので土匪の數も空前の巨數に達して居るものと推定される、土匪の産地としては全支那到る處産地でない所がない唯地勢や風習に從つて滿蒙では騎兵を使用する故に馬賊、南支では海上で活躍するが故に海賊の語が起るが匪賊たる事に變りはない土匪跋扈の主なる地方としては山東滿洲を筆頭とし河南湖北陝西長江上流の四川南支の廣東、廣西等である。

土匪の種類

土匪の小なるものは何處でも見られる强盜や强盜と選ぶ所がないから之は別とするが本來の特色は團體を爲し或は人質を攫つて身代金を取る、大團體に至つてはその數數萬に達するものもあり堂々と政府の討伐軍を破つたりする、信仰を味を加へた秘密團體は土匪中でも殊に根强い樣だ、山東の拳匪（團匪）河南の白狼匪、滿洲の大刀會匪、紅槍會匪などがそれである拳匪は三十餘年前排外暴動を起して空前の國際大問題を起し、白狼匪は數年間に亘り政府の討伐軍を散々に惱まし、大刀會、紅槍會は最近には張作霖に手古摺らせ今亦我が軍に抵抗いて居る事は人の知る通りである。

匪賊出身の傑物

匪賊の本場と云はれる滿洲及び山東では特に集團土匪が多い、中に傑出した人物が出れば周圍の小匪を輔從へて大軍に自己の大を匪り、遂げば一地方或は一省を領有して封建の大名の如くになるに至る、此の時には既に名實共に土匪の域を脱して政府の大官になり濟まし、卻て土匪を討伐したりなどして眞面目を裝ふのも滑稽である山東滿洲出身の土匪頭目中には後に名を爲したものが甚だ多い、張宗昌等がそれで何れも一省若くは數省の主となつた、殊に張作霖の如きは大元帥と稱して大中華民國政府の元首となつた事は實に異數の出世で近代にその比を見ない所だ、然らば現在の北支那の主人張學良及びその一派は之等馬賊の餘禁を襲してゐるものだと云つてよい譯である、最近兵匪の大頭目として名を謳はれた馬占山もその出身は馬賊だと傳へられる、馬の例にも見る如く一度出世した馬賊でも志を失へば再び昔戀しやの馬賊に還るものもある。之について手近に面白い實例がある。山東に劉黑七なる土匪大頭目あり一九二八年濟南事件に際し支那のために活躍した功により國軍に取立てられ、部下の土匪は師に自分は師長に任ぜられ第何師長劉桂堂と銘打つて押も押されもせぬ支那一流の武將となつた、然るにその後南北政爭の餘波を蒙つて地盤を失ひ、近年部下の全部と共に再び劉黑七の山東土匪に還元したのである。

癸酉新年

大同起化
王道揚麻
固我東亞
萬歲千秋

趙欣伯題

土匪と國際問題

土匪が掠奪を行ひ人質を攫ふに當り財物を目的とする故に相手の國外人たるを問はず顧慮する處なく實行する、否却て外人人質の價値高きを評價する、故に屢々國際問題を惹起する。支那の內地奥深く入込んでゐる外人宣教師が屢々その犧牲となる。先年我が日清汽船の一船長が長江上流で人質となり四川、雲南、貴州を漂浪する土匪の手から救出する迄に一年の歳月と多額の身代金を要した事もあつた。最近では營口郊外で拉致された若いポーレー夫人とコークラン氏の二英人は六週間土匪に監禁されたが我が軍の骨折で救出された事は尚世人の記憶に新なる所である、然し國際關係の土匪事件中最もセンセーションを起させた實例は有名な臨城事件である。

臨城事件

一九二三年五月某日津浦線の北行急行列車が山東臨城附近に差かゝるや突如土匪の爲めに襲擊された、列車內には三十五名の外國人が乘合せて居たが內一名は射殺され妙齡の婦人を含む二十五名は拉致されて山寨に虜囚となつた、賊は之を人質に多額の身代金を要求し容易に解放しやうとしないので在支外人は勿論世界的に大問題視されるに至つたのである、此の事件を惹起したのは孫美瑤と稱する白面年少の一頭目に過ぎなかつたが、斯うなると思ふ壺にはまつたと云はぬ許りに人質を押へて思ふ存分の身代金を取つた外部下は旅に編入される事に迄成功した、併し此の爲に支那政府が外國側から巨額の賠償金を取られた事は云ふ迄もない、一方孫美瑤は更に野心を延ばさんと機を窺ふ間に僅かの隙に乘ぜられ政府軍の爲めに騙し討にされその罪業は報いられ、事件は大團圓となつた。

共產黨及び黨軍

共產黨及び共產軍を匪と見做す事の當否は此處に論じない、併し支那の現支配者は之を共匪と呼び最も恐るべき敵として取扱つて居るから暫く之に從ふ事にする、共匪の創立は一九二〇年だから今日迄僅に十二年の歳月を經たに過ぎない、一時現政權の把持者國民黨と提携した事もあるが大體に於て國民黨と相容れざる敵として苦鬪を續けて來たものとすれば今日の發達は正に驚嘆すべきものである。現在共產黨は十數萬の黨員と二十萬乃至三十萬の軍隊を擁し數百萬乃至數千萬の貧農勞働者を味方として居ると自稱して居る。蔣介石はこの恐るべき敵の絶滅を期し前四回に亘り數十萬の軍隊を動員して討伐に從ひその都度大成功を謳稱したが依然として所謂共匪の衰へざるを見れば討伐は結局失敗に終つたのである、共產黨は江西の瑞金に首都を定めソウエート區域は江西、福建、廣東、湖南、湖北、河南、安徽の各省に亘つて居る、在來の匪賊と異る特色は極めて組織立つて居り中心人物の指導がなくとも組織そのもの、威力により着々擴大強化しつゝある事である。蔣介石が認めて大敵となすは眞に理由のある事である、支那の所謂共匪の將來こそは最も注目に値する問題であらう。

戰場で奇拔な八つの插話

「敵彈に斃れる兵士よりも、馴れぬ酷寒に、凍傷で斃れてゆく者の方がはるかに多かつたものだ……」日露戰役に思出も深い老將軍の夜話に聞く、あの滿洲のきびしい空氣が、匪賊討伐に輕敵暇なき皇軍の陣野に再び襲ひかゝつて、圖らかな警の勇士の夢も兎角破られ勝ちだ。

零下二十度！卅度！それは「酷寒」と云ふだけでは餘りにもはげしい、恐ろしい寒さだ。

梟男馬占山を討ち留めた鄭家屯中大隊の討伐手記にも記憶新たな、泥濘膝を沒する魔の沼澤地、それも興安嶺からサツと吹き降ろす木枯ともに、砲彈に斃れた軍馬の亡骸もそのまゝ凍り切つてしまふ十一月の聲を聞くともう北滿は冬の世界に入る。匪賊に惱まされる勇士に又無慚な北滿の自然は暴威を振ひ始める。陣營の苦心多いエピソード、それは當然に生れ出て來るものであらう。

これらのエピソードを通じて、我々は銃後から、生命線死守の我等の勇士に感謝の暖かい同胞愛を捧げようではないか……

第一話　腦味噌が凍る

山なく林なく、見渡す限り、はてしなく打續く曠野、聞ゆるは猛獸のうなりに似た、吹きまくる朔風と氷原を蹴む愛馬のひづめの音我が騎兵第〇中隊はチチハルを遥か北に匪賊を追擊中だつた。その日は夜明け前から北滿にも珍しい程の寒氣が襲來してゐた。騎馬の先頭に起つ中隊長は幾分か大聲を發しては續く部下を激勵してゐた。實際中隊長自身にも何時の間にか恐ろしい睡魔が蔽ひかぶさつて來るのだ。寒氣から來る睡魔……防寒帽を通して喰ひ入る寒さに頭の血の循環が悪くなつて來るのだ手足ならば摩さつても出來よう。頭の中が冷え切る。これには流石豪勇に鳴る中隊長も手の施しやうがなかつた。痛みさへ感ずる頭の中で中隊長は考へた。睡魔に誘はれて凍死する……大事な部下をこんな事で殺してはならない。ともすれば行軍の馬上で睡魔に陷り勝ちの兵に大聲を浴びせかけては士氣を振ひ起させたのだ「あの時ばかりは腦味噌が凍つてゆく――と眞劍に考へた……」と中隊長は述懷してゐた。腦味噌が凍る寒さ！

第二話　一俵の木炭匪賊を走らす

これはさる激戰に參加した重砲大隊がわずか一俵の木炭に救はれた探險苦心談だ。

出動を命ぜられた當大隊には觀測班所として僅かに一臺の支那馬車が支給されたのみだつた。後から大行李が來るであらう、と云ふ安心から足手まとひの荷物は一切殘して、たゞ一俵の木炭がその支那馬車に積込まれただけであつた十一月下旬の朝だつた。敵匪はいよ／＼我が射擊線に現れ出た。だが、こゝに測らざる障害が指揮官を極度に狼狽せしめた。双眼鏡も砲隊鏡も度を合さうにも油脂が凍りついて動かないのだ。それに友隊との連絡電話機がハタと不通に陷つてゐる。乾電池も、炭素粉も何んと凍つてゐるではないか！この時指揮官の頭には、出發の時の支那馬車の隅の木炭がチラッとひらめいた。貴重な木炭が間もなく眞赤におこされて、冴え渡る號令一下砲口は火をはいて鳴り響いたのは勿論のことだ。而も敵を驅けつけた本射擊の間に射手の手足を凍傷から護つてくれたのもこの一俵の木炭だつた。春秋の筆法をもつてすれば「一俵の木炭、遂に匪賊を走らす」であつた。

第三話　O・K地下天國

滿洲の野を明け暮の住場として育つた支那兵――匪賊は確に耐寒力は我が軍の兵士よりもはるかに上であるのは止むを得まい。彼等は滿足な防寒具もなしで凍え切つた夜氣にたゝかれながらも平氣で一晩中淺い散兵壕に籠つてゐる。廣い北滿の事だ。兵を進めてゆくうちには宿るに一軒の民家さへ影を見せぬ荒涼たる曠野に幾度となく遭遇する。ある小隊もとうとうこんな場所で夜を迎へて終つた野宿！それは餘りにも自然にさらひ過ぎる。暴虎の勇だ。天幕然しそれは敵襲の前だ、で一策を考へ出したのが土窟生活の昔に還ることだつた。苦心の末漸く三間四方に三間の大穴が掘り擴げられた眞夜の雨、雪を防ぐために樹皮と高粱で雜蓋がさし渡された。而もその上には掘り上げた土が五十サンチの厚さ程積み上げられて見事にも砲彈よけが築かれた。一ケ小隊の兵士の全部收容のO・Kつた。內では急造のオンドルさへ器用に作られて、思はぬ安らかな暖かい夢がその夜は兵士を包んでくれたのだつた。

第四話　寒さが眼に見えた話し

寒さが眼に見えた話――にこんなのがある。

厚い防寒服の下に脂と汗と、垢とに十數日の轉戰苦を語る兵士達にも今日の野營には暖かい風呂の御馳走が振舞はれると云ふ快報が隊內の空氣をひどく朗かな氣分に湧き立たせてゐた。風呂――と云つてもそれは大甕應用の如何にも北滿の陣らしい甕風呂なのだ。兵士のはしやぎたそのまゝに甕の下ではパチ／＼と威勢よく薪が火花を吹きあげて燃え上つてゐた。だのに內の水は一向にわいて來ない、それでゐて底部は手が觸れられない程に熱してゐる。だが甕の縁は……何んと汲み入れる時の水が凍つてそのまゝだ。然しそれもまだいゝ。いざ湯に浸つて見て驚いた甕から湧き上がる湯氣が、三尺も立昇るか昇らぬ內に、暖かい味がどうどころか、もう眞白い霜となつて湯面に隙然となつて浮き出てゐる兵に降りかゝつて來るではないか。霜を浴びつゝ湯を樂しむこの風流は北滿で始めて知る寒い風流であらう。

第五話　爆彈で開けた氷河の井戸

物皆凍る戰陣で一番苦しむのは何と云つても飲食物の缺乏だ。特に飲料水！これにはホト／＼苦心する。河と云ふ河は砲車の往來にビクともせぬまでに厚い厚い氷が張りつめる。井戸には手の出しようもない厚氷の蓋が蔽ひかぶされる水のない世界……全くそれは想像を遙かに越えたわびしい世界に相違ない。で止むなく爆彈にまるべき爆藥が無雷に似た河面へたゝきつけられる。ポッカリとあいた氷原の口からはあかり下に湛へた川水が汲み上げられて始めて乾き切つた兵士の咽喉をうるおすのだ。水筒につめて持つて行つたら……それはたゞ水筒の中で氷を作るまでの話で、役に立たう筈がない。だが追擊戰には一刻をも惜みする以上水の必要なのに變りがない。矢張り河面を爆破しては給水を行ひ行ひ追擊げてゆく。それも跡を追ふ皇軍はこんな道知るべと而も手を下さずに水を汲む簡便さに惠まれて追擊を急げるのだ「敵に鹽を送つた」と我が軍史にあるが氷を惠む武士の情？これは匪賊の戰略らしい……。

第六話　痛ましき鐵路の露

水！と云へば、そう／＼一滴の水をめぐつてこんなわびしい話しが傳へられてゐる……。

つめて來た水筒の水も飲み果して今第〇大隊は窓外にはてし無く續く荒涼たる北滿の冬景色の中を軍用列車を急がせてゐるのだ。車內では毛皮の防寒服がうるさい程にスチームが通つてゐた。ガラスに雫がたまる。兵士の眼は窓外の景色よりも無數の雫に釘付けされてゐた。汽車が停つた。各車內から數名の兵が、バラ／＼と飛降りた。皆水筒をもつて車の下へ入つた。

そこには、絶え／＼の雨だれの如く、スチームの雫が管のはしから、捧げる兵士の水筒の中にはかない音をたてゝ溜はつてゐるのだ。それでゐて兵士の顏は皆眞面目だつた。K二等兵もその一人だつた。わびしい雫の音より耳に入らなかつた彼、發車の汽笛は一滴の雫の前に彼の耳を素通りした。飾る、ならば敵彈の前に……と國の老父母の手紙をまつまでもなく固く心に決めてゐた彼が、測らざる鐵路の露と散つた。だが戰友も、隊長も彼を笑へなかつた。いや皆聲なしのんで男泣きに泣かされて終つた。

第七話　機關銃の凍傷

氷――小便、これは少し連想が悪い、が陣中では小便も武器だ、おろそかには使へない、カチカチに凍りついた凍土に、いざ壁壕と云ふ場合卸々どうしてシャベルなんかは齒が立たない、でソレーッと例の一齊射擊を浴びせて置いてとけかゝつた土から間髮入れずシヤベルをさし込み、エッサラ、エッサラ掘り上げるのだ。

機關銃の油が凍つて、困り果てた部隊の隊長がヤオラ小便をひつかけて成功した笑へぬ陣中談も傳へられてゐる。だが陣中の「兵士心得」に曰く「風速五メートル以上の場合風上に向つて小便すべからず……」それは鐵砲製ならぬ大事な機關銃が、凍傷を起すからだ。

第八話　陣中の元旦

殺風景な陣中にも滿存に元旦の朝は明かだ。はためく日の丸の下で恒例の新年の野宴が催される。氷の酒をかち割り合つて、久し振りで隱し藝も飛出して來る。滿洲事變第一年の陣中「初日の出獻立」はこんな御馳走だつた。

かゞみ餅、高粱雜煮、鮭張煮、田作照煮、數の子、菊花なます、尾頭鯛、日本酒（これは大概氷だ）だが、この獻立にありつける部隊は幸福だ。とてもとかぬ程の奥地に、元旦の朝もなく奮戰する兵の多い事が、忘れられない（完）

新興滿洲國　正　大連　賀　極東の理想鄕

御料理　一方亭　大連市老虎灘　電話｛七八七八／七五五二｝番

御料理　扇芳亭　大連市美濃町　電話｛五七八七／七〇八二｝番

御料理　月淡　大連市浪速町一七四　電話｛四五八〇／四六三六｝番

御料理　月湖　大連市美濃町一　電話八一七番

中部大連カフエーバー組合員一同（次第不同）
サロン日輪　電話七〇二九・四七三二番
カフエートリオ　電話五九五三番
カフエードン　電話二一九四五番
カフエールナ　電話二二五二番
カフエーワカナ　電話三五四三・六六九七番
バーヨネ　電話二二〇四九番
カフエー養老　電話二一六六番
カフエータイガー　電話三九〇一番
バータマミ　電話六四九九番
ミス・ダイレン　電話六〇二九番
ラツキーバー　電話二二七〇番
カフエー赤玉　電話七五九四番
カフエー京極　電話二二五六番
東ラツキー　電話二二一〇五・二一九四三番
カフエーユニオン　電話二二五七番
カフエー連鎖會館　電話二二一五番
カフエー新興　電話二二一二番
カフエー日光　電話二二六一番
サロンミチル　電話四四六一番
カフエー小蝶　電話七四九〇番

お目出度う存じます　本年も相變らず御愛顧の程御願致します
富久家　大連市連鎖街　電話二二一三七番

割烹　鳴戸　大連市吉野町八七　電話二一三〇・二二四〇番

割烹　金華　大連市連鎖街本町通　電話二二一六六番

大連飲食店同業組合聯合會　大連市伊勢町四四　電話三八四五番

大連酒商組合（イロハ順）
白鹿　發賣元　合資會社白鹿商店
白鶴　發賣元　嘉納合名會社大連支店
澤龜　發賣元　宅合名會社大連支店
大關・加茂鶴　發賣元　黑岩大連支店
忠勇　發賣元　增屋
櫻正宗　發賣元　扶桑號高見商店
富久娘　發賣元　富久洋行
都菊　發賣元　合名會社肥塚商店大連支店
菊正宗　發賣元　鐵谷商店
東洋一　發賣元　柴谷洋行出張所
白雪　發賣元　鈴鹿商店

中央映畫館　大連市西廣場
映樂館　大連市西廣場
日活館　大連市磐城町
寶館　大連市岩代町三七
帝國館　大連市信濃町三三

逢坂町遊廓組合

邦人の國際結婚と二つの條件

長谷川如是閑

一

日本人と西洋人との結婚問題は昨今の話ではない。明治時代の所謂歐化主義の時代に、さうした問題を提起されたこともあつた。日本統計學者の元祖である杉享二氏が、その問題に就いて、悲觀的な意見を發表されたことがあつた。併しその頃の問題は所謂内地雜居を機として、大量的に雜婚が起ると云ふ心配であつたが、それは殆ど杞憂に過ぎなかつた。

今日の問題は寧ろ個人的な又道德的なそれで、特別の事情から破綻を來す場合のそれであるが、併し在外日本人等が、永住の場合に止まつて居ると云ふ事も、又一つの問題である。昔のユダヤ人のやうに、經濟的の理由から社會生活を隔離されて、從つて民族的、宗教的に孤立して、異種族との結婚が行はれないと云ふやうになつたら、日本人の世界的發展の上に大いなる障害となる。

二

或る國民が外國人との結婚に困難を感ずると云ふのは、人種の問題ではなく經濟の問題である。體質の相違とか、風俗、性格の相違といふやうなことは、或る點まで顧慮さるることで、國際結婚の上の根本問題ではない。在米日本人が外人との結婚に於て、最も障害となるものは、日本人の全體としての經濟的水準の違ふことである。それは結婚當事者の經濟の問題もあるが、それよりは在米日本人の全體の經濟的地位である。日本人がアメリカに同化するといふのが困難であるといふのも、皮膚の色や、骨格の問題でなく、全體としての日本人社會の生活の標準、組織、態度と云ふやうなものが、個人的でなしにアメリカのそれと一致しない、と云ふことで支那人、朝鮮人なども又其の點から外國社會との調和が困難である。

然らば日本人は、外國人との結婚をなるべく自制することが必要であるか、個人的にはさう云ふ意見を持つて居るものが多いと思はれるが、併し海外に出て外國人の間で生活する人々が、その地に安住して發達しようとする場合に、その國人との結婚を開始すると云ふやうなことは、意味を成さないのみならず有害の態度である。その上に生活の接觸は自ら男女の愛情を導き出すものであるから、自然結婚のことが行はれるのが順序であり、正しい道である。

三

併しそれがためには、どうしても日本人の生活が、國際的に一定の水準に達しなければならない。それには二つの條件がある。第一は上層のそれで、日本の產業組織が國際的に資本主義的共同關係を發展させることで、これはブルジョア生活の國際主義である。今一つは日本の勞働狀態が、それに應じて世界的の勞働階級の水準に達することである。これはプロレタリアの國際主義である。この二つの方面における國際主義が成立すれば、國際結婚は問題でもなくなる。ブルジョア側の國際結婚は、今日でも最早經濟的には障害が大部分排除されてゐる。從つて圓滿に進行してゐるのが多いやうである。さう云ふ場合には障害は、その自然の國際關係を末消的の道德や因襲で妨げることである。家庭の秩序、習慣、道德と云ふやうなものが、日本は特に西洋一般と異なつて封建的である。この封建的な習慣や道德は、家族主義がある程度まで保存されてゐる日本では倚或る力を持つてゐるに相違なく不必要にそれを破ると云ふことも無益のことだが、併し最早若い男女の間にはそれから解放されてゐるものが多い。主として親達と別居する主義が行はれて居るのもその故である。況んや外國人と結婚でもしやうとする者は、それらの點に就て極度に自由主義的でなければならぬ。往々家族主義と衝突して國際結婚が破綻すると云ふことがあるが、これらの多くは男の側に罪がある(それは外國婦人を娶つた場合)日本流の家族制度に從つて馴たらしめやうとするならば、初めから國際結婚は避けなければならない。例へば夫の旅行の場合などに、妻が極めて自由な行動をとると云ふやうなことは西洋には有勝ちなことで、さうした態度を問題にすると云ふやうなことは夫が日本流に還元したもので、結婚當初の精神を裏切つたとも解せられる。

四

妻の忠實と云ふやうなことも、多くの外國では日本のそれとは全く意味が違ふ奴隷的服從とは理解してゐないのであるから、日本の家庭に入つて直に日本流に振舞うやうなことは不可能である。

プロレタリアの國際結婚は、その點に於て故障の少ない筈だが、これは旺んに行はれてゐるかどうか、統計的に詳らかでないが、ブルジョアのそれほど比率が高くないと思はれる。それは西洋人が東洋人と結婚する場合は、經濟並びに身分と云ふやうなもの、高いことをもつて、人種の低いこと、相殺するやうな、無意識の計算をなするものが多いからでもある。日本に來る外國夫人の多くは、日本人の經濟的水準を知らないので、留學生などが比較的豐な生活を西洋で行つてゐるのを見て、日本の生活を推定するので、日本の家庭に入つて見ると始めて現實を知つて失望する。その結果、その不足を何かで補はうとして破綻の原因を作るのである。プロレタリア側に國際結婚の少ないのは、初めから計算が成立たないからで、さうした計算が成立たないからである。これは計算と云つても無論謀勘定をする譯ではない。生活の標準を考慮する譯であるから、西洋人としても決して非難すべき態度ではない。從つてそこに不足がある時に破綻の原因を作るやうになつても、強ち非難は出來ない。

五

結婚は多くは理性的判斷を無視した情操から起るので、同國人間のやうにさうした社會的の生活や經濟の問題が、互に理解されてゐるところでは、そんなことは考へないでもよささうだが、それでも生活の標準の問題は結婚する人々の忘れてならないものである「急いで結婚し、靜かに後悔する」と云ふ言葉があるが、それは強ち氣風や、性格ばかりの問題ではない。國際結婚の場合は、特に社會的、經濟的事情を念頭におく必要がある。

六

併し我々は出來るだけ國際結婚が行はれ、男女がお互に勵まし合つて、その社會的、經濟的困難を克服し、圓滿な關係を發展さして行くことを希はねばならぬ。それは日本人同志の間でも、生活の標準の違ふものはどし／＼結婚して上層、下層の經濟の相違、風俗習慣の差別などを克服し、圓滿な結婚生活を遂げることの望ましいのと同じである。

七

優生學上雜婚の利害は色々に説かれてゐるが、我々は純粹種の保存のために雜婚を抑制するなどといふ、出來ない相談を問題とはしない。事實上、人間は盛んに雜種を作つて行くもので、生物學上どうあらうとも、世界は人種の混合をもつて發展して來たのである。盛んに國際結婚の行はれるところにだけ進歩がある(完)

華故鼎新

滿洲國司法總長 馮涵清

滿洲日報元旦特刊

醒時之鐘

省長 臧式毅

景運方啓
獻歲發春
王道立國
其命維新

滿洲建國第二年 謝介石

酉年生れの名士

◇…今年はとり年だ、酉は鳥に通じ飛躍的な景氣のいゝ年だ、このいゝところで大正十年生れの十三歳明治時代にいつて四十二年生れの二十五歳、三十年生れの三十七歳十八年生れの四十九歳、六年生れの六十一歳、お年寄りでは文久元年の七十三歳、嘉永二年生れの八十五歳といつたところだ

◇…さて、このあたり年の名士を各方面から拾つてみるとまづ眼につくのは大正昭和政變の大立物西園寺公望公がある、公は嘉永二年生れだから今年八十五歳の老齡だ、公は國家の元老ではあるが、一世に傑出した英雄でもなくまた偉人でもない、たゞ尊敬すべき人格者である、誰かゞ公を評して「徹人」だと云つてゐるが、まつたく穿ち得た妙評である「徹人」は哲人に通ずる如く公はあらゆる方面に透徹した批評眼を持つてゐるまたあらゆる方面に趣味をもつてゐる人物

◇…その趣味を見ても公が偉大なる政治家であることがうなづける、公の生涯で最高潮だつたのは明治の晩年から大正の初頭にかけた政友會總裁時代であつたらう、當時公が長州軍閥の寵兒、非政黨主義の嫡流桂太郎と堂々旗鼓の間に見えて華々しい一戰を交へたことは今なほ政界における有名な話柄だ

◇…公の政治家としての功勞は第一次桂内閣の後をうけて總理大臣となり、社會主義對策を高揚し前内閣の關引政治を排撃して「日本社會黨」の結成を認め、彼等をして實際政治の運營に參加せしめたことであらう

◇…近くは齋藤内閣出現に際しても當時の國際政局と社會狀勢を察知し、よく元老としての責任を盡した功績はあまりにも生々しい事實だ、公は老來益々かくしやく日本の立場愈々多難なる折柄公の自愛を切望して熄まない

◇…文久元年の七十三歳に内大臣牧野伸顯伯がある、伯はかの大久保甲東の二男に生れた名家の出だ、第一次西園寺内閣に文相、第二次桂内閣に農相、第一次山本内閣に外相として三度閣班に列したしかし伯の大臣としての手腕は文相たりし時代、東北、九州兩帝大を創設した以外何ものもない、大正六年波多野子の後をうけて宮相となりその後内大臣の重責について、内外の時局多端なる折柄園公と〻もに伯の壯健を祈る

◇…明治六年生れ六十一歳のとり年は多士濟々だ、まづ華水と號して俳句をよくする商工大臣中島久萬吉男がある、實業界にその人ありと知られる富士ガス、横濱生糸、横濱正金の各重役森村市左衛門男もこの年だ

◇…この外華冑界には宮内省の本多正復子、海軍少將で貴族院議員の花房太郎子、同じく貴族院議員伊井直方子、同じく貴族院議員の渡邊七郎、裏松友光、三室戸敬光の各子、伊藤安吉、小畑大太郎、前島彌、伊藤文吉の各男がある

◇…代議士中にもまた相當數のとり年生れがあり、かのゴマ塩頭に四角な赭顏、剛腹で有名な鈴木寅彦もとり年だ

◇…境利彦があんな傲岸な男は珍しいといつたほど、どこかに不遜のところがあるが、政治家としての將來は例のガス疑獄に累されてはゐるもの〻大いに伸びる素質を持つてゐる

◇…この外政友會所屬代議士中には佐賀の石川又八、農村問題の研究家の新潟の加藤知正、當選五回の古强者兒玉右二、美髯家の北海道の佐々木平次郎、長崎の森肇、志波安一郎などがある

◇…民政黨所屬代議士には例の長髯にいろ／＼なエピソードをもつてゐる元農林次官で栃木の高田耘平がゐるまたかつて文部次官たりし富山の野村嘉六も六十一のとり年だ

◇…一廻り若い明治十八年生れの四十九歳もまた恰好な年だけに各方面に知名な人物が多い、まづ非常時日本を背負つて立つ軍部を眺めると用兵作戰の本陣參謀本部第三部長小畑敏四郎少將が眼につく、同少將は眞崎參謀次長系の人物として永田鐵山少將と並稱される後進、未來の大臣として囑目されてゐる

◇…またさきに滿洲建國に活躍して同國顧問となり再び奉天特務機關長に返り咲いた板垣征四郎少將もとり年だ、この外參謀本部勤務の侯爵前田利爲少將があり、海軍には前侍從武官で現馬公要港部司令官の山内豐中少將、軍令部參謀で明治神宮々司有馬良橘大將の長子有馬寛少將がある

◇…「いゝ政治家となるには賣れつ子の藝妓を見習ふがいゝ」と喝破した研究會の領袖小笠原長幹伯もとり年、この外代議士中には滋賀の服部岩吉、兵庫の濱野徹太郎、山口の西村茂生、愛知の小笠原三九郎、島根の沖島鎌三、沖繩の竹下文隆、靜岡の永田善三郎、大分の野依秀一、現に遞信政務次官たる岐阜の牧野良三、奥佩學の政治顧問たりし岡山の小谷節夫、衆議院切つての柔道の大家七段福岡の宮川一貫、日本農民組合の育ての親で社會大衆黨唯一の代議士大阪の杉山元治郎、靜岡の岸衛、大阪の青田勝晴などがある

◇…明治三十年生れの三十七歳には、畏多くも博恭王殿下の第一子におわす伏見宮博義王殿下が居らせられ、また朝鮮王族の昌德宮李王垠殿下もまた同年の御生れのとり年であらせられる

◇…衆議院切つての大男で二人前の座席を必要とする東京選出の坂本一角も同年生れだ、尚明治四十二年生れの二十五歳には、畏くも恒久王殿下の第一子におわす竹田宮恒德王殿下が居らせられる、とり年生れの人々に榮光あれ

賀正

哈爾濱・旅順

哈爾濱

哈爾濱事務所 所長 宇佐美寛爾 / 庶務課長 押川一郎 / 運輸課長 高畑誠一

石炭商組合

哈爾濱電政管理局長兼吉黒郵政管理局長 岐部與平

北滿電氣株式會社 專務取締役 高橋貫一

國際運輸株式會社 剛崎虎雄

哈爾濱醫師會

飲食店組合

吉村洋行

哈爾濱日本商工會議所 會頭 加藤明

宗像金吾

朝鮮銀行哈爾濱支店 箱崎文爾

正隆銀行哈爾濱支店 森惣兵衛

哈爾濱日本居留民會 理事 山口順平

哈爾濱輸入組合 理事 横田提壽

勝家正勝

哈爾濱土地建物株式會社

滿洲文化協會 哈爾濱俱樂部

松浦洋行

前田時計店 前田利男

熊澤洋行

ジャパンツーリストビユーロー

萩原紙店

大塚日進堂藥房

原田藥店

中島化粧品雜貨店

村田吳服店

大島電氣

ハルビン埠頭區 井上商務旅館

ハルビン埠頭區 ハルビンホテル

ハルビン埠頭區 花屋ホテル

ハルビン埠頭區 北滿ホテル

ハルビン埠頭區 北興ホテル

ハルビン埠頭區 東洋ホテル

ハルビン埠頭區 鶴屋旅館

ハルビン埠頭區 名古屋ホテル

ハルビン埠頭區 ナショナルホテル

ハルビン埠頭區 大和旅館

ハルビン埠頭區 滿洲ホテル

ハルビン埠頭區 二葉旅館

ハルビン埠頭區 紅葉旅館

ハルビン埠頭區 朝日旅館

ハルビン新市街 佐賀ホテル

ハルビンモストワヤ街 トモエ洋服店

旅順

旅順市敦賀町 支那料理 德興樓 電話四三七番

御宴會、御歡送會は是非…… つぼみ 電話二八一番

旅順市敦賀町 和洋御料理仕出 食道樂 電話三〇五番

旅順市乃木町 きむら肉類部 電話六一三番

旅順市敦賀町 スパローカフエー 電話三〇九番

旅順市乃木町 カフエーミス・ヨシノ 電話四七八番

旅順市乃木町 カフエーミハラシ 電話三六四番

旅順市乃木町(滿電前) 旅順タクシー 電話五六〇番

旅順市敦賀町(婦人病院前) 滿洲タクシー 電話二六二番

旅順飲食店組合(いろは順)
伊勢屋 富の家 こもゑ 千代乃家 千歳クラブ料理部 大阪屋 大迫屋 太樂 つぼみ 奴壽し 松屋 文化亭 きむら 有美堂 新更科 スヾラン

旅順料理屋組合(いろは順)
一力 西町 / 蛤亭 同 / 濱屋館 柳町 / 東洋軒 西町 / 吉田屋 川端町 / 旅島屋 同 / 松葉 十年町 / 滿月樓 川端町 / 京城樓 同 / 榮福樓 西町 / 吾妻樓 同 / 堺 朝鮮町 / 遊樂 / 新世界 西町 / 新萬歳 同 / 笑福樓 川端町 / 春海館 東町 / 昭和樓 川端町

旅順五花會(いろは順)
彌生 靑葉 君の家 新花月 瓢亭

青葉町街燈維持會(いろは順)
池田洋行 電話七四番 / 御菓子 泉屋 / 原田時計店 電話六七六番 / 早瀬商店 電話六四一番 / 新見時計店 電話八〇四番 / 岡女庵 電話〇三五番 / 大阪屋號書店 電話五一二番 / 吉野洋品店 電話八六一番 / 谷疊店 電話八四五番 / 高治洋行 電話八七番 / 釘島商店 電話一六一番 / 山口商店 電話四九二番 / やまこ軒 電話九三四番 / 山本商店 / 中野日界堂 / 松崎紙店 電話二八一番 / 文英堂書店 電話〇七二番 / コンパル食堂 / 瑞章堂印房 電話六三番 / 喫茶店 スヾラン 電話八一六番

敦賀町共榮會
井上玩具店 電一三六 / カフエー松金 / 玉屋モスリン店 電九二二 / 熊井洋行 電六六七 / 安永商店 電三九三 / ヤマ一履物店 電五〇二 / 小森運動具店 電五〇一 / 食道樂きむら 電六一二 / 三笠堂 / 昭和クラブ / 久富商店 電四二九

(イロハ順)
乃木町 御履物 栗田商店 電話三四一番
敦賀町 御履物 ヤマ一號 電話五〇二番
乃木町 みやこ履物店 電話六五九番
乃木町 村瀬履物店

滿蒙は招く　賀正　旅順　無限の宝庫

關東廳高等官食堂

關東廳財務局長　西山左内

旅順民政署長　米内山震作　外署員一同

旅順警察署長　關東廳警視　青木昇

關東廳旅順療病院　院長　大津尚

關東廳旅順醫院長　醫學博士　渡邊信吉

關東州海軍駐在武官　佐世保鎮守府附參謀　海軍大佐　久保田久晴

旅順衛戍病院長　陸軍一等軍醫正　矢澤弘水

旅順高等公學校長　横佩章吉
旅順第一中學校長　今井順吉
旅順高等女學校長　平田芳亮

旅順市會議員一同

旅順市鯖江町五一　米岡法律事務所　米岡規雄　電話二六〇番

旅順市役所　助役　蔭山榮太郎

旅順郵便局長　尾立米喜
新旅順郵便局長　片桐壽八

千藏俱樂部

旅順工科大學談話會

關東廳内　關東州水産會　電話四七番

旅順市嚴島町　關東州水産會旅順魚市場　電話六二九番・六五番

日本赤十字社滿洲委員本部

旅順刑務所長　典獄　永田正之助

(いろは順)
鮫島町　稲富藥店　電話五八七番
乃木町　田中藥舗　電話三三六番
青葉町　萬代號藥房　電話四二八番
青葉町　宮竹藥店　電話一七〇番

小野田セメント一手販賣店　鋼材、金物　電氣、鑛油　村上信二商店　旅順市乃木町電話一二〇番

旅順市乃木町二丁目　陸海軍御用達　大西商會　大西重次郎電話二五三番
朝日町市場内　食料雜貨　大西商會食料部　電話六三一番

旅順金融俱樂部
朝鮮銀行旅順支店
正隆銀行旅順支店
旅順無盡會社
旅順輸入組合
キンユウクミアイ

大日本優等清酒　神代　銘酒　清酒　神代　醤油並　味淋　備後屋　神田商店　旅順市乃木町　電話三二三番

旅順市新市街旭川町　鎌倉保育園旅順支部　電話五五四番
大連市老虎灘　鎌倉保育園大連分園　旅順支部　電話六九九三番

旅順市乃木町三　海陸運送　大六運送店　電話四六七番

旅順市鯖江町　旅順競馬俱樂部　電話一九三番

旅順市乃木町三丁目　醤油味噌醸造　吉村商會　吉村勝一電話一三二番

旅順市末廣町　旅順活版所　小島龜太郎電話一五六番

旅順市乃木町　新鮮第一　渡邊果物店　電話四三二番

旅順市嚴島町　水産業　木野村間太郎　電話四九五番

旅順市青葉町　電氣器具、參宮ラジオ商會　河合朝雄電話四一八番

旅順市鯖江町　代書　福永新七事務所　電話三九〇番

旅順市乃木町　中山洋服店　電話三二九番

旅順市敦賀町　島村洋服店　電話一七九番

旅順驛前　雞卵　りんご　月見農園賣店　電話六二〇番・振替大連二七四一番

旅順市明治町　銘酒醤油醸造販賣　北川酒店　北川鶴之助電話四七番

旅順新市街中村町　内外圖書　雜誌　文房具　多以良商會出張所　野中義雄電話六六九番

旅順市敦賀町　新古和洋　海渡衣服店　電話五四四番

旅順市鯖江町(警察署隣)　代書　吉安克道事務所　電話四〇四番

旅順市八島町二　輕船運送　船造　望月春吉　電話六三四番

旅順市末廣町三五　和洋家具　装飾製造　村田家具店　電話二六番

旅順市新市街松村町　御菓子　花園　電話五八三番

旅順市乃木町三　宮地疊店　電話一九四番

旅順市鮫島町一　寫眞出版　印刷出版　玉井寫眞工藝所　玉井紫水電話三九九番

旅順市敦賀町　日本煙草　官煙販賣　佐藤組　甲斐和太郎電話三二五番

旅順市乃木町　本田組　本田與市電話四二一番

御旅館　寶來館　乃木町電話五六番
御旅館　防長館　青葉町電話二八三番
御旅館　旅順ホテル　青葉町電話三六七番

旅順質屋組合

旅順市富士町　滿洲蠶絲株式會社　電話五六七番

旅順市乃木町三丁目　本田商會　本田治三郎　電話四二七番・振替大連一五四九番

旅順市忠海町　土木建築請負業　磯谷拾吉　電話六〇六番

書畫骨董、寶石、毛皮、家具類　後藤勇太郎　末廣町二二電話四三九番

各種銘茶　茶器類一式　丸山茶舗　乃木町二丁目電話一六八番

諸官衙御用　山田活版所　山田李次　乃木町電話五四番

土木建築請負業　久野順吉　鮫島町一ノ七電話一五三番

土木建築請負業　築島組　築島米藏　旅順市乃木町二丁目電話三九七番

旅順市乃木町三丁目　製靴　トロンコ　澤豊太郎商店　電話五二〇番

◎マルミヤ舞樂部創立　樂器　蓄音器　和洋雜貨　◎旅順五番滿洲會摘元　マルミヤ商店　旅順市乃木町三丁目電話六六六番

和洋雜貨　藤井洋品店　新市街松村町電話五七番

迅速叮嚀　齋藤寫眞館　中村町八番地電話六六三番

諸官衙御用達　久野商店　久野儀一　敦賀町電話一四九番

銘酒　櫻正宗　金水商會　乃木町電話一〇六番

旅順新市街松村町二ノ三　オカノ歯科醫院　院長　岡野忠衛　電話五一三番

旅順新市街鎮遠町　成田醫院　成田彦次郎　電話一〇九番

滿洲記念品　支那土産品商　東京堂
本店　旅順市乃木町三丁目　電話六一番　振替口座大連一六六七番
支店　大連市銀座通本町角　電話二二九五番　振替大連四〇五番

旅順市八島町　竹森病院　院長　竹森哲三郎　電話一四二番

土木建築請負業　石井組　石井本一　旅順市名古屋町一九電話一一三番

滿鐵撫順石炭特約店
本溪湖煤鐵公司代理店
千代田生命保險相互會社代理店
朝鮮火災海上保險株式會社代理店
日本麥酒鑛泉株式會社特約店
海軍酒保食品御用達
一般倉庫業
旅順倉庫經營　倉庫所在地朝日町一丁目
石炭商　旅順市八島町(電話三二一番)
出張所　滿鐵貯炭場構内　電話三〇六番
矢幡商會

石炭商　滿昌洋行　旅順八島町　貯炭場　電話一四七番・一六六番

旅順市嚴島町　製鹽業　矢原商會　矢原重吉　電話八一・四四六番

建築請負　官省材料販賣　大谷守　旅順市名古屋町八番地電話七五二番

旅順市大津町一八　宮澤疊店　宮澤猛雄　電話四九二番

旅順市乃木町　麻雀　玉突　寶來俱樂部　電話六四番

旅順市乃木町　自動車部分品　販賣及修理　德永商店　電話四七五番

旅順市新市街(鎮遠町)　小梨歯科醫院　電話六五一番

旅順市金比羅町　トラスト製造元　タイハンストーブ販賣　石井榮一　電話三七番

旅順市大津町　土木建築請負　木下豊一　電話二二五番

旅順市乃木町　ガクブチ　アルバム　文房具　マルゼン商店　電話六〇九番

旅順市敦賀町　塚澤歯科醫院　電話三四二番

旅順市乃木町　自轉車　附屬品其他　田村商會支店　電話五一〇番

旅順市鯖江町五十番地　酒王　富久娘　入江商會　電話一九〇番

呉服　宏記　電話三一八番
精米工場　電話六六一番

旅順市八島町　井上釣具店　電話六〇四番

旅順市乃木町　蓄音器　櫻井時計店　電話一九五番

明治製菓株式會社　東京菓子株式會社　新高製菓商會　特約店　卸問屋　山岸洋行　旅順市乃木町三丁目　電話四五四番

旅順市乃木町三ノ二〇　齋藤洋服店　電話六五六番

旅順市乃木町　和洋諸雜貨　小間物毛系類　友田商店　電話四一六番

旅順市乃木町　陸海軍御用達　精肉　金太屋　電話二七五番

滿電驛前タクシー　電話五二三番

ヒグチスタヂオ　寫眞機械　材料販賣　樋口寫眞館　大連連鎖街常盤町電話二二三〇番　旅順市青葉町四二　電話四一七番

陸海軍各官衙御用達、船具、金物　機械、綿糸布、タオル其他諸納入品一式　センターストーブ特約販賣店　岳南公司　旅順市乃木町三ノ六六　電話三八二番

諸官衙御用達食料品雜貨　齋藤商店　電話一七六番

旅順市乃木町二丁目　土木建築請負　和田武吉　電話五八八番

和洋雜貨　ふたば屋　旅順市乃木町　電話六一一番

土木建築請負業　森谷吉五郎　旅順市乃木町三ノ二八　電話四八三番

裝飾煉瓦及煉瓦土管製造　小林治作　金比羅町八　電話五二五番

疊製造　輿石商店　輿石久作　大津町一六　電話三六〇番

土木建築請負　山村組　大津町　電話五八九番

歐米諸雜貨、内地各新聞取次　外山洋行　旅順市青葉町　電話三四一番

土木建築請負業　川谷竹次郎　伊知地町三三　電話四七三番

食料雜貨　山口屋　山口清輔　市場内　電話五四一番

深川歯科醫院　青葉町　電話四七六番

近江屋呉服店　乃木町三丁目　電話七九番

旅順市朝日町　柏木鐵工所　柏木正三郎　電話一八三番

旅順市乃木町(郵便局前)　電機販賣　修理釣具　金澤屋　涌波初三郎　電話五〇八番

旅順菓子信用組合

材木、建築材料　西野商行　旅順市乃木町　電話六八番

土木建築請負業　前西熊市　大津町四一　電話三四三番

井町商店　朝日町魚市場　電話三三二番

旅順市西町三九　山下鐵工所　山下好太郎　電話五〇九番

寫眞器械、材料薬品、寫眞撮影　南滿公司　旅順寫眞館　乃木町三丁目交番横電話四七二番　振替大連一八二九番

表具商　原榮年堂　旅順市敦賀町　電話五三三番

旅順機泉社　サクラ印サイダー、シトロン製造所　那須梅吉　電話二一八番

乃木町三丁目　ゑびす居呉服店　電話一三〇番

圓橋商會　西田泰助　乃木町二ノ一九　電話一四〇番

旅順市新市街松村町二二　成松寫眞館　電話二五九番

土木建築請負業　清住泰一　鯖江町二一　電話五三四番

土木建築材料　廣垣治助　忠海町　電話三〇七番

賀正

大連

大連火曜會々員

（イロハ順）

市川健吉　入江正太郎　藤本實　林博太郎　八田嘉明　原田光次郎　長谷川吉次　濱田周洞　羽田公司　西一雄　十河信二　小川順之助　小倉鐸二　岡本誠　奥田千之　和田敬三　永井四郎　神成季吉　貝瀬謹吾　河本大作　高柳保太郎　高見三吉　谷川善次郎　高田友吉　田所耕耘　田村羊三　武部治右衛門　竹中政一　士屋信民　築島信司

根橋禎二　中澤正治　中村謙介　村田懿麿　村井啓太郎　村井啓次郎　村上義一　瓜谷長造　日下辰太　山西恒郎　山崎元幹　山口啓三　增田義男　古澤丈作　福本順三郎　小林和介　藤田臣直　藤根壽吉　古田廉三郎　伍堂卓雄　寺田虎次郎　阿部重兵衛　楊井勇三　相生由太郎　佐藤應次郎　佐藤至誠　佐藤俊久　櫻井學　斯波忠三郎　杉野耕三郎

奉天省警備司令官 上將 于芷山

關東廳遞信局 高等官一同

大連市内中等學校長一同

旅順要塞司令官 陸軍中將 安藤紀三郎

榊谷仙次郎

大連市乃木町 入江琴次 電話六八八六番

井上輝夫

[illegible]

山本條太郎

榊田實造

石井至三郎

田中知平

[illegible]田正吉

日本生命保險株式會社 大連市大山通五八 段塚保居

土田寛一 大連市西廣場三十四番地 土田寫眞館 電話（四）〇三三 （四）二四六番

[illegible]孝治

岡常次郎

堀尾成章

守中清

日滿通信社長 津上善七

高岡又一郎

松内龜太郎

宅昌一

向陽社主 首藤俊雄 大連市春日町 電話七二六九番

坂本泰通

長谷川甚雄

臼井侃治

大連市役所課長一同

大連醫院分院 同壽醫院一同

橋本成子郎 滿鐵經理課

三澤重義

前川郁夫

大馬春三

荒川泰 大連市大山通四二

日下卓四郎 大連市三河町二 電話三三六七番

大谷藤七支店 大連市濱町三丁目 電話七〇四一番

大連市會議員（イロハ順）

一宮章　西田猪之輔　千種峰藏　直塚芳夫　山口十助　松浦開地良　古泉光男　志村德造　菅原恒男

日本賣藥株式會社 大連支店 大連市浪速町一四七 電話六一三九番

建築材料 藤川商店 大連市入船町二 電話四六三九番

畑中商店 大連市吉野町四十一番地 電話七六三 二二九 七一四 七九五番

露西亞毛皮貿易商會 大連市大山通り三十六番地（林洋行隣） 電話二一八一八番

直輸入貿易 滿德洋行 大連市信濃町六二 電話二一九一九番

合資會社 大連洋行 大連市連鎖街廣小路 電話二二五三 六〇二五番

鮮魚、蒲鉾 羽月商店 本店 大連市西通電話四五四三番 賣場 信濃町市場電話七二九六番

榮商會蓄音器店 大連市伊勢町五二 電話八三九〇 大連市連鎖街心齋橋通電話二二〇七

大連市會議員一同（次第不同）

志村德造　西田猪之輔　松浦開地良　森川莊吉　菅原恒男　一宮章　直塚芳夫　五十崎正大　千種峰藏　恩田明　石川良三郎　大内成美　三田芳之助　立石保福　龜澤福禎　相川米太郎　有馬邊　古泉光男　芦刈末喜　高塚源一　山口十助　高橋猪兎喜　今村貫一　矢野靜哉　旅谷直治　上原進　小野實雄　田中宇一郎　若月太郎　桑野彌一郎　蔦井新助　笠原博　張本政　麗睦堂　邵慎亭　劉仙洲　許億年　黃信之　周子揚

市會書記 野口一二

CURIOUS SHOP

國難日本刀（10）

高桑義生作　京極佳夕畫

仇敵邂逅（三）

血なまぐさい殺人沙汰は、江戸と京都のはやり物だつた。文吉が飯覺と呼ばれた薩州の田中親兵衛に斬られて、三條河原にさらし首になつたのは、去年の秋の事。だが、その首がにせ首であつたとは――とまれ、かうして眼の前に、執拗な眼を光らし、辛辣な言葉を吐いてゐる男、間違ひもない文吉なのだ。

彼は薄い唇に、異様な笑ひを見せて、お千の方に寄つて來た。お千は、警戒して一足引いた。

「お千さん……」

「何だといふのさ。用があるならさツさと言ひな」

「何も、そんなに木で鼻をくゝるやうにいはなくてもよからうぢやねえか」

「おほゝゝ、お前は御用聞、あたしや女白浪――と、まあいはれてゐる。犬と猿より仲が惡いのは、

あたしやいつまでお前のやうな者を相手に、しやべつてゐるのは御免だよ。ぼつ〳〵出かけるから、御用といふなら、今のうちだよ」

お千は懷中に秘めた短銃を握つた。そして身がまへながら、睫をめぐらさうとする。

「おツと待つた。お千さん、おらあ本氣で用がある」

「だから……」

「お前には、わかられえのか」

文吉は彼らしくもないため息をついた。

お千は涼しい顔で

「そりやお幕府の犬の氣持なんか……」

何處までも挑戦的である。

「なんだと？」

「お前とあたしとは、先の世からの仇同士、生涯憎み合つてるのが本當なんだよ。だのに、なまじ人間らしい料見なんか出さうとするから、親方の腕も鈍るといふもの

あたり前だよ」

「そりやあさうだが、お前もおれもおなじ人間だ。人情がねえわけでもあるめえ。これでも、おいらはずゐぶんお前に親切をつくしたつもりだぜ」

「おや、お前の口から、人情なんて言葉を聞くのは、泥棒に三分の理よりも、もつと不思議に聞えるよ。それに、何だか知らないが、ありがたくもない親切呼ばはり、あたしにはわからないよ」

「これまでお前を放つて置いた――文吉の憐とは思はれえのか」

「御冗談でせう。醜茶ものだよ。遠慮なしにやつておくれよ」

「やつぱり女だな」

文吉は度しがたいといふ氣持で

「まあ、さう思ふのは仕方がねえとして……お千さん、いくら口で啖呵つて見ても、お前は女だ。いつまで文吉に楯をつけると思つてゐるのか。おいらが本氣でかゝつたら、疾うにお前はお手當ものだ。それを斯うして無事でゐるのは……」

「おいとくれ。聞きたくもない……」

お千は、相手のしれくどい言葉に、腹が立つて來た。

「親方、ちやうどお前と二人きり。誰も邪魔する者はないのだから、その本氣でかゝつたらどうなの？

可哀さうなものさ」

「ちえツ、それぢやあどうでも……」

「知れた事さ。お千にまともな口が利きたいなら、生れ變つて來るがいゝ。あたしやこの世の中で、お前ぐらゐ嫌ひなものはありやあしないよ」

「…………」

文吉は熱鐵を飲むやうな思ひがした。

「天地がさかさまになつたところで……お氣の毒さまだね」

お千は冷艶な笑ひを見せて、十手の鋼環をさげた。

若葉が、闇に生々しく薫つてゐる。

キネマと演藝

「初夜に鳴く雉」　檢閲を通過

正月の婦人雜誌を一齊に賑はしてゐる鳥潟博士令嬢の結婚事件を取扱つた各社唯一の際物映畫となつた久保文憲監督松浪繁及川静江主演の寶塚キネマ作品であり而も内地では檢閲保留になつて更に好奇心を煽つてゐる（五日から映樂館）

タ・ー・ザ・ン　メトロ超特作品　日活館封切

名篇「トレイダホーン」を製作したヴアンダイク監督が再び放つた物凄いクリーンヒツトだ。各階級を通じて大衆ファンを樂しますに娯樂映畫として恐ろしい程の吸引力を持つた映畫である。

……◇……

その獵奇的なストオリに寸分の隙もないコンチニユテイを以てヴアンダイクは手馴れた手法を縦横無盡に使驅して素晴らしいスリルの連續でファンをノックアウトしてゐる。

……◇……

例へばライオンとターザンの組打ち、鰐との息詰るやうな競泳、象群の來襲等々ジャングル映畫の魅力である、凡ゆる猛獸と活躍せしめ、そして美しい實寫とセツトとトリツクの巧な融合を以てたゞ驚嘆の聲を發せしめる手腕は敬服の外はない。而もエロ味も充分に盛つてゐる點は更に申分のない狙ひ處である。

……◇……

それにこのトリツクの勝利ともいふべきジャングル映畫に世界水泳界の巨人ワイズミユラーが主演して猿の如く俊敏にジャングルに活躍してゐるのが全篇に鮮やかな生彩を加へてゐることが特徴される。

……◇……

この一篇トリツクと實寫とヴアンダイクとワイズミユラーが渾然協力して獲得した娯樂映畫の傑作品として觀賞するところなく凡ゆるファンに推薦し得る映畫である

酒井雲二日目讀物

元旦晩日で大連劇場に開演した文藝浪曲酒井雲一行は大入滿員の盛況を呈してゐるが二日目讀み物左の如し

名馬の譽れ荒葉▲衆の平内雲丸▲不動薫吉雲二▲佐久間鉄昇▲乃木將軍金時▲水戸黄門薬水▲人間光秀、眼録に笑ふ酒井雲

森静子、沙河口へ

目下映樂館に出演、舞臺挨拶と舞踊でファンに御目見得中の新興キネマ女優森静子は本日から晝夜二回沙河口大日活館に出演し西部大連ファンに御目見得する、なほ二日及び四日の兩夜九時頃から檢番ホールの歡迎舞踏會に出席する

うさわ話

あけましてお目出度う、と年始廻りの客が殺到して元旦興行は夜間に入つて俄然各館とも大入滿員▲而も寶館を除いて各館申し合せたやうに木戸が同じで一九三三年は幸先よしと大喜び、景氣は興行界から▲映樂館は森静子の來演が人氣を呼び夜間のイレコミにお客が一時に押しよせ入口のガラスを破られる騷ぎ▲日活館は初詣でを狙つて大連神社の社頭で宣傳のおみくじを配布したところお賽錢をおく人があるので堀田宣傳部長、これには弱りましたと初放送。

本社特選　新棋戰（其六）

平手　先四段△中村熊治　四段▲建部和歌夫

【圖は二三香迄の局面】中村氏持駒香歩四ツ

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
v香	v桂				v王				一
	v飛			v金		v金			二
v歩			v歩		v歩	v桂	v歩	v香	三
		角	v銀			v銀			四
									五
							飛		六
歩	歩		歩	銀	歩				七
	銀	金		金					八
香	桂		玉				桂		九

建部氏持駒角歩二ツ

▲八四飛　△五六角
▲二五銀　△二八飛
▲五五銀　△五三歩
▲同金　△五四歩
▲同飛　△六五角

【土居八段講評】中村君は形に於て五六角と引くべきが至當なるも、斯う指しては敵に次第にその角を壓迫されつゝ攻めらるゝ慎れあれば、目下駒徳を頼みに九の五四歩打に對し若し同金と指しては八六香と打たる、慎れあるを以て本譜の同飛は已むを得ない策であらう。

【萩原六段解説】建部氏の八四飛は敵に五六角と引かしてこの角を攻撃目標として五五銀の進出を含むものである、續いて五五銀は豫定の行動で敵角を攻めつゝ八四飛の中段飛車の活用を十分にする意味である。中村氏の五三歩は敵の陣形を亂す意味である。然るに二三成香では敵に五六銀と取られ三二成香、同玉、五七歩、六八金、二七歩と打たれて面白くないから五三歩と打つたのである。建部氏の五四同飛は同金では八六香と打たれ八五歩、同香、同飛、七四角、と出られて惡いので同飛と取つたのである。

大連　JQAK

一月三日午後一時

▲謡曲喜多流囃子「西王母」謡白井靖敏、笛菅原金藏、小鼓菅原蒼枝、大鼓板橋素好、太鼓白井光子

▲筑前琵琶勧進「朝海」法惣山横手旭嶂

▲義太夫「吉例曾我對面」淨瑠璃竹本佐太夫、三味線同旭勝、囃子杵屋連中

▲午後六時二十分ニュース（以下内地中繼六時三十分）

▲浪花節

▲人形淨瑠璃（七時）「假名手本忠臣藏一力茶屋の段」（大阪文樂座より）春日亭清吉、由良之助竹本津太夫、力彌同さの太夫、喜多八豐竹重太郎同文字太夫、彌五郎竹本相生太夫和泉太夫、仲居豐竹綾太夫、おかる竹本土佐太夫、仲居同濱花太夫、同同播路太夫、亭主同長尾太夫、九太夫同錣太夫、伴内同大隅太夫平右衛門豐竹古靱太夫三味線野澤吉兵衛、同鶴澤綱造（以下大連放送局より八時三十一分）

▲氣象通報

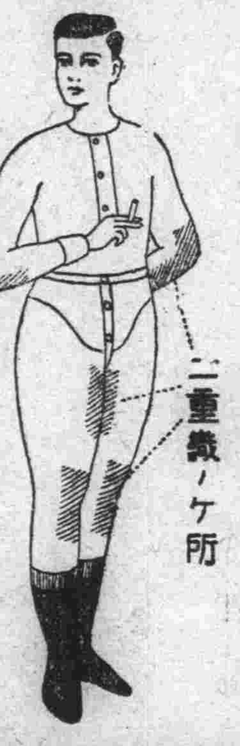
日下齒科醫院　大連市三河町二番地　電話三三六七番

KOREDA TRADE MARK Specially Made Sanitaly Under Wear

專賣特許　洗ッテ縮マヌバースモメリヤス

三大特長
1 洗ッテ縮マヌ毛メリヤス
2 傷ム個所ハ二重織
3 色ハ特別堅イ染

二重織ノケ所



發賣元　大阪市東區安堂寺町　富岡要藏商店

大連代賣店　大連市浪速町　野崎洋品店　東京百貨店洋品部　同伊勢町　大連百貨店十番洋品部　土井商店　其他滿洲各地洋品店にあり

最高滋養糖

コメット養糖

乳兒と病者への至寶
消化不要、滋養滿點
牛乳と養糖の混用は天下最上の榮養法

大阪今橋貳　東京本町三　株式會社黒田藥品商會

RYOTO HOTEL

二・三日 午後三時より 新年舞踏會
四・五日 午後三時より 新年假装舞踏會
各日共御食事付會費二圓お年玉も差上げます
遼東ホテル

スリッパ　靴中敷　各種　防寒用　實用　製造卸

名古屋市西區伊倉町一　ナゴヤ草履製造發賣元　信華商會　電話本四二五九番

移轉記念景品附大賣出し　抽籤番號發表

特等一本　二五三
一等一本　一四九
二等二本　二〇八　五一一
三等三本　七五　三四五　五二三
四等四本　八二　一一五五　一二二〇　一四四六

大連市彌生町（女學校隣）　友輪舍　電話（七九二〇）（六五七八）番

賀正

滿蒙は招く　無限の宝庫

鳳凰城・鷄冠山・洮南

鳳凰城

稲本農場 名物蜂蜜羊羹　稲本德松
驛長　原口吉次
太田瑞穗
杭木組合長　大道益夫
保線區　岡口德松
南大街川口醫院　川口伸治
郵便局長　柾一男
福岡洋行　福岡丈助
南滿蔬菜組合理事　篠田直次郎
平井大藥房　平井眞一郎
運送組合

鳳凰城々内　中川逸男　海老澤清
鳳城縣々長　康濟
財務局長　郭彦碩
教育局長　何泮林
實業局長　鄂復華
警務局長　楊開明
商會長　白玉衡
商會常務委員　李玉昌　趙治顯　趙連璧　韓鳳岐
稅捐局長　商鳴勤
農會副會長　佟熙綱
電燈公司經理　王銘玉
郵政局長　王宗武
農會長　秦嶺

鷄冠山

滿鐵公醫　尾崎平吉
滿電派出所　小笠原幸一
生絲商清酒醸造本舗　若松回春堂
米村運藏
松永平一
小杉輝男
驛構内賣店 御料理仕出し　小春

清酒義正宗醸造　定光號
鷄冠山驛　木村鉄次郎
御料理　菊水
御料理　夢乃家
郵便局長　江馬正壽
地方委員會　副議長 吉竹爲次郎　委員 小山音次郎　中山善七　謝粹忱　姚寶臣

洮南

洮昂鐵路工程局

齊克鐵路工程局

洮遼警備司令官　張海鵬

奉天省實業廳　洮南電燈廠

洮南縣公署　縣長 申振先　警務局長 許越衡　實業局長 孫炳輝　教育局長 于香九　參事 永井正　副參事 眞崎六郎　副參事 岩尾精一

奉天省實業廳洮南牧場　場長 范傳蔭　技士 濱田庄二

洮南商務會主席　張遇春

奉來縣縣長　李師泌

洮安商務會

洮遼軍騎兵第一支隊第一團　宋殿才

洮南　福豊恒

洮安　福豊達

御旅館　南滿旅館　洮南康樂街

食道樂　高砂亭　洮南康樂街

朝鮮御料理　蓬萊亭　洮南康樂街

賀正

錦州・貔子窩

錦州

憲兵隊本部

憲兵隊本部 隊長 谷本邦夫

錦州領事館 領事代理 中根良介

遼西警備司令部

西義一

錦州憲兵分隊

錦州憲兵分隊 分隊長 富田直澄

錦縣公署 縣長 谷金聲

錦縣公署 參事官 上杉益喜 副參事 阿部虎男

錦縣警務局 局長 宮文超

錦縣實業局 局長 蘇廣綸

興城縣公署

黑山縣公署 縣長 李銘三 參事官 村上輝文

錦州領事館警察署 署長 宇井寧

佐佐木彦七郎

錦縣電氣股份有限公司

奉山鐵路車務段 錦縣段長 孫有慶

錦州大馬路 雜貨食料穀物精酒 栗原洋行 電話一六九番

錦州金家屯 金鉢外一同

錦州城內北街 株式會社 滿蒙毛織百貨店 錦州出張所 電話二五番

關東軍錦州酒保 笹岡米四郎 電話一六二番

錦州汽車公司 矢津田之英 舊名 一人 電話一二九番

錦州城內南街 錦州ホテル 池田知賀良 電話六番

錦州城內東街 錦州貿易館 大信利

錦州日本人居留民會 副會長 白石龍二

カフエーカチドキ

義縣 宋德謙

藤井公雄

錦州料理店組合

錦州飲食店組合

德野耕二

錦州野戰郵便局 局長 松山榮吉

錦州電報局 錦州電話局

錦州大馬路 カフエーミカド

錦州驛前 赤玉カフエー

錦州大馬路 カフエーパリジヤン

錦州驛前 日の丸食堂

錦州城內南街 會席御料理 金龍 電話一五一番

錦州大馬路 會席御料理 錦州丸古支店 電話三番

錦州大馬路 白米 紀州みかん 卸商 城島洋行

錦州大馬路 小兒科 內科一般 富永醫院

錦州北大營 陸軍御用達 大西傳助

錦州新聞記者團

滿洲日報社錦州支局 山代丈二

貔子窩

貔子窩警察署一同

窩子窩民政署員一同

貔子窩市場株式會社 電話二八四番

御料理仕出し 一力食堂 電話二二七番

食料品諸雜貨 織方商店 電話二三〇番

代書業 梶原貞一 電話二七三番

建築請負業 竹原三郎 電話二五九番

和洋御菓子 玉木屋商店 電話二九六番

食料品諸雜貨 武藏屋 電話二二九番

介辨業 桑原弘莊 電話二六一番

食料品諸雜貨 黑田商店 電話二七五番

御料理仕出し 小梅 電話二四二番

介辨業 清原守彦 電話二六二番

食料品諸雜貨 共益購買會 電話二六六番

會席御料理 喜樂 電話二〇六番

貔子窩旅館 電話二一三番

小川鶴吉

貔子窩金融組合 理事 松井廣治 電話二四三番

貔子窩病院 麿井春龜 電話二九三番

貔子窩商業公會 代表社員理事長 尹瑞璋 電話二一七番

滿洲日報取次店 佐藤生々堂 電話二三一番

會席御料理 富貴與世 右田ツヤ 電話二三九番

牛乳搾取 疊表製造販賣 驛構內賣店 貔子窩牧場 久永仁次郎 板元寅蔵 電話三四〇番

貔子窩郵便局長 富浦吉五郎

貔子窩會長 郝家澄

貔子窩公議會 電話二三二番

貔子窩運輸公司 電話二七一番

城子疃病院 堀澤德壽 電話四〇番

城子疃市街 會席御料理 松乃家 電話二八番

城子疃郵便局長 新豐彌兵衛

城子疃市街 初音旅館 電話一六番

莊河縣 縣長 張崑

參事官 喜多章一

屬官 松崎秀憲

同 佐藤久吉

警務局長 苗建發

警察大隊長 劉慶春

莊河商務會長 王錫球

莊河商業公會長 梁・德昌